

第三條 日本漁業船ハ漁場ニ出張前哥爾薩港ニ寄港シ其地方長官ヨリ漁業鑑札ヲ受領スルモノトス

第四條 魚種輸出税一ブードニ付金貨五コペーキト定ム而シテ該税金取立總高ノ計算方ハ從前ノ規則ニ基ク乎或ハ各船舶ノ荷積高ニ依テ之ヲ算スル乎或ハ各船舶漁業濟再ヒ哥爾薩港ニ寄港スルノ約ヲ定メ其都度實地ニ就キ輸出現高ヲ調査スルモノトス

第五條 此他ノ細目及漁民需用ノ材木ニ係ル税金ノ如キハ從前ノ方法ニ基キ地方長官之ヲ調理スルモノトス

前條ノ通薩哈連島漁業規則設立候ニ付及御通達候且併セテ左ニ

將來若シ日本人民魯領陸地海岸即チ浦潮港近海ニ於テ漁業ヲ企望スル者アルニ當テハ已ニ他ノ營業者ニ附與セシ場所ヲ除クノ外ハ之ヲ營ムモ更ニ差支ナシ而シテ其希望者ハ浦潮港軍務縣令ニ出願シ同縣令ヨリ漁業免許ヲ得ルモノトス
右及御通知候也

魯曆一千八百八十五年五月三十一日

在浦潮港

日本貿易事務官寺見機一殿

○明治二十年三月八日北海道廳號外宛

黑龍政區總督陸軍中將

パ ロ ン、コ ル フ

外國軍艦ニシテ不開港場へ入進シ及乗組員上陸ノ義ニ付別紙訓第一四〇號ヲ以テ内務大臣ヨリ訓令有之候ニ付諸事不都合無之様取計フヘシ此旨相達候也

(別紙)

訓第一四〇號

外國軍艦ニシテ不開港場へ入進シ及乗組員上陸之義外務省ニ於テ特ニ免狀ヲ附與シタルトキハ自今該免狀寫ヲ添へ其都度直ニ書記官ヲシテ通知セシムヘキニ付右軍艦ニシテ隨時入津及乗組員上陸ノ際ハ不都合無之様取計且應分ノ請求等有之キハ相當ノ補助ヲ與ヘラルヘシ

但目下免狀交附中ノモノ別紙寫之通

(別紙寫略ス)

右訓令ス

明治二十年二月二十一日

内務大臣伯爵山縣有朋

北海道廳長官岩村通俊殿

○明治二十年十月二十一日北海道廳訓令號外函館出張所請
二本理事官宛

函館港駐在各國領事トノ往復書面ニシテ彼我ノ條約又ハ法律ニ關係ヲ有スルモノ及ヒ土地ノ貸借等ニ關スルモノハ檢閲ヲ要シ候條右書類寫本月分ヨリ毎月一ヶ月分宛取纏メ翌月五日限り差出ス

○明治二十二年七月十二日北海道廳訓令號外空知樺戸
戸長川上ハ除ク宛

管下諸港灣ニ外國軍艦碇泊ノ節郡長戸長ハ訪問シ左ノ區別ニ從ヒ海軍大臣及橫須賀鎮守府司令長

官ニ報告スヘシ

但其港ニ我軍艦碇泊スルトキハ報告ニ及ハス

一 艦名並入津月日時刻

一 何レヨリ何用ニテ入港何用ニテ何レニ出港

右電信ニテ報告スヘシ電信局ナキ地ハ最近ノ電信局マテ郵便ヲ以テ送り全局ヨリ電信ニテ報告スヘシ

一 乗員ノ舉動及其他見聞ノ次第

右郵便ニテ報告スヘシ

○明治二十二年十二月二十八日北海道廳告諭第一號

露國樺太島へ渡航スルモノハ明治九年(十二)第四百九十九號布告ニ依リ開港場ヨリ出船シ同島ニ於テ漁業志願ノ者ハ其管轄廳ノ添書ヲ以同國哥爾薩港駐在我領事館へ出願可致等ノ處近來其手續ニ據ラス彼地ニ於テ密漁スルモノ往々有之趣尤モ右密漁者ハ發覺次第彼國々法ニ依リ處罰セラルヘキハ勿論ノ義ニ候得共夫カ爲メ他ノ正當營業者迄モ同國地方官ノ厭忌セラル、處トナリ不都合ノ少旨今般其筋ヨリ通知ノ趣モ有之候條當道ヨリ出稼營業セントスルモノハ豫テ心得違無之様致スヘシ

○明治二十三年二月十五日北海道廳告諭第一號

露國樺太島へ漁業ノ爲メ渡航スルモノ心得方明治二十二年(十二)告諭第一號ヲ以テ告諭及置候處尙左ノ件々心得ヘシ

薩哈連島^{太島}出稼漁業者注意ノ件

第一 從前ヨリ薩島へ出稼漁業ヲ營ミ來リタル者ニシテ引續キ其業ヲ營ント欲スルモノハ「コルサコフ」港ニ到リ帝國領事館ヲ經テ露國地方官へ出願シ同業ノ許可ヲ得タル上ハ薩島海産業假規則ノ明記ニ基キ稅銀ヲ納入シ年度限リノ免狀^{稅銀納入済ニ付何號漁場ニ於テ何業ヲ營ムチ許}ヲ同地方官ヨリ受領セシ後ハ再ヒ從前ノ漁場ニ赴キ捕魚スルヲ得ヘシ

但同假規則ニ於テ制禁シタル漁場ハ此限リニ非ス
第二 各漁業者右許可ノ漁場ニ到着セル上ハ直ニ漁業免狀ヲ最寄ノ警察官へ差出シ漁業終ル後ハ帝國領事ヲ經テ之レヲ「コルサコフ」港長官へ返納スヘキ事

第三 露國海産業假規則ニ於テ差許サレタル漁業場ノ内未タ他人ノ着手セサル場所へ更ニ出稼漁業ヲ爲サント欲スル者ハ其旨郵便ニテ^{浦潮港經由スレハ夏秋ノ内六「コルサコフ」港帝國領事へ}出願スヘシ同領事ニ於テハ至急其旨露國地方官へ照會シ差支ノ有無ハ早便ニテ通知スヘシ

第四 薩島ニ航スル船舶ハ明治九年十二月一日付第四百九十九號御布告ヲ遵奉シ必開港場ヨリ出船スヘシ若シ心得違ノモノアリ不開港場ヨリ出船シ來薩スル船舶アレハ其漁業^{或ハニ關シ「コルサコフ」港帝國領事ハ露國地方官へ照會ヲ爲サ、ルヘシ然ル時ハ自然漁業^{商業}ヲ營ム能ハサル}ニ立到リ之レカ爲メ損失ヲ來スヘキニ付心得違ヒナキ様注意スヘキ事

第五 薩哈連島内ハ何レノ地方モ各種酒類ノ輸入ハ嚴禁ナリ且ツ露國民或ハ土人ニ對シ酒類ヲ以テ物品ト交換スルモ同様制禁タルヘシ若シ此禁ヲ破リシ者發覺スル時ハ露國ノ法典ニ於テ露貨

五百五十留ノ罰金ヲ取り立テラレ又海産假規則第十一條ニ基キ其營業ヲ差止メラルヘシ

但シ自己飲料ノ酒類ハ仲間組合規約ノ制限ニ依リ携ヒ行クコトヲ得ヘシ

第六 各漁業者ハ脱獄ノ懲役人ヲ使役シ又ハ匿シ置キ或ハ場所ヲ與フコト制禁タルヘシ

第七 薩島ヨリ「アイノ」土人ヲ本邦へ連レ來ルコト能ハサルヘシ

第八 露國官廳ヨリ徒刑人へ給與サレタル毛衣並ニ太ト織羅紗ノ外套又ハ其切レ地等ハ豫テ地方

規則ニ於テ賣買制禁ノモノナリ依テ若シ右ノ制禁物ヲ所持スルモノ薩島内ニ於テ發覺スル時ハ

直ニ露國官吏ヨリ取揚ケラルヘシ

第九 各漁業者船司及水漁夫ニ至ルマテ露國地方官ノ許可ナクテハ何等ノ品物タリトモ商賣スル

コトヲ得サルヘシ

但シ第六、第七、第八、及第九ニ記載ノ條件ニ違背スル者ハ其事柄ノ輕重ニ由リ露國地方官ニ

於テ將來其漁場へ出稼スルコトヲ差止メラルコトアルヘシ

第十 漁業中伐木ノ爲メ山林ニ入ル時ハ失火セサル様注意スヘキ事

第十一 土人等自己ノ食料ノ爲メ捕獲セシ魚類ハ品物ヲ以テ之ト交換セサル様漁業者並ニ船司ヨ

リ其水漁夫共へ篤ト申聞セ置クヘシ

○明治二十三年十一月十九日北海道廳告示第四十三號

本邦產下等昆布清國海關稅ノ儀百斤ニ付上海ニ於テハ壹兩五錢以內天津ニ於テハ壹兩八錢以內ノ

品ハ百斤ニ付海關銀壹錢ノ低稅ヲ課スル旨其筋ヨリ通知アリ(二十三年十二月告示第四十五號ヲ以テ天津海關稅ヲ改ム)

○明治二十三年十二月十九日北海道廳告示第四十五號

本年十一月當廳告示第四十三號ヲ以テ本邦產下等昆布清國海關減稅ノ儀告示及置候處天津芝罘ニ於

テモ上海同様一兩五錢以內ノ品ハ百斤ニ付海關銀壹錢ニ改正シタル旨更ニ其筋ヨリ通知アリ

○明治二十五年六月二十四日北海道廳告示第四十三號

北米合衆國ニ於テ千八百八十五年二月廿六日外國人契約勞働者移住禁止條例ナル者ヲ發布シ右ニ

違犯ノ徒ハ何國人ニ不拘上陸拒絶ノ制規ニ有之又客年三月十三日該條例追加條例ヲ制定シ契約勞

働者ノ移住禁止ヲ一層嚴重施行ノ處本邦ヨリ渡米スル者陸續相踵キ本年四月十三日橫濱發ノ英國

汽船「ベルジック」號ニ乗込タル渡米者中桑港到着檢査ニ由リ條例違犯ノ廉ヲ以テ上陸ヲ拒絶セラ

レ空シク歸國シタル者二十六名猶一層嚴重ナル檢査ヲ施行シ違犯者ヲ送還セントスルノ狀況ニ有

之必竟スルニ渡米者カ未タ善ク該條例ノ何物タルヲ知ラサルニ基因スルモノト雖モ其弊ヤ單ニ其

身上陸ヲ拒マル、ノ不幸ニ陥リ莫大ノ旅費ヲ失ヒ進退ニ窮スルノミナラス終ニハ帝國ノ名譽ヲ毀

傷スルニ至ルノ虞ナシトセサル旨ニテ其筋ヨリ達ノ次第有之普ク熟知ヲ要スルモノハ千八百八十

五年制定ノ條例(客年六月二十九日官報)及客年制定ノ追加條例(客年六月十六日官報)ニアリ今其

要領ヲ舉クレハ白痴瘋癲及貧困者若クハ公共ノ扶助ヲ受クルノ處アル者嫌惡スヘキ疾病又ハ危險

ナル傳染病者重罪又ハ破廉耻罪ノ宣告ヲ受ケタル者ヲ始メ或ハ直接間接ニ契約ヲ結ヒ一定ノ給料

又ハ就役ノ場所ヲ定メ或ハ豫約ヲ爲シ或ハ書面口答ノ勸誘ニ依リ渡米シタル者ハ契約移住者ニ該

當スヘキモノト認定シ上陸ヲ禁セラル、コト等ニ候條自今渡米ヲ企圖スルモノハ尙一層前述ノ條

例ヲ熟讀了知シ苟モ他ノ勸誘等ニ依リ漠然渡航ヲ企テ一身ノ不幸ハ勿論我國體ニ關係ヲ來スカ如キ不都合無之様深ク注意致スヘシ

○明治二十五年十月十四日北海道廳訓第二百四十二號 函館區役所 函館警察署 宛

爾今外國軍艦其港碇泊中區長及署長ニ於テ不得已所轄外へ出張ヲ要スルトキハ軍艦所屬國名艦數等ヲ具シ豫メ稟議スヘシ

且外國軍艦入港及出港共其都度電報ヲ以テ報告スヘシ

○明治二十五年十二月三十一日北海道廳告示第七十六號

海外旅券ニ關スル事務及函館開港場外國人ニ關スル事務ハ自今函館區役所ニ於テ同所在勤北海道廳書記官ヲシテ代理處理セシム

○明治二十六年五月四日北海道廳告示第二號

今般北米合衆國ニ於テ移住若クハ契約勞働ノ爲メ同國へ渡航スル外國人取締方ニ關シ本年三月三日ヲ以テ左ノ譯文ノ通新條例制定相成候條當道人民ニシテ同國へ出稼セントスル者ハ該條例ノ趣旨ヲ熟悉シ漠然渡航シテ其目的ヲ誤リ不幸ニ陥ルコトナキ様篤ク注意スヘシ

(譯文寫)

北米合衆國外國人移住及ヒ契約勞働ニ關スル諸法律施行條例(一千九百零三年三月三日制定)

第一條 外國移住民ヲ搭載シテ合衆國ノ海港ニ到着スル汽船又ハ帆船ノ船長若クハ指揮員ハ其到着ノ際現行法律ニ定ムル諸般ノ制規ヲ遵守スルノ外該汽船又ハ帆船ニ搭載スル外國移住民乘込

ノ時日並ニ場所ニ於テ製シタル目錄ヲ到着港ノ移住民検査官ニ差出スヘシ此目錄ニハ其上部ニ掲クル質問ニ對シ各移住者ニ就キ左ノ事項ヲ記載スヘシ姓名、年齢、男又ハ女、既婚又ハ未婚、職業、讀ミ書シ得ルヤ否、國籍、最後ノ住所、合衆國ノ上陸港、上陸港外ニ行先アルモノハ其行先、其行先マテノ通シ切符ノ有無、船賃ハ自辨シタルヤ又ハ他人、會社、協會、市邑若クハ政府ヨリ支拂ヒタルヤ、所持金ノ有無、若シ所持金ヲ有スルキハ三十弗以上ナルヤ又三十弗若クハ三十弗以下ナルキハ其現額如何、親戚中ニ到ラントスルモノナルヤ、若シ然リトセハ其親戚ノ姓名及ヒ住所、曾テ合衆國ニ來住セシコトアリヤ、若シ然リトセハ其時日及ヒ場所、曾テ監獄若クハ貧院ニ入り又ハ慈悲救助ヲ受ケタルコトノ有無、數妻ヲ有スル者ナリヤ否、合衆國ニ於テ勞働ニ就クコトニ付明諾若クハ默諾ノ契約アリヤ否、身体及ヒ精神上ノ健康如何、若シ不具者ナルキハ其原因如何

第二條 移住民ハ適宜ニ團列ニ分テテ其目錄ヲ製スヘシ而シテ各目錄ニハ三十名以上ヲ記載スヘカラス

各移住者又ハ其家長ニハ到着ノ際其人名證明ノ便宜ヲ計ル爲メ本人ノ姓名、目錄ノ番號及ヒ其目錄ニ於ケル本人ノ番號ヲ記載シタル切符ヲ交附スヘシ各目錄ハ船長若クハ指揮員又ハ其配下ノ第一等若クハ第二等役員ノ署名ト其船舶ノ出發前出發港在留ノ合衆國領事若クハ領事事務官ノ面前ニ於テ爲シタル誓言トヲ以テ之ヲ證明スルヲ要ス其誓言ハ左ノ如シ

此目錄ニ掲クル船客ハ自カラ一々之ヲ検査シ且ツ乘込陪員ヲシテ一々之カ身体ノ検査ヲ遂ケシメ而シテ自分ノ検査並ニ該陪員ノ報告ニ據レハ該船客中ニハ痴人、癡狂人、貧困者若クハ公

共ノ扶助ヲ受クルニ至ルヘキ虞アル者又ハ嫌疑スヘキ疾病若クハ危険ナル傳染病ニ罹リ居ル者又ハ重罪若クハ其他ノ破廉恥罪ヲ犯シ有罪ノ宣告ヲ受ケタル者又ハ數妻ヲ有スル者又ハ合衆國ニ於テ勞働ニ就クコトニ付明諾若クハ默諾ノ契約アル者ハ一人モ之ナク且ツ其他總テ此目錄ニ掲ケル事項ノ正確ナルヲ誠實ニ信認スル者ナリ

第三條 乘込醫員モ亦其船舶ノ出發前各目錄ニ署名シ且前記ノ領事若クハ領事事務官ノ面前ニ於テ其醫業上ノ經驗及ヒ資格ヲ陳述シ右目錄ニ掲ケル各船客ニ就キ自カラ検査ヲ遂ケ其身体及ヒ精神上ノ健康ニ關スル事項ヲ充分ニ且ツ誠實ニ記載シタル旨ヲ誓言スヘシ若シ移住民ヲ搭載スル船舶ニ乘込醫員ナキハ身体ノ検査及ヒ目錄ノ證明ハ其船舶持主ノ雇入ルヘキ適當ノ醫員ヲシテ之ヲ擔任セシムルコトヲ得

第四條 右船舶ノ船長又ハ指揮員ニシテ其船舶ニ搭載スル外國移住民ニ關シ前記ノ事項ヲ掲載シ且ツ前記ノ證明ヲ得タル目錄ヲ移住民検査官ニ差出ササルトキハ右移住民中合衆國ニ上陸スヘキ資格ヲ有スルモ目錄ニ記載ナキ者一名ニ付各々拾弗ノ金額ヲ到着港ノ稅關ニ納付スヘシ若シ此金額ヲ納付セサルトキハ右移住民ハ他ノ故障ニ依リ上陸ヲ拒絶セラレタルモノト同様ニ送還セラルヘシ

第五條 移住民中検査官ニ於テ明確ニ上陸ヲ許スヘキモノト認メ得サルモノハ千八百九十一年三月三日ノ改定外國人移住條例第一條(報關内ニ掲載セリ下同シ)ニ基キ特別検査ノ爲メ之ヲ留置クヘシ特別検査ハ大藏卿又ハ移住事務長官カ特ニ辭令ヲ以テ指名スル四人以上ノ検査官ヲシ

テ之ヲ行ハシムヘシ特別検査ニ附セラレタル移住者ハ右検査官ノ中少クモ三名ノ同意アルニ非ラサルハ上陸ヲ許ササルモノトス但シ上陸許可ノ決定ニ對シ異議ヲ有スル検査官ハ移住事務長官ニ上訴スルヲ得又移住事務長官ノ處置ハ千八百九十一年三月三日ノ改定外國人移住條例第八條ノ規定ニ準據シ大藏卿ノ審査ニ附スルヲ得

第六條 千八百九十一年三月三日ノ改定外國人移住條例第五條中「第二款ノ但書」トアルヲ「第一款ノ但書」ト改ム又同條例第八條ハ左ノ如ク之ヲ修正ス

海軍病院ノ醫員ニ於テ施行スヘキ移住民ノ身体検査ハ該病院ノ現任醫官ニシテ大藏卿ノ指名シタル者ヲシテ之ヲ行ハシムルコトヲ得而シテ通常ノ醫師ハ特別急要ノ場合ニ限り一時之ヲ雇入ルヘキモノトス

第七條 外國移住者カ公共ノ扶助ヲ受クルニ至ラサルヘシトノ保證ハ口述ヲ以テシ又ハ書面ヲ以テスルトヲ問ハス其都度移住事務長官ノ許可ヲ受クルニ非ラサルハ一個人、會社、若クハ慈善會等ヨリ之ヲ受領スルヲ得ス但シ右許可ハ大藏卿ノ指令ヲ俟テ之ヲ與フルモノトス

第八條 汽船會社、運漕會社及ヒ其他ノ船舶持主ニシテ常ニ合衆國ヘ外國移住民ヲ運搬スルコトニ從事スルモノハ毎年兩度左ノ如キ證明書ヲ大藏卿ニ差出スヘシ

右會社等ノ在外代理人ニシテ移住民ニ切符ヲ賣捌ク者ヲシテ其事務所ノ最モ見易キ場所ニ掲示セシメンカ爲メ千八百九十一年三月三日ノ條例及ヒ其後ノ制定ニ係ル移住ニ關スル諸條例ヲ右在留國ノ國語ヲ以テ印刷シ之ヲ右代理人ヘ交附シ且移住セントスル者ニ切符ヲ賣渡スニ

先チ右揭示ニ對シ其注意ヲ促スヘキ旨ヲ命シ置キタルモノナリ
 右會社等ニシテ六十日ヲ經過スルモ前記ノ證明書ヲ差出ササルトキ又ハ偽造ノ證明書ヲ差出シ
 タルトキハ五百弗以下ノ罰金ニ處スヘシ但シ此罰金ハ管轄聯邦裁判所ニ起訴シテ之ヲ徵收スヘ
 シ且ツ合衆國ノ版圖内ニ在ル該會社所有ノ船舶ヲ以テ右罰金徵收ノ抵償ニ充ツルコトヲ得
 第九條 「エルリス」島ニ於ル兩替、船客及ヒ其荷物ノ運搬、飲食店等ニ關スル營業權及ヒ其他該島
 移住民取扱所ニ關スル特權ハ千八百九十三年一月一日以後ニ於テ大藏卿ノ定ムル所ノ條件及ヒ
 制限ニ從ヒ競賣ニ附シテ之ヲ處分スヘキモノトス
 第十條 此條例ハ支那人ニ適用スルノ限ニ在ラス而シテ此條例ハ其制定ノ日ヨリ六十日以後ニ於
 テ合衆國ヘ向ケ外國ノ海港ヲ出發スル船舶ニ適用スルモノトス

○明治二十六年六月二十三日北海道廳告諭第四號
 本年五月當廳告諭第二號ヲ以テ北米合衆國制定ニ係ル外國人移住及ヒ契約勞動ニ關スル諸法律施行
 條例ヲ示シ諭告セシ義モ有之候尙又同國ニ於テ移住民取扱細則制定相成候條(細則ハ明治二十六年
 及領事館報告欄)當道人民ニシテ同國ヘ渡航セントスル者ハ該細則ヲ熟覽シ困難ヲ招カサル様篤
 ク注意スヘシ

○第二類

○經界

○村町及字

○明治八年四月二十四日開拓使根室支廳第十九號達(正副戸長宛)
 今般別紙ノ通國郡村名等總テ本字ニ相換候條此旨相達候也

(別紙ハ畧ス全道ノ町村タル明治十二年七月郡區町村編制以降年々新置分合廢改等枚舉ニ違アラ
 ス第三類郡區中明治二十六年十二月末日現在町村名ヲ表掲セシヲ以テ之ニ讓リ此レハ字ノ外ハ
 明治二十二年以後新設町村中其境界ノ劃然タルモノノミヲ表示シテ公文ヲ略セリ)

町	村	境	界
南濱町	自一丁目 至六丁目	後志國高島郡オホバチ川ヨリ同郡手宮町停車場近傍迄 ノ海岸理立地ヘ新設	北海道廳令及告示 令四十二年七月廳 令四十九號
北濱町	自一丁目 至六丁目	南ハ空知川北ハナイタユ(二十五年一月廳令第一號ヲ) ベ川西ハ石狩川チ界トス(以テ境界更正)	二十三年一月廳 令第一號ヲ以テ 新設
瀧川村	石狩國樺 戸郡	南ハナイエ川西ハ石狩川北ハ瀧川村ノ一部ヲ チ界トシ東ハ石狩川ニ沿フ	二十三年八月廳 令第四十六號ヲ 以テ新設
新十津川村	石狩國樺 戸郡	南ハナイエ川西ハ石狩川北ハ瀧川村ノ一部ヲ チ界トシ東ハ石狩川ニ沿フ	二十三年八月廳 令第四十六號ヲ 以テ新設
奈江村	石狩國空 知郡	南ハナイエ川西ハ石狩川北ハ瀧川村ノ一部ヲ チ界トシ東ハ石狩川ニ沿フ	二十三年八月廳 令第四十六號ヲ 以テ新設
登川村	石狩國夕 張郡	東ハシニエ川南ハ夕張川北ハ(二十五年十二月廳令第四 十三號ヲ以テ境界更正)	二十三年八月廳 令第四十六號ヲ 以テ新設

第二類 經界 村町及字

沼川村	神居川村	永山村	神樂村	應栖村	雨龍村	深川村	栗澤村	長沼村	由仁村	舍熊村	阿分村	暑澤村	千代村	海岸村	應臺村
石狩國空知郡	石狩國空知郡	石狩國空知郡	石狩國空知郡	石狩國空知郡	石狩國空知郡	石狩國空知郡	石狩國空知郡	石狩國空知郡	石狩國空知郡	石狩國空知郡	石狩國空知郡	石狩國空知郡	石狩國空知郡	石狩國空知郡	石狩國空知郡
北ハ石狩川北ハ奈江村南ハ岩見澤村市來知村ヲ界トス	北ハ石狩川西ハナイタユハ川南ハウブ川	北ハ石狩川北ハウシユベツ川	北ハ石狩川北ハウシユベツ川	北ハ石狩川北ハウシユベツ川	北ハ石狩川北ハウシユベツ川	北ハ石狩川北ハウシユベツ川	北ハ石狩川北ハウシユベツ川	北ハ石狩川北ハウシユベツ川	北ハ石狩川北ハウシユベツ川	北ハ石狩川北ハウシユベツ川	北ハ石狩川北ハウシユベツ川	北ハ石狩川北ハウシユベツ川	北ハ石狩川北ハウシユベツ川	北ハ石狩川北ハウシユベツ川	北ハ石狩川北ハウシユベツ川
二十三年九月 令第六十一號 テ新設	二十五年三月 令第二十一號 テ新設	二十五年六月 令第二十八號 テ新設	二十六年七月 令第三十二號	二十六年七月 令第三十二號	二十六年七月 令第三十二號	二十六年七月 令第三十二號	二十六年七月 令第三十二號	二十六年七月 令第三十二號	二十六年七月 令第三十二號	二十六年七月 令第三十二號	二十六年七月 令第三十二號	二十六年七月 令第三十二號	二十六年七月 令第三十二號	二十六年七月 令第三十二號	二十六年七月 令第三十二號

俱知安村	廣島村
石狩國空知郡	石狩國空知郡
北ハ石狩川北ハウシユベツ川	北ハ石狩川北ハウシユベツ川
二十六年七月 令第三十二號	二十六年七月 令第三十二號

○明治十四年十月二十五日開拓使函館支廳第四十二號達郡區役所戸
各地ニ唱フル字ノ義ハ其地固有ノ名稱ニシテ往古ヨリ傳來ノモノ甚多ク土地争訟ノ審判歴史ノ考
證地誌ノ編纂ニハ最モ要用ナルモノニ付漫ニ改稱變更不致様可心得旨公達相成候條此旨相達候事
○明治二十三年十月七日北海道廳訓令號外空知外一
石狩國空知郡瀧川村へ左ノ字ヲ設ケタルニ付關係部内へ告示スヘシ
但區域圖面ハ第二部ヨリ送附ス

- (圖面寄ス)
- 通 七丁目ヨリ
 - 東 七丁目ヨリ
 - 西 七丁目ヨリ
 - 同上西方

○明治二十五年三月二十三日北海道廳告示第二十一號

天鹽國増毛郡舍熊村阿分村境界及暑寒澤村區域假リニ左ノ通り定ム

ノブシヤ川口ヨリルケシヌブシヤ川ヲ凡二里七分溯リ左ニ折レ、ルーウエンシロマツ川ニ沿ヒ國界山脈ニ至ル迄ノ西南ヲ舍熊村トシ東北ヲ阿分村トス

暑寒澤川ニ東南字黒岩近傍ニ至ルノ間及同川上流ヲ總テ暑寒澤村トス

○明治二十五年十一月二日北海道廳告示第五十八號

石狩國空知郡沿貝村ニ左ノ字ヲ置ク

字カーウシユナイ

上川道路中心左右カーウシユナイ川ヨリ北東凡二千百間北西凡五百五十間南東凡五百間トス

字ビバイ

上川道路中心左右ビバイ川中心ヨリ北々東凡二千三百三十間南々西凡一千二百二十間西々北凡五百五十間東々南凡五百間トス

字チャシユナイ

上川道路中心左右チャシユナイ川ヨリ南々西凡二千四百間西々北凡五百五十間東々南凡五百間トス

○明治二十五年十一月十八日北海道廳告示第六十三號

石狩國上川郡旭川永山兩村内ニ左ノ字ヲ置ク

字ウシシユベツ

旭川村ウシシユベツ原野一圓

字トオマ

永山村ノ東隈シシリ原野ノ一部トオマ及ヌブコマナイ一圓

○明治二十六年十月七日北海道廳告示第六十七號

石狩國空知郡瀧川村ニ左ノ字ヲ置ク

瀧ノ川

西南龍川村一丁目ヨリ西北石狩川チ界トス
東南上川道路中心ヨリ七百六十六間東北瀧川村七丁目迄トス
西南字瀧ノ川チ界トス西北石狩川チ界トス
東南上川道路中心ヨリ七百六十六間東北ユーベオツチ界トス

ユーベオツ

○未開地賣貸

○明治二十六年三月二十四日北海道廳令第五號

明治十九年八月常應甲第八號布達北海道土地拂下規則施行手續左之通改定明治二十六年四月一日ヨリ施行ス

北海道土地拂下規則施行手續

第一條 規則第三條ニ依リ貸下クヘキ土地ハ常應ニ於テ區畫ヲ施設シ毎年公告スヘシ

前項區畫外ノ土地ト雖モ豫メ區域ヲ指定シテ貸下クルコトアルヘシ

第二條 左ニ列記スル土地ハ前條ニ拘ハラス特ニ貸下ヲ許可スルコトアルヘシ

一宅地

二 海産乾場

三 牧場

四 沿海ノ土地

五 從前貸下ヲ受ケタル土地成功ノ上其地ニ接近シテ要スヘキ増地

第三條 土地貸下ヲ受ントスルモノハ願書一書式第一號ニ起業方法書二書式第二號圖面三書式第三號但區畫地ニ

スセ及戶籍寫原籍市町村長若クハ區ヲ添付シ地元戶長役場ヲ經テ當應ニ差出スヘシ

第四條 規則第四條ニ依リ貸下期限ノ標準ヲ定ムル左ノ如シ

耕地

拾萬坪以下 十年以内

六萬坪以下 八年以内

三萬坪以下 六年以内

六千坪以下 四年以内

宅地 三年以内

海産乾場 三年以内

牧場 十年以内

第五條 起業方法書ニハ左ノ事項ヲ明確ニ記載スヘシ

一 願地ノ素地名稱坪數其所在國郡區番地又ハ字

二 樹木ノ有無其樹木アルトキハ全地ノ樹種目通周尺樹數

但拾坪平均ノ樹數ニ依リ全數ヲ算出スルモ妨ケナシ

三 事業ノ目的

四 貸下ノ期限

五 貸下期限内毎年成功スヘキ配當坪數(耕宅地ニ限ル)

六 風除風致放牧薪炭用等ノ爲メ樹木存置ヲ要スノモノアルキハ其坪數此坪數ハ出願總地積ノ十分一以内ヲ目的トスヘシ

七 建物ヲ造築スルモノハ其落成期限

八 漁具若クハ海藻採收具ノ種類員數及實地營業着手ノ期限(海産干場ニ限ル)

九 牧場柵圍間數及事業ニ要スル建物造築落成期限(牧場ニ限ル)

十 牧草畑地坪數及播種期限(同上)

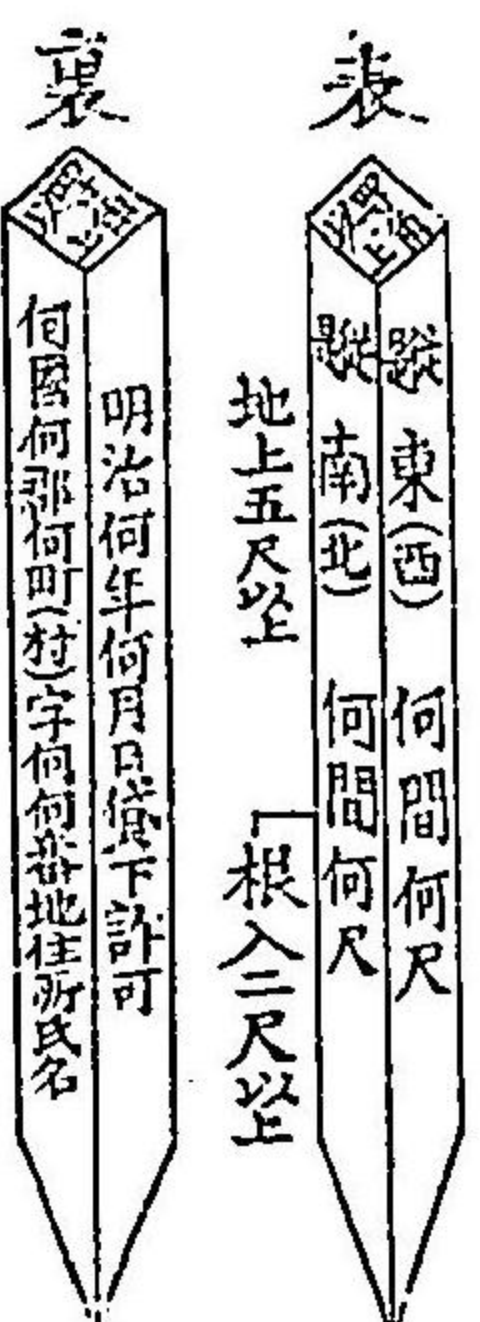
十一 牧畜ノ種類牝牡頭數及毎年蕃殖ノ豫算(同上)

第六條 土地貸下出願人ハ其地調査ノ爲メ吏員出張ノ通知ヲ受ケタルトキハ其地境界ニ假標ヲ建設シ現場ニ出頭シテ吏員ノ指揮ニ從フヘシ但第一條一項區畫地ニハ本條ヲ適用セス

第七條 土地貸下出願人ハ許可書受領ノ日ヨリ三十日以内更ニ貸下地ノ境界ニ標木標木ニ建設スニ

但積雪ノ爲メ標木ヲ建設スルコト能ハサルトキハ消雪後速ニ之ヲ建設スヘシ

標木 雜形



第八條 土地貸下ノ期限ハ許可シタル翌年一月ヨリ起算スルモノトス

但許可ヲ受ケタルトキヨリ事業ニ着手スルコトヲ得

第九條 土地ノ貸下ヲ得タル者ハ貸下期限中毎年事業ノ功程ヲ記載シ四書式第 其翌年一月三十一日 限リ地元戸長役場ヲ經テ當廳ニ届出ヘシ

第十條 規則第五條ニ依リ點檢スヘキ期日ノ通知ヲ受ケタル者ハ成功區域ニ標杭ヲ建設シ現場ニ 立會スヘシ

第十一條 貸下満期ニ至リ全地成功シタル者ハ土地拂下願書書式第 二圖面書式第 添付シ地元 戸長役場郡區役所ヲ經テ當廳ニ差出スヘシ

第十二條 規則第六條一項前段ノ場合ニ於テ主タル事業ヲ成功セスシテ之ニ附隨スル通路堤塘壕 渠欄柵納屋厩等ノミヲ設置シタルモノアルトキハ其敷地ハ未成功トシテ之ヲ處分ス

第十三條 規則第六條一項ニ依リ返地ヲ命シタルトキハ命令書受領ノ日ヨリ七日以内ニ其受書ヲ 地元戸長役場ヲ經テ當廳ニ差出スヘシ

第十四條 規則第六條一項ニ依リ返地ヲ命シタルトキハ命令書受領ノ日ヨリ三十日以内ニ施設ノ 物件ヲ取除キ其土地ヲ返納スヘシ

但返納地ニ係ル勞費アルモ當廳ハ之ヲ辨償セス

第十五條 規則第六條一項ニ依リ返地ヲ命シタルトキハ成功シタル耕宅地ハ第十一條ニ準シ拂 下ヲ出願スヘシ

第十六條 規則第七條ニ依リ伐木代價ヲ徵收スルニハ起業方法書ニ記載シタル種類周尺樹數ニ照 ラシ別ニ定ムル所ノ官林木特賣價額表ノ價額ニ依ル

第十七條 規則第八條ニ依リ返地ヲ命シタルトキハ命令書受領ノ日ヨリ三十日以内ニ施設ノ物件 ヲ取除キ費用調書ヲ差出シ其土地ヲ返納スヘシ

第十八條 規則第九條ニ依リ不得止事故アリテ貸下地ヲ讓渡サントスルトキハ第三條ニ準シ出願 スヘシ

但既ニ成功シタル部分ハ其成績ヲ詳記シ且成功未成功地ノ區別ヲ圖面ニ朱記スヘシ

第十九條 土地貸下ヲ出願中ノ者若クハ土地貸下ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ地元戸長役場部内ニ 居住セサルトキハ其部内ノ居住者ヲ以テ代人ニ定メ地元戸長役場ヘ届出ヘシ居住者不在ノトキ 亦同シ

第二十條 規則第二條但書ニ依リ土地貸下ヲ願出ルトキハ第三條規定ノ外起業設計書ヲ添付スヘシ但實測圖及ヒ財産調書ヲ徵スルコトアルヘシ

第二十一條 左ノ事項ニ該當スルモノアルトキハ其願書ヲ無効トス

一 第六條ノ規定ニ從ハサルモノ

二 土地貸下ヲ許可スルニ際シ本人若クハ代人ノ所在不詳ニシテ六十日ヲ過クルモ尙指令書ヲ下附スルニ由ナキトキ

第二十二條 左ノ事項ニ該當スルモノアルトキハ返地ノ處分ヲ結了シタルモノトス

一 第十三條ノ期限内ニ受書ヲ差出サ、ルモノ

二 本人若クハ代人所在不詳ニシテ六十日ヲ過クルモ尙返地命令書ヲ下附スルニ由ナキトキ

附則

第二十三條 從前ノ手續ニ依リ土地貸下期限中ノモノハ總テ此手續ノ規定ニ從フヘシ

第二十四條 本年三月三十一日以前ニ貸下ヲ出願シタル土地ハ本手續第一條ニ依ルノ限ニアラス書式第一號 (用紙半紙)

土地貸下願

何國何郡何町(村)字何々番地

一原野地何々 何坪 田(畑)(宅地)又ハノ見込

(他ニ土地貸下ノ許可ヲ得タルモノ又ハ土地貸下出願中ノ者ハ左ノ事項ヲ附記スヘシ)

外

何國何郡何町村字何々何番地ニ於テ明治何年何月何日土地貸下許可ノ分

何坪 田(畑)宅地何々

内

何坪 明治何年何月迄成功

何坪 未 成 功

何國何郡何町(村)字何々何番地ニ於テ明治何年何月何日土地貸下出願中ノ分

何坪 田(畑)(宅地)又ハ

右北海道土地拂下規則並同施行手續ヲ遵守シ別紙起業方法書之通り無相違成功可致候間該地積御貸下相成度此段奉願候也

何府(縣)(北海道)何國何郡(區)何市(町)

(村)字何々番地戸主(某何男)職業

「當時何國何郡(區)何市(町)(村)字何々番地(某方)寄留」

氏 名 印

明治何年何月何日 北海道廳長官宛

前書之通出願候ニ付進達候也

明治何年何月何日

區 戶 長 氏 名 印

書式第二號 (用紙半紙)

起業方法書

一 原野地何々ハ 何坪別紙圖面ノ個所

一 何國何郡何町(村)字何々番地

一 全地ニ目通尺廻何本何本(樹木無之)

一 田(畑)(宅地)(海産乾場)(牧場)何々ハノ見込

一 農(工)(商)(何漁)業若シクハ何製造(牧畜)何々ハ經營並ニ其著手順序ノ詳細

一 明治何年ヨリ何年迄何年間御貸下同年限内ニ全地成功其毎年事業ノ配當ハ左ノ如シ

初年(明治何年) 何坪田(畑)何々ハニ開墾

但普通農具何々又ハ西洋農具何々(馬何頭)ヲ用ヒ家族何人勞働若クハ小作人何戸又ハ耕夫何人(此金何程)ヲ以テ田(畑)又ハ何々ニ墾成牛(馬)(羊)(豚)何頭何頭飼育(新ニ購入スルモノハ其種類頭數金額ヲ詳記スヘシ)

小屋掛(居小屋)(牧舎)何々ハ何棟何坪造築(此費用金何程)

道路延長何尺 何間新開(同上)

二年目(明治何年) 何坪田(畑)何々ハニ開墾(何牧草播種)

但(初年ノ例ニ準シ詳記スヘシ)

牛(馬)(羊)(豚)何頭何頭飼育(新ニ購入スルモノト諸種ノモノトヲ區別シ)

排水延長何尺 何間新開(此費用金何程)

堤塘延長高何尺 何尺 何間新設(同上)

三年目(明治何年) 何坪田(畑)何々ハニ開墾

但(初年ノ例ニ準シ詳記スヘシ)

養蠶室(何製造場)何々ハ何棟何坪造築(此費用金何程)

收柵延長何寸角 何尺 何間新設(同上)

四年目(明治何年) 以後各年ノ分ハ前例ニ準シ詳記スヘシ

一 風防(薪炭用)地等トシテ存置スヘキ木立地何坪樹木何々尺廻何本(立木無之ニ付何年目(明治何年)ニ於テ何本何本植付ノ見込)

一 鮭鱒建網引網差網何統何艘明治何年何月迄ニ準備

但明治何年何月何日何漁業若クハ何海藻採收營業許可又ハ出願ニ付明治何年何月ヨリ漁業ニ着手ノ見込

一 何年目(明治何年)ヨリ牛馬羊豚何種何頭何頭蕃殖毎年何々何頭販賣何々何頭宛飼育ノ見込
右之通相違無之候也

右願人

氏

名

印

書式第三號

明治何年何月何日

何國何郡何町(村)字番地

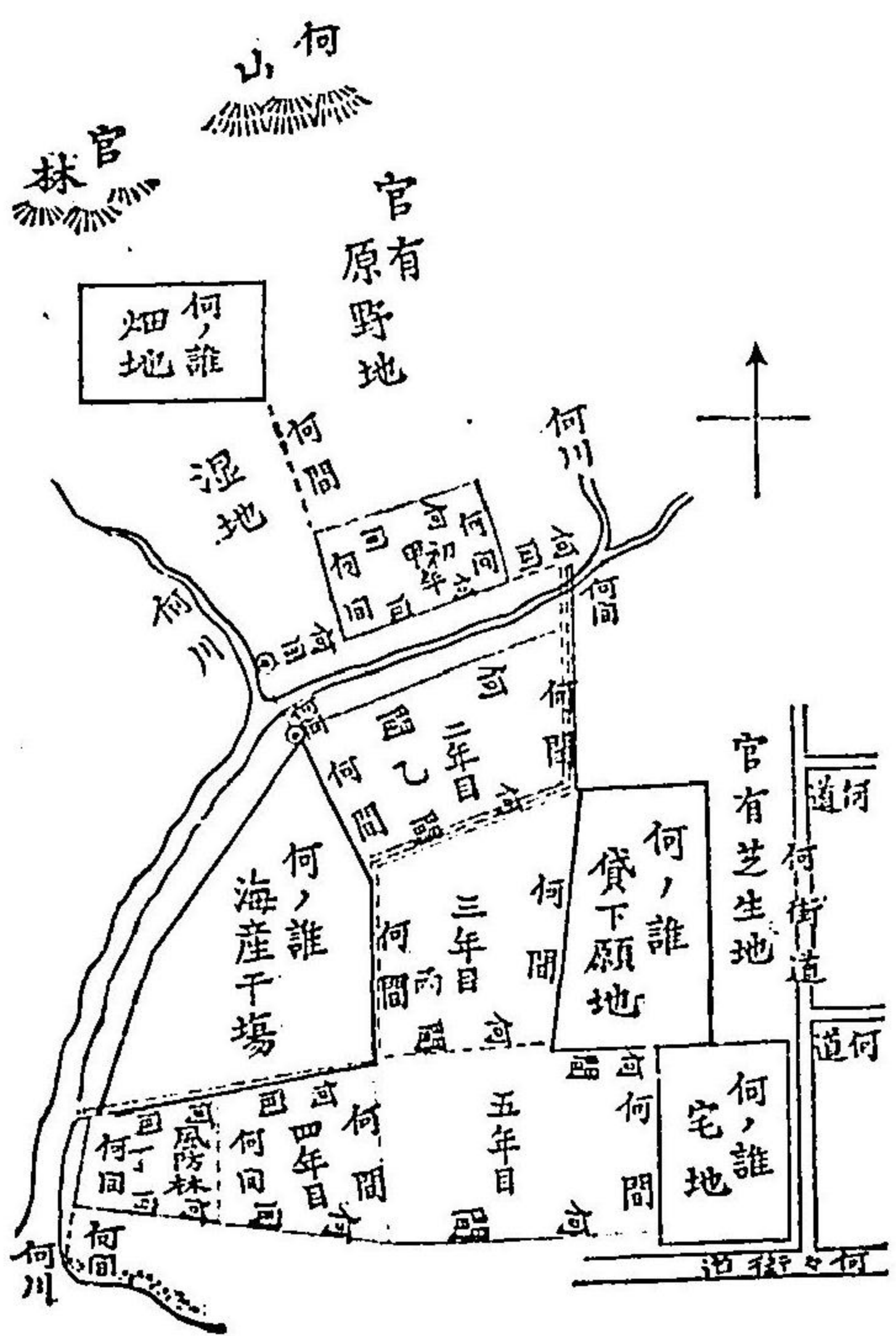
願人

一原野地又ハ 何坪

此譯

甲 何坪
乙 何坪
丙 何坪
丁 何坪

氏名印



備考

基點 道路河川ノ辻若クハ近接貸下地等ノ隅角(若シ之レナキトキハ)ノ如キ移動ナキ個所ニ「」印ヲ以テ基點ヲ明カニスヘシ

繫線 前項基點ノ例ニ依リ一筆毎ニ二個所以上ヲ實測シ基點ヲ施シ其間數ヲ記入スヘシ

間數 地域ニ從ヒ周圍ニ間數ヲ明記スヘシ

區畫 數年ニ配當シ開墾スルモノハ其區域ニ朱線ヲ引クヘシ風防薪炭用地區域モ亦同シ

除地 道路河川及溝渠ヲ挾ムトキハ各筆(例ハ甲乙ノ如シ)ニスヘシ

敷地 新ニ道路及用悪水路ヲ設ルモノハ其個所ニ二條ノ朱點ヲ施スヘシ

右ノ外四至ノ景況ヲ詳記スヘシ

書式第四號 (用紙半紙)

事業成功程度御届

明治何年何月何日貸下許可

何國何郡何町(村)字何々番地

貸下總地積

一田(畑)(宅地)又ハ 何 坪 初年成功地積

外家屋(居小屋)又ハ何棟何坪造築濟

(二年目以後ハ左ノ如ク内譯ヲ付シ其總計ヲ本項ニ記入スヘシ)

内

何坪 初年成功

又ハ 自初年成功 至何年目成功

外家屋(居小屋)又ハ何棟何坪造築濟

何坪 何年目成功届出ル年ノ前年中成功シタル分
外牧舎(何製造場)又ハ何棟何坪造築
右成功ノ實況御届仕候也

何府(縣)北海道何國何郡(區)何市(町)(村)
字何々番地戸主(某何男)職業
「當時何國何郡(區)何市(町)(村)字何々番地
(某方)寄留」

明治何年何月何日
北海道廳長官宛

氏 名 印

右届出候ニ付進達候也
明治何年何月何日

區戸長 氏 名 印

書式第五號 (用紙半紙)
貸下土地拂下願

何國何郡何町(村)字何々番地別紙圖面ノ箇所

元貸下地何坪
一田(畑)(宅地)又ハ何町何反何畝何歩

但明治何年何月何日貸下許可(他ヨリ讓受又ハ相續者等名義書換チ爲スモノハ下文ノ如ク付記スヘシ)何町(村)字何々番地何某ヨリ讓受
又ハ相續名義書換

右ハ北海道土地拂下規則ニ依リ御貸下ノ所今回全地墾成又ハ何々候ニ付代金上納可致候間御拂下相
成度別紙圖面相添此段奉願候也

明治何年何月何日

氏 名 印

前書之通願出候ニ付進達候也

書式第六號

區戸長 氏 名 印

何國何郡何町(村)字番地

願人 氏 名 印

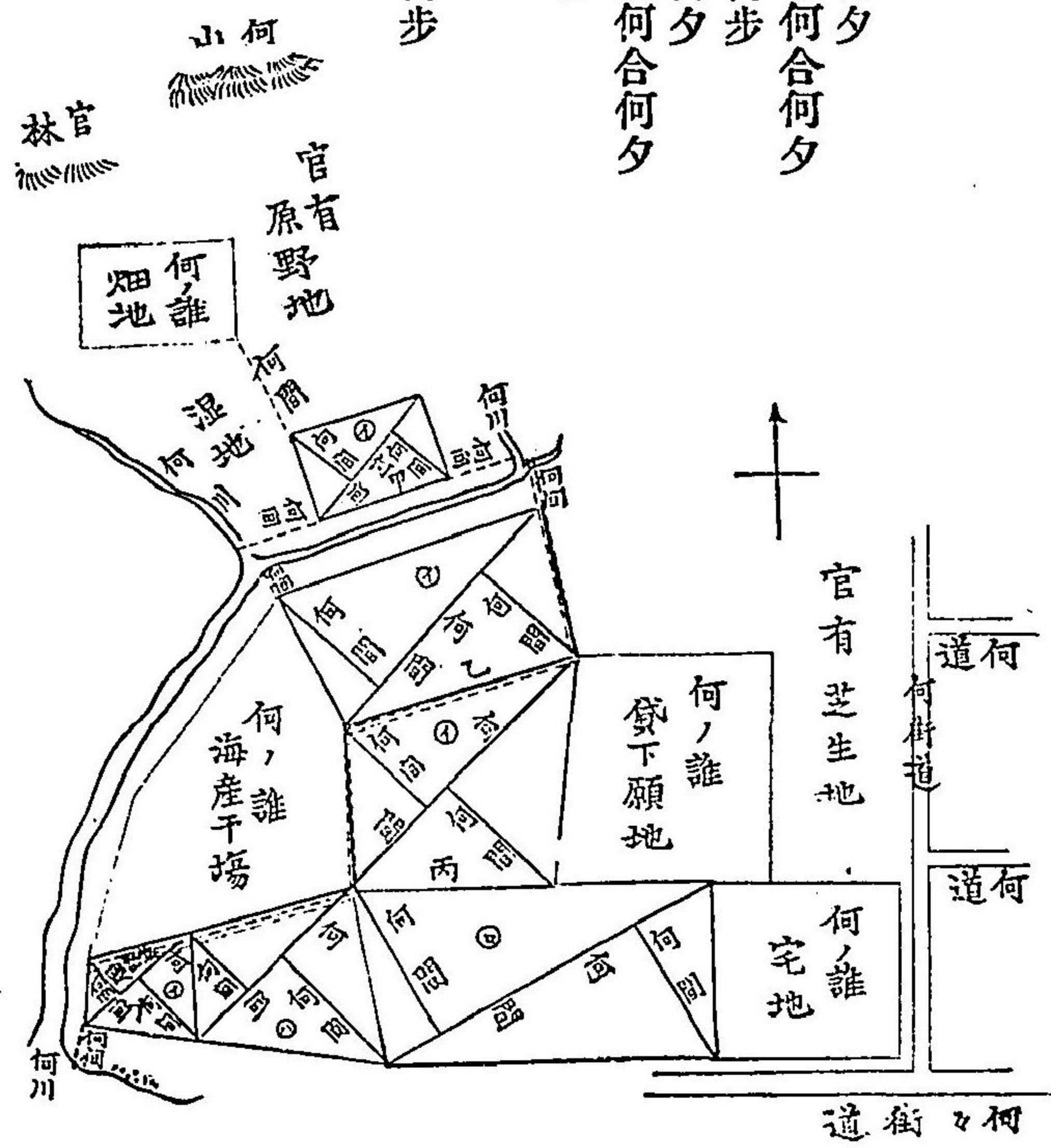
一元貸下地 何坪 (本項朱書)
一段別 何段何畝何歩 拂下願地

丙

甲 畑 段別何反何畝何歩
(イ) 何拾何坪何合何夕

乙 畑 段別何畝何歩
此二除何拾何坪何合何夕

- (イ) 何拾何坪何合何夕
此二除何拾何坪何合何夕
- 丙 田 段別何反何畝何歩
(イ) 何拾何坪何合何夕
(ロ) 何拾何坪何合何夕
(ハ) 何拾何坪何合何夕
何 何百何拾何坪何合何夕
此二除何百何拾何坪何合何夕
- 丁 風防林 段別何反何畝何歩
(イ) 何百何拾何坪何合何夕
此二除何百何拾何坪何合何夕
- 合段別何町何反何畝何歩
- 外 道敷地段別何反何畝何歩
用悪水路段別何反何畝何歩



備考

道路河川ノ辻若クハ近接貸下地等ノ隅角(若シ之レナキトキハ)ノ如キ移動ナキ箇所ニ箇所以上ニ
繫線ヲ施シ實測間數ヲ記入スヘシ丈量ハ實地ニ於テ三斜ヲ施スヘシ

道路河川及溝渠ヲ挟ムトキハ分筆(例ハ甲)ニ丈量スヘシ

風防薪炭用地ハ別筆ニスヘシ
新設道路及ヒ用悪水路敷道ニシテ公共ノ用ニ供セサルモノハ其墾成地積ニ算入スヘキヲ以テ
外書ヲ要セス

一筆内ヲ分筆スルトキハ甲乙丙丁ノ符號ニヨリ相當番號ヲ付スヘシ
右ノ外四至ノ景況ヲ詳記スヘシ

○明治二十六年三月三十日北海道廳訓第九十一號(部區役所(札幌)室蘭ヲ除ク)宛
北海道土地拂下規則施行手續取扱順序

北海道土地拂下規則施行手續取扱順序

第一條 貸下願書ヲ受ケタルトキハ之ヲ審査シ其方法確實ト認ムルモノハ實地ヲ踏檢シ土地ノ景況ト事業ノ難易トニヨリ貸下期限ヲ定メ調査濟證印ヲ押捺シ郡區長之ニ檢印シテ其都度進達スヘシ

第二條 制限外ノ貸下願書ヲ受ケタルトキハ起業方法確實ニシテ成功ヲ遂ケ得ヘキ哉否及ヒ願人資産ノ如何等ヲ審査シ之ニ意見ヲ付シテ本廳ヘ送付スヘシ

前項ノ願書ニ **要請檢** ノ印章ヲ押捺シテ再ヒ回付ヲ受ケタルトキハ速ニ踏檢ヲ了シ更ニ意見ヲ付シテ進達スヘシ

第三條 施行手續第二十條但書實測圖及財産調書徵收ノ通牒ヲ受ケタルトキハ速ニ之ヲ徵シ送付スヘシ

第四條 牧畜ノ目的ヲ以テ貸下ヲ願出テタルトキハ第一條ノ手續ニ依ルノ外尙ホ實地ノ適否ヲ精覈調査シ之レニ意見ヲ付シテ進達スヘシ
造林ノ目的ヲ以テ願出テタルトキ亦同シ

第五條 宅地ノ目的ヲ以テ貸下ヲ願出テタルトキハ左ノ制限ニ據ラシムヘシ
一 郡村宅地ハ一戸ニ付壹千坪以内
二 市街豫定地ハ一戸ニ付一區畫限リ

第六條 海産乾場ノ目的ヲ以テ貸下ヲ願出テタルトキハ左ノ制限ニ據ラシムヘシ
但二種以上ノ漁業ヲ兼ヌル者ハ其地積ノ最モ大ナルモノニ就キ貸下ヘク若シ事業擴張ノ爲メ本條制限外ノ貸下ヲ願出テタル者アルトキハ事實ヲ審査シ之ニ意見ヲ付シテ進達スヘシ

一 鰈建網 (行成網及ヒ角網) 壹統ニ付 千五百坪以内
二 同差網 拾放ニ付 百坪以内
三 同引網、小舌網、巾著網 壹統ニ付 千五百坪以内
四 鮭引網 壹統ニ付 千坪以内

五 行成網、角網、金折網、大房網、 壹統ニ付 八百坪以内
六 鮭小舌網、巾著網、卷網 壹統ニ付 八百坪以内
七 鰈建網、入手網 壹統ニ付 五百坪以内
八 同引網、巾著網 壹統ニ付 千五百坪以内
九 鮭及ヒ鰈建網、引網 壹統ニ付 五百坪以内
十 鮪大房網 壹統ニ付 千坪以内
十一 鱒鮪鰈鮫持付船 壹艘ニ付 貳百坪以内
十二 同川崎船 壹艘ニ付 五百坪以内
十三 雜魚建網 壹統ニ付 五百坪以内
十四 同引網 壹統ニ付 三百坪以内
十五 同手線網 壹統ニ付 百五十坪以内
十六 昆布胴海船 壹艘ニ付 千坪以内
十七 同持付船 壹艘ニ付 四百五十坪以内
十八 昆布磯船 壹艘ニ付 三百坪以内

第七條 左ノ事項ニ該ルモノハ理由書ヲ徵シ之ニ意見ヲ付シテ進達スヘシ
一 一家族ニシテ各別ニ貸下ヲ願出ツルモノ
二 起業方法ノ如ク成功セサル土地ヲ讓與セントスルモノ

三 貸下後目的方法ノ變更ヲ願出ツルモノ

第八條 貸下期限中目的方法ノ變更ヲ願出ツルモノニシテ事實相當ト認ムル場合ト雖トモ既定年限ノ外延期スルヲ得ス

第九條 貸下期限中ハ別ニ定ムル處ノ規定ニ從ヒ成功地ヲ點檢スヘシ

第十條 拂下願書ヲ受ケタルトキハ成功ノ適否ヲ審査シ實地ヲ測量シテ圖面ヲ製シ願書ト共ニ進達スヘシ

第十一條 貸下期限中返地ノ場合ニ於テハ既ニ伐採シタル樹木代價施行手續第十六條ニ基キ明治二十一年本廳令第三十一條官林木特賣規則附屬官林木特賣定價表ニヨリ徵收ノ手續ヲナスヘシ

第十二條 規則第八條ニヨリ貸下地ノ返納ヲ命シタルトキハ實地ヲ檢査シ既墾未墾ノ地積其建物ノ景狀等圖面ヲ製シ之ヲ本人ニ示シ費用調書ヲ徵シ審査ノ上進達スヘシ

第十三條 規則第四條但書ニヨリ延期ヲ願出テタルトキハ其延期ハ最初付與セシ年期ノ半減内ニ止メシメ事實及事業ノ現狀ヲ審査シ之ニ意見ヲ付シテ進達スヘシ

第十四條 規則第六條第二項ニヨリ延期ヲ願出テタルトキハ其事實及ヒ被害ノ大小輕重並ニ停業日數ノ長短等ヲ審査シ既墾未墾ノ地積ヲ區別シテ之ニ意見ヲ付シテ進達スヘシ

第十五條 前各條ニ規程スル外貸下拂下ニ關シ特別ノ處分ヲ要スルモノアルトキハ其事實ヲ審査シ意見ヲ付シテ進達スヘシ

第十六條 土地貸下拂下ニ關スル事務ノ實況ハ別紙雜形ニ依リ每一ヶ月分ヲ翌月十日限リ報告ス

ヘシ

(別紙雜形ハ略ス)

○明治二十六年三月二十四日北海道廳告示第十九號

明治二十六年三月常廳令第五號北海道廳土地拂下規則施行手續第一條第一項ニ依リ本年中貸下クヘキ區畫地ハ左ノ如シ

一 石狩國空知郡奈江原野區畫地ノ内貸下殘餘ノ分

一 同國同郡幌向原野區畫地同上

一 同國夕張郡馬追原野區畫地同上

○明治二十五年四月二十九日北海道廳告示第三十號

左記ノ個所ハ區畫割測量ヲ了スル迄土地賣貸ヲ中止ス

但本年四月二十九日迄地理課釧路派出所ニ於テ願書受理シタルモノハ此限ニアラス

一 十勝國十勝郡中川郡ノ内十勝川沿岸左右山麓迄

一 同國河西郡河東郡ノ内十勝川右岸右四千六百間左三千六百間以内

一 同國上川郡ノ内十勝川右岸山麓迄左岸三千六百間以内

○明治二十五年六月九日北海道廳告示第四十號

石狩國上川郡神居村旭川村市街豫定地ハ自今賣貸ヲ停止ス

○明治二十五年十二月二十八日北海道廳告示第七十三號

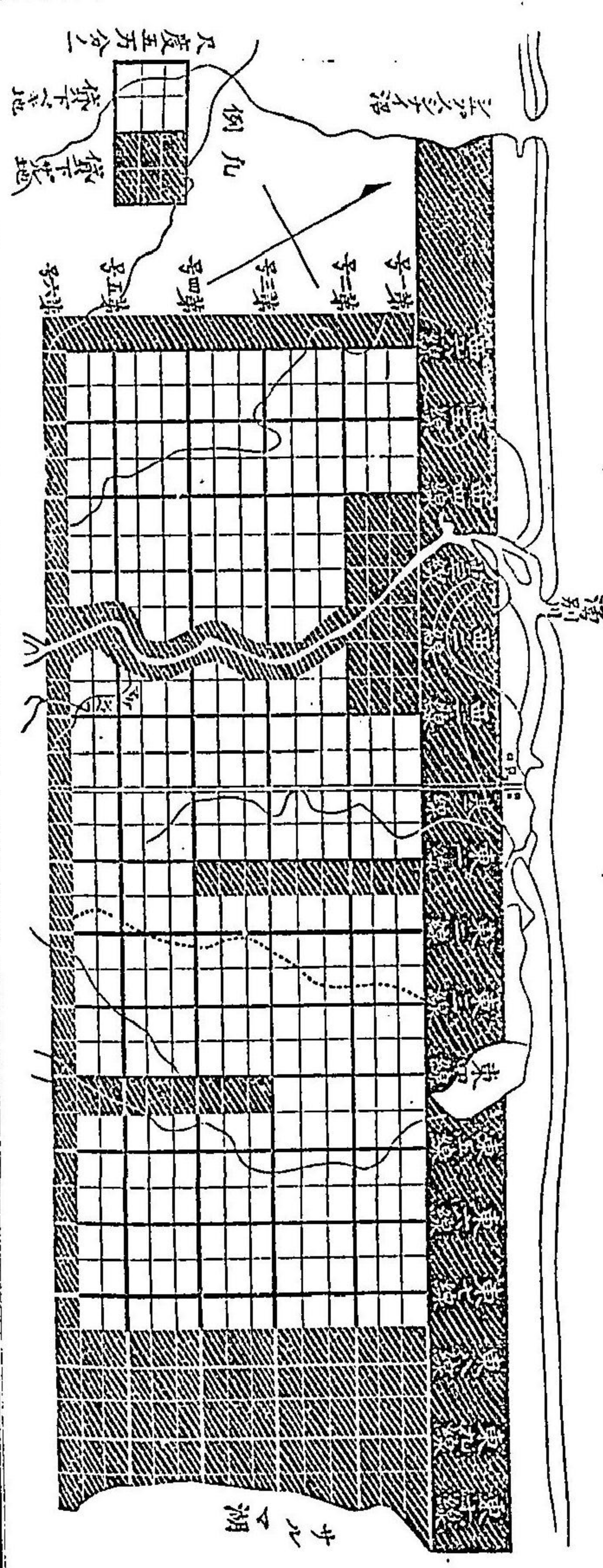
石狩國空知郡幌向ヨリ夕張郡及膽振國千歲郡ノ二國三郡ニ跨ル殖民撰定地トシテ大小區畫施設ノ土地ハ測量終了マテ貸下ヲ停止ス

○明治二十六年一月十八日北海道廳告示第二號

北見國常呂郡上下常呂原野紋別郡湧別原野宗谷郡聲聞原野區畫測量済ノ箇所當分貸下ヲ停止ス

○明治二十六年十二月二十八日北海道廳告示第八十三號

明治二十六年一月當廳告示第二號區畫地貸下停止ノ内北見國紋別郡湧別原野第六號以北左記略圖ノ箇所ハ自今停止ヲ解除ス



○明治二十六年二月二十四日北海道廳告示第二十號

明治二十六年三月當廳令第五號北海道土地拂下規則施行手續第一條第二項ニ依リ貸下クヘキ土地ノ區域ハ左ノ如シ

- 一 渡島國一圓
- 一 日高國一圓
- 一 後志膽振兩國

但後志川沿岸ノ原野及其連續地ニシテ洞爺湖ニ至ル原野千歲郡ノ内北ハ國境西南ハ札幌室蘭間道路ヲ限リ「マ、ツ」川ヨリ東北ニ折レ山麓及幌向原野區畫地ヲ限ル原野ヲ除ク

一 石狩國

但空知郡「フラヌ」原野及其連續地ニシテ北ハ「ビエ」「ベツ」兩川ニ至ル原野並ニ「ナイタイ」川ヨリ石狩川左岸ニ沿ヒ「ヲキリカット」川ニ至ル原野

夕張由仁登川角田三村ノ内東南ハ山ニ沿ヒ西ハ馬追山麓及夕張川ニ沿ヒ北ハ「ハチヤンベツ」川ニ至ル原野

上川郡豫定市街地ヨリ石狩川岸神居古潭ニ至ル原野

札幌石狩樺戸空知四郡ノ内西南ハ札幌錢函間鐵道ノ左右及札幌室蘭間道路東南ハ島松江別石狩幌向ノ諸川ヨリ鐵道及郁春別川ニ沿ヒ東ハ市來知月形兩村間道路北ハ阿曾岩山麓ヲ經テ海岸ニ至ル原野ヲ除ク

○明治二十六年十月二十七日北海道廳告示第七十號

明治二十六年三月當廳告示第二十號土地貸下區域石狩國ノ部但書第四項ヲ以テ除キタル地方ノ内左ノ町村ヲ自今貸下クヘキ土地區域ニ編入ス

札幌郡

札幌村 苗穂村 丘珠村 雁來村 篠路村 琴似村 發寒村 上手稻村 下手

稻村ノ内(大排水ヨリ以西) 圓山村 豐平村 白石村 上白石村 江別村 對雁村

石狩郡

親船町 本 町 辨天町 新 町 濱 町 横 町 仲 町 船場町 若

生町 (地ヲ除ク) 八幡町 (地ヲ除ク) 花畔村 (地ヲ除ク) 當別村 (地ヲ除ク)

○明治二十六年十二月二十三日北海道廳告示第七十九號

膽振國勇拂郡植苗村勇拂村ニ跨ル勇拂官林區域中左ノ箇所ヲ解キ貸下地區ニ編入ス

植苗村

字早來ヨリシアピラ川沿アウチシユウベ川左右及ヒ室蘭線夕張炭山線鐵道左右アピラ川沿

上流ニ至ル原野各官林標木ヲ限リトス

勇拂村

植苗村字早來川向ヨリ室蘭線鐵道左右及ニタツボロ川シアピラ川間ノ原野各官林標木ヲ限

○明治二十六年十二月二十三日北海道廳告示第八十號

十勝國河西郡帶廣市街區畫地二百戸分貸下ノ爲メ殖民課員ヲ出張セシメ候條該區畫地貸下望ノ者ハ本年三月當廳令第五號北海道土地拂下規則施行手續ニ依ルノ外尙左ノ通心得ヘシ

一 貸下ヲ請ハントスル者ハ明治二十七年一月十五日ヨリ同二十日迄本人願書ヲ携帶シテ殖民課員出張所ニ出頭スヘシ

二 貸下地積ハ一戸ニ付一區畫即百六十二坪以内トス但二區畫ノ貸下ヲ要スル者アルトキハ詮議ノ上特ニ許可スルコトアルヘシ

三 殖民課員ニ於テ願書ヲ調査シ尙本人ノ陳述ヲ聞キ其目的確實ト認ムル者ニ限り第四項ノ手續ヲ經テ假ニ土地ノ引渡ヲ爲スヘシ

四 假引渡ヲ爲スヘキ區畫地ノ撰擇ハ抽籤ヲ以テ先ツ其撰擇者ノ順次ヲ定メ而シテ第一撰擇當籤者ヨリ順次撰擇セシムヘシ

五 抽籤ノ時日場所等ハ殖民課出張員ニ於テ地元戸長役場ノ揭示場ニ公告スヘシ

六 抽籤ノ時日ニ本人若クハ代理人其場所ヘ出頭セサルトキハ出願ノ効ヲ失フモノトス

七 明治二十七年七月三十一日迄ニ家屋建築ニ着手セサルトキハ第三項假引渡ノ効ヲ失フモノトス

八 貸下出願者現在貸下ヘキ區畫數ニ滿チタルトキハ願書ヲ受理セス

○明治二十六年十月二十四日北海道廳告示第六十九號

石狩國上川郡神樂村御料地區劃ヲ定メ貸下候ニ付テハ左之通貸下手續ヲ規定シ貸下願書受理ノ義ハ追テ期日ヲ定メ廣告候旨御料局札幌支廳ヨリ通牒アリ

上川御料地貸下手續

第一條 上川御料地ハ此手續ニ據リ主トシテ農業ノ爲メニ貸下クルモノトス

第二條 貸下ヲ請ハントスルモノハ第一號書式願書ニ第二號書式圖面及戶長若クハ市町村長ノ證明シタル戶籍寫ヲ添ヘ御料局札幌支廳ニ出願スヘシ

第三條 貸下地一區域ハ一戸分ニ充ルト雖モ事宜ニ依リ一區域以上ヲ貸下クルコトアルヘシ但一區域ノ面積ハ凡五町步トシ之ヲ分割シテ貸下クルヲ許サス

第四條 貸下期限ハ借地願許可ノ年ヨリ起算シ三十ヶ年トス但借地ノ繼續ヲ要スルトキハ滿期三ヶ月以前ニ出願スヘシ

第五條 借地人ハ借地願許可ノ年ヨリ起算シ五ヶ年內ニ其借地ヲ墾成スヘキモノトス前項ノ開墾ハ初年ニ於テ毎年ノ墾成反別ヲ定メ豫メ届出ヘキモノトス

第六條 貸地料金ハ左ニ定ムル所ニ據ル

- 一 墾成期限内ハ一反步ニ付一ヶ年金三厘トス
- 二 墾成期限後ハ一反步ニ付一ヶ年金二十錢トス
- 三 全部墾成ノ區域ヲ貸下クル時ハ前項ノ例ニ據ル
- 四 滿期後更ニ借地ノ繼續ヲ出願許可シタルトキハ料金額ヲ改ムルコトアルヘシ

第七條 貸地料金ハ左ニ定ムル所ニ據リ之ヲ納入スヘシ但納入ノ場所及期限ハ別ニ告知スヘシ

一 貸地料金ハ其年分ヲ毎年二回ニ分チ之ヲ徴收ス借地初年ノ端月數ハ月割ヲ以テ納入スヘシ

二 第八條ニ依リ返地ヲ命シタルトキハ其前月迄ノ料金を納入スヘシ

三 借地人ノ都合ニ依リ返地シタルトキ又ハ第十九條ニ依リ返地セシメタルトキハ其返地當月迄ノ料金を組入スヘシ

第八條 貸下地ニシテ左ノ必要ヲ生シタルトキハ豫メ期限ヲ定メテ之ヲ返還セシムヘシ但此場合ニ限リ借地人直接ノ損害ハ調査ノ上之ヲ辨償スヘシ

- 一 皇室ノ用ニ供スルトキ
- 二 道路堤防溝渠其他公共ノ用ニ供スルトキ

第九條 貸下地内ノ立木ニシテ風防又ハ風致其他土地ノ保護上保存ノ必要アルモノハ御料局札幌支廳ノ指定ニ依リ借地人ニ於テ保護スルモノトス此場合ニ於テハ第三號書式ノ受書ヲ差出スヘシ

第十條 借地人ハ豫メ御料局札幌支廳ノ許可ヲ得ルニアラサレハ其借地ヲ他人ニ轉貸スルコトヲ得サルモノトス

第十一條 借地人已ムヲ得サル事故ニ依リ借地期限中返地セントスルトキハ事由ヲ詳記シ御料局札幌支廳ヘ出願スヘシ

第十二條 借地人故意怠慢又ハ過失ニ由リ土地物件ニ損害ヲ生セシメタルトキハ御料局札幌支應ノ指定ニ依リ其損害ヲ辨償スヘキモノトス

第十三條 借地内ノ土地物件ヲ他人ニ於テ侵害シタルトキハ借地人ハ遅クモ五日内ニ其事實ヲ御料局札幌支應ヘ告知スヘシ若シ此告知ヲ怠リタルトキハ同支應ノ指定ニ依リ借地人ニ於テ其損害ヲ辨償スヘキモノトス

第十四條 借地人ハ豫メ御料局札幌支應ノ許可ヲ受クルニアラサレハ借地願書ニ記載シタル目的外ニ土地ヲ使用シ又ハ建造物等ノ位置ヲ變更スルコトヲ得サルモノトス

第十五條 借地人ノ權利ニ屬スル借地内ノ物件ハ返地満期又ハ解除後六十日以内ニ悉皆取除クヘシ若シ此期限内ニ取除カサルトキハ其所有權ヲ拋棄シタルモノト看做シ御料局札幌支應ニ於テ之ヲ處分ス此場合ニ於テハ借地人ノ賠償ヲ要ムルヲ得ス

第十六條 借地願書ヲ差出シタル儘届出ナクシテ其居所ヲ轉シ所在不明ニシテ指合書ヲ交付シカタクモノ六十日ヲ過クルトキハ本願書ハ無効トス

第十七條 第八條ノ必要ニ依リ借地人ニ返地ヲ命スルモ尙ホ受書ヲ差出サヌ又ハ借地本人ノ所在不明ニシテ六十日ヲ過キ返地命令書ヲ交付シ難キトキハ直ニ解除ノ處分ヲナスヘシ

第十八條 本手續中年數ヲ計算スルハ總テ曆年ニ據ルモノトス

第十九條 借地人第五條第七條第十條第十二條第十三條第十四條ノ規定ヲ履行セサルトキ又ハ第五條第二項ニ依リ豫定シタル反別ヲ製成セサルトキハ御料局札幌支應ハ貸下ヲ解除スルコト

第一號書式(用紙半紙)

アル可シ但之ヲ爲メ借地人ハ第十二條第十三條ノ辨償義務ヲ免カレサルモノトス

借地願

石狩國上川郡神樂村上川御料地

第何號^東第何番^西

一地積何町步

- 内
- 何反何畝步 家屋又ハ倉庫物置建築見込
 - 何町何反步 田又ハ畑地見込
 - 何反步 防風又ハ風致木保存地見込
 - 何反步 何々使用見込地

右ハ明治何年北海道廳告示第何號上川御料地貸下手續ニ依リ御貸下相成度別紙圖面並ニ戶籍寫相添此段奉願候也

國郡町村番地戶主(又ハ何々)

職業當時國郡町村番地(某方)

寄留

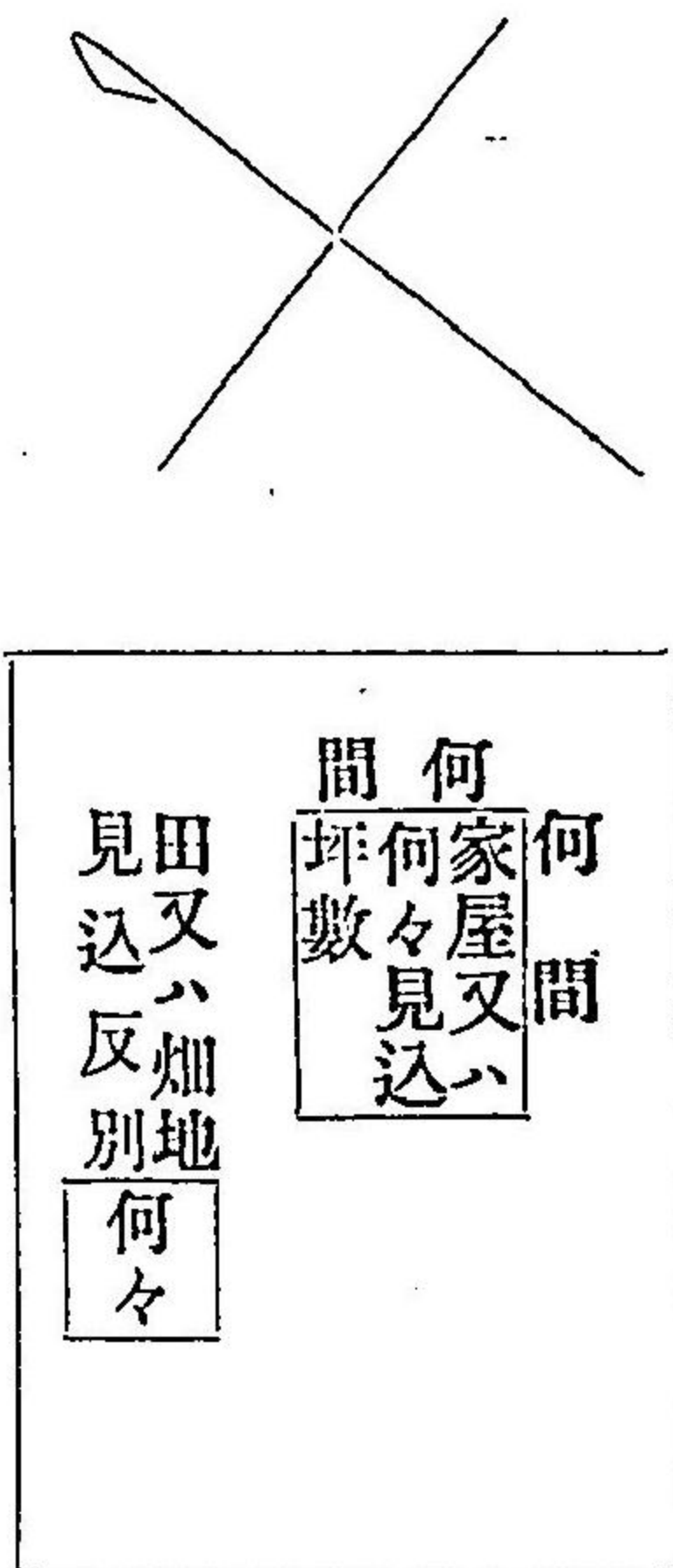
明治 年 月 日

氏 名 印

御料局札幌支廳長氏名宛

第貳號書式(用紙半紙)

上川御料地第何號東第何番貸下願地圖



第三號書式(用紙半紙)
保存木受書

上川御料地

第何號東第何番借地保存木

一樹種 何百本

一樹種 何拾本

一樹種 何拾本

合計何百何拾本

右ハ防風又ハ何々ノ爲メ無相違保存可 此段御受仕候也

○明治二十六年三月二十四日北海道廳告示第十八號

明治二十五年五月當廳地理課札幌派出所類焼ノ節北海道土地拂下規則ニ依リ出願シタル土地貸下拂下願書ノ内同年一月ヨリ四月三十日マテニ收受シタル分焼失シタルモノ有之右人名書ハ土地所轄ノ戸長役場ニ備置キ候條同役場ニ就キ承合更ニ出願スヘシ

○明治二十四年八月十六日北海道廳告示第二號

帝國境土廣カラサルニアラス人民多カラサルニアラスト雖本道ノ如ク天與ノ遺利ニ富ミ無限ノ富社ニ浴スルモノハ多ク其比ヲ見ス今ヤ内地ハ比年人口累加シ地力漸ク減シテ活路既ニ難境ニ迫ルノ傾キアリ是ヲ以テ本道土地ノ需用日ニ愈繁多ヲ來シ其貸下ヲ請フモノ月ニ千ヲ以テ數フ既ニ本道數億萬坪ノ地積ハ貸下ヲ了シ富源以テ開發セシカ如キモ是唯虛影ノミ其實相ニ至ラハ豫期ノ如ク墾了セシモノ寥寥曉星ノ如シ是一人ニシテ巨多ノ土地ヲ占有シ勞資ヲ致サス若クハ著手セスシテ荒蕪ニ付シ去ルモノ多キニ居ルノ致ス所ナリ如此ニシテ何レノ日カ本道開拓ノ全効ヲ收ムヘキ寔ニ寒心ニ堪ヘス況ヤ内地ヨリ新ニ移住シ農漁耕牧ノ業ニ就カントスル幾多ノ人民ヲシテ空シク躊躇嗟嘆セシムルモノアルニ於テヤ本長官ハ職トシテ此弊害ヲ排除シ規則ヲ勵行シ以テ本道拓殖民ノ實ヲ効サハルヘカラサルナリ貸下地ニシテ所期ノ如ク成功セサル者ノ處置ハ掲ケテ北海道土地拂下規則ニアリ而シテ從來實行ニ至ラサリシト雖モ豈在苒歲月ヲ經過シテ已ムヘケンヤ今日告クルニ此言ヲ以テス將來貸下地ノ成功ヲ檢査スルニ臨ミ所期ニ違フモノハ其處分ノ決行ニ於

テ假借セサルヘシ此時ニ方リ追悔何ソ及ハン抑規則ノ強制ハ完全ノ發達ヲ望ムヘキニアラス各自亦之ヲ國家ノ利害ニ鑑ミ猛省シテ怠ル勿レ

○官有地賣貸

○明治二十三年四月一日北海道廳令第十三號
明治二十年^六當廳令第六拾壹號官有地貸下規則左ノ通改正ス

官有地貸下規則

- 第一條 官有既墾地ノ貸下ハ總テ競争ニ付シ其手續ハ一般ノ入札法ニ據ル(本條中「總テ」ノ二字ハ二十有地特別處分規則同年四月勅令第六十九號官有森林原野及產物特別處分規則ニテ消滅ス第七條亦同シ)
- 第二條 此規則ニ依リ貸下ヘキ既墾地ハ所在郡區役所ニ於テ臨時之ヲ公告スヘシ
- 第三條 貸地料ハ入札最高額ヲ以テ之ヲ定ム
- 第四條 落札達ヲ得タル者ハ保證人連署第一號式願書ニ第二號式略圖ヲ添ヘ差出スヘシ
- 第五條 官有未墾ノ土地ニシテ拂下ケ難キ者ハ此規則ニ據リ貸下クヘシ
- 但競争ニ付セス
- 第六條 官有未墾地ノ貸地料ハ地價百分ノ一トス
- 第七條 官有地貸下期限ハ左ノ各項ニ依ルヘシ
 - 十ヶ年以内耕地。河岸地。魚島獵場。海岸干場。土石取揚場ノ類。
 - 一ヶ年以内物置場ノ類

三ヶ月以内社寺境内休憩所ノ類

- 第八條 凡ソ官有地ノ借地料ヲ期限ノ通リ上納セサルモノハ其貸下ヲ取消スヘシ此場合ニ於テハ假令如何ナル勞費アルモ其償ヲ下付セサルモノトス
 - 第九條 凡ソ官有地ノ貸下許可ヲ得タル者ハ其當初出願ノ目的ニ隨テ之ヲ使用スルヲ得ルト雖トモ他人ヘ質入書入ヲ爲スコトヲ得サルモノトス
 - 但不得止事故アリテ轉貸セント欲スルトキハ願出ヘシ
 - 第十條 凡ソ官有地貸下期限中公益又ハ官用ニ依リ返地ヲ命シタルトキハ六ヶ月以内ニ之ヲ返納スヘシ此場合ニ於テハ如何ナル勞費アルモ其償ヲ下付セサルモノトス
 - 第十一條 貸下期限中返地セント欲スルモノハ第三號式ニ依リ願出其滿期返地ハ第四號式ニ依リ届出ヘシ
- 第一號式
- 土地貸下願
- 國郡町村字番地別紙圖面ノヶ所
- 一宅地(又ハ) 何坪
- 但明治何年何月ヨリ同何年何月迄何年間
- 右ハ官有地貸下規則ヲ遵守シ何々目的ノ爲メ借用仕度別紙圖面相添保證人連署此段奉願候也
- 府縣北海道國郡町村番地

年月日

華士族平民
(當時國郡町村番地寄留)
願人 氏 名印

府縣北海道國郡町村番地

華士族平民

(當時國郡町村番地寄留)

保證人 氏 名印

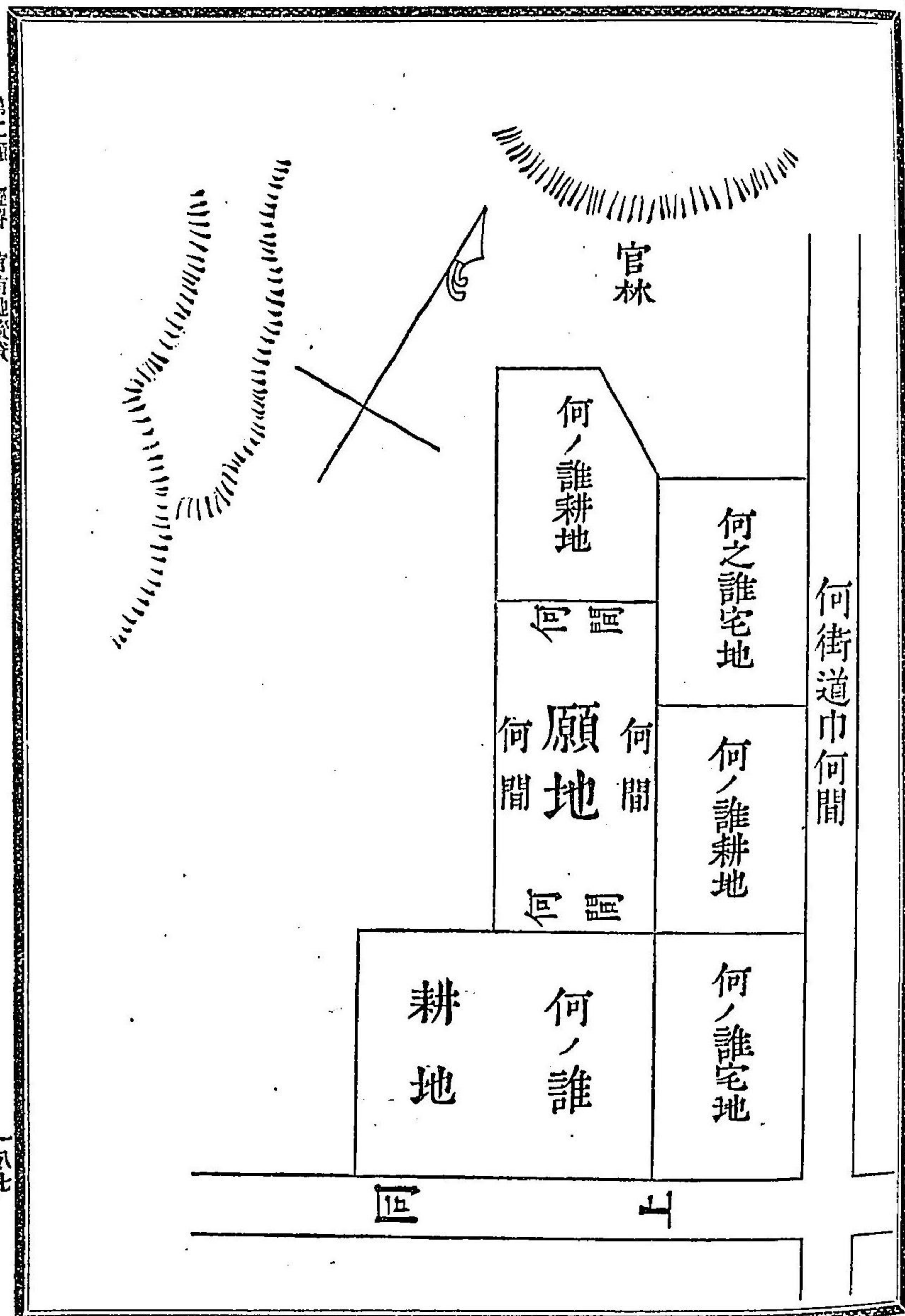
郡區長某殿

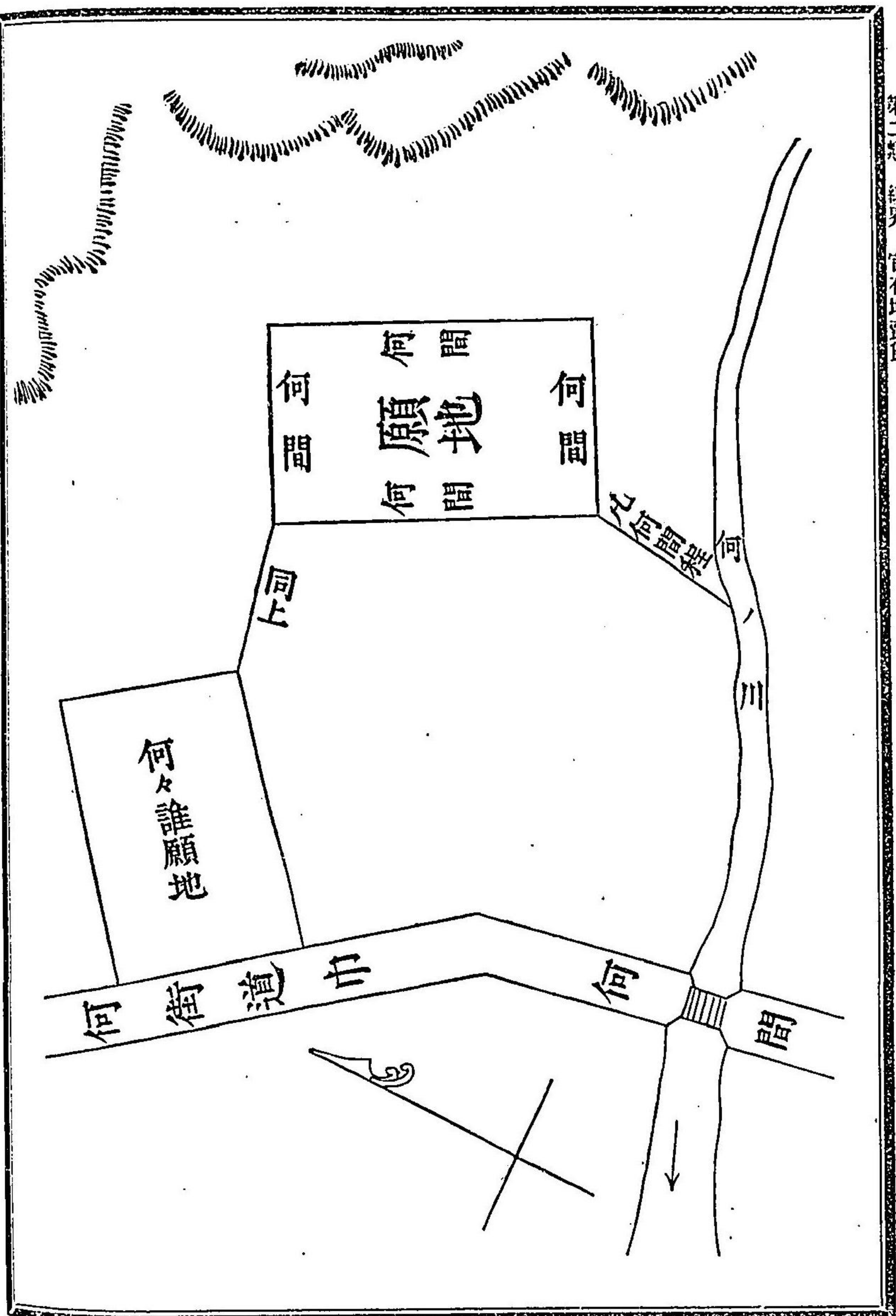
前書ノ通出願ニ付進達候也

年月日

郡區町村
戶長 某 印

第二號式





第三號式

貸下地返上願

國郡町村字番地

一宅地(何々)

何坪

但明治何年何月何日御貸下

右借用仕居候處都合ニ依リ本年何月限り返上仕度此段奉願候也

府縣北海道郡町村番地

華士族平民

(當時國郡町村番地寄留)

願人 氏

名印

年月日

郡區長某殿

前書ノ通願出ニ付進達候也

年月日

郡區町村

戶長 某

印

第四號式

貸下地返上御届

國郡町村字番地

一宅地(又ハ)

但明治何年何月ヨリ同何年何月迄何年何月

右借用仕居候處本年何月(何日)満期ニ付返上仕候此段御届仕候也

府縣北海道國郡町村番地

華士族平民

(當時國郡町村番地寄留)

年月日

氏

名印

郡區長某殿

前書ノ通届出ニ付進達候也

郡區町村

戸長

某

印

○明治二十三年四月一日北海道廳訓令第二十一號郡區役所 戸長役場宛

明治二十年六當廳訓令第四十二號官有地貸下規則取扱方左ノ通改正ス

第一條 官有既墾地ノ貸下ヲ競争ニ付スルトキハ北海道廳地所物件賣買貸借順序ニ依リ規則第七條ノ期限ヲ定メテ貸下ヘシ

第二條 規則第五條ニ依リ官有未墾地貸下願出タルトキハ實地ヲ調査シ期限ヲ定メテ貸付ヘシ

第三條 堤塘並寄洲ハ勿論河岸水害ノ憂アル土地及水源涵養土砂并止等ヲ妨クル恐アル山野ヲ貸

下ク可ラサルモノトス

第四條 貸地料徴收ハ農商務省訓令第十三號明治十九年八月官有地諸收入金徴收規程年ヲ以テ定メタル貸地料 訓令第三百三十三號ニ依リ取扱フヘシ(二十年十一月訓令第三百三十五號ハ)

第五條 官有地貸下年度ノ算數ハ曆年度ニ依ルヘシ

但坑業及土石採掘ノ爲メ貸下年度ハ滿年トス

第六條 山野ニ於テ肥草秣苜取願ハ一時拂下ルモノト年季ヲ期シ拂下クルモノアリト雖トモ事實

土地ヲ借用スルモノハ五ヶ年以内ノ年季ヲ以テ貸下ヘシ

第七條 貸下及返地取消等處分濟内務省主管ニ係ル土地樹林地及原野地ニハ同省訓令第二十號(明治二十一年)

月報告例第五十六表ニ依リ其年分翌年一月三十一日限り農商務省主管ニ係ル土地樹林地及原野地ニハ同省

訓令第一號明治十九年四月表式ニ依リ上半季分ハ其年七月三十一日限り下半期分ハ翌年一月三十一日限

リ當廳第二部(報告スヘシ)(二十三年十二月訓令第八十八號ヲ以テ本條第二項圖 除但第八十八號ハ第九類租稅外諸收入ノ部ニ見ユ)

○明治十九年一月十三日函館縣乙第一號達郡區役所 戸長役場宛

官有地拂下貸下ノ義左ノ通相定候條自今官有地ヲ拂下及貸下ヲ受ケタル者ハ此達ヲ遵守スヘキ旨

請書差出サセ候様取計フヘシ此旨相達候事

但シ從前年賦及貸下願濟現今期限中ノモノハ本文ノ通取計フヘシ

一官有地ヲ年賦等ニテ拂下タルモノ代金未完納中ハ其地所ヲ當廳へ抵當ニ差出スヘシ若シ之ヲ出

サ、ルモノハ地所拂下ノ効ヲ失フ

一官有地ノ拂下代金ヲ期限ノ通上納セサルモノハ其拂下ヲ取消スヘシ此場合ニ於テ既納金アルモノハ之ヲ下戻シ地所ハ現形ノ儘返納セシメ之レカタメ金利又ハ賠償等ヲ下付セス

一官有地云々(二十年六月廳令第六十一號ヲ以テ本項削除)

一官有地云々(同上)

○明治二十年二月十九日北海道廳已第十七號達郡區役

官應用地及賣買北海道土地拂下規則ニ據リニ係ル官有地ハ自今其役所ニ於テ實測製圖シ賣賃地ハ其出願毎ニ願書ニ圖面ヲ添ヘ進達スヘシ

但本文ニ抵觸スル從前ノ達ハ廢止ス

右相達ス

○明治二十年三月北海道廳無號訓示

本年二月已第十七號ヲ以テ相達候土地調査及地圖調製等ノ儀ハ別冊調査心得ニ準據取扱フヘシ

土地調査心得

調査概則

第一條 凡ソ土地ヲ調査スルハ正角ヲ要スト雖モ些少ノ餘地又ハ袋地ヲ生ス可ラス

第二條 既設狹隘ノ里道探定路ニ接スル土地ヲ調査スルトキハ地勢ヲ斟酌シ既定ノ道幅ニ關ハラ

ス三間乃至四間ノ道幅ヲ設クヘシ第一圖ヲ參考スヘシ

但區劃及舊道改正ヲ要スル箇所ノ願地調査前其地勢ノ便宜ヲ計リ改正見込畧圖ヲ添テ其旨具

申スヘシ第二圖ヲ參考スヘシ

第三條 國道ハ道路中真ヨリ左右ヘ七間三尺宛縣道ハ同左右ヘ六間宛道敷濕拔及並木敷地ト假定

シ當分除地シ置ヘシ但市街村落山間水涯等ニ於テ並木敷濕拔敷ヲ設クル能ハス又ハ設クルニ及ハサル場所ハ願地調査前其狀況ヲ具申スヘシ

第四條 河岸地ハ河川ノ幅員ニ依リ堤防敷地トシテ左ノ通り除地シ又之レニ沿フテ適宜ノ路線幅員乃至十一間ヲ設クヘシ第三圖ヲ參考スヘシ

河 幅

堤防除地

一間以上	三間マテ	二間乃至四間
三間以上	五間マテ	四間乃至六間
五間以上	十間マテ	六間乃至十二間
十間以上	二十間マテ	十二間乃至二十間
二十間以上	四十間マテ	二十間乃至四十間
四十間以上	八十間マテ	四十間乃至六十間
八十間以上		六十間乃至百二十間

但除地ハ河流ノ緩漫及地形ニ依リ斟酌シ且ツ町村區劃及舊道改正ノ爲メ河線改良ヲ要スル箇所ハ願地調査前改見込畧圖ヲ添ヘ具申スヘシ

第五條 河岸地ノ調査ハ第三圖ノ如ク甲乙丙丁等ノ經界ヲ測ルニイロハ等ノ外距外距ハ甲乙丙丁ノ本線ト交テ直角ヲ爲ス

第二類 經界 官有地調査

モノヲ求ムヘシ其外距ノ四ハ第四條ニ掲クル除地ト道幅ヲ加ヘタル間數ヲ保タシムヘシ

第六條 細流ト雖モ其線ヨリ三尺以上除地シ拂下地内ニ込ムヘカラス溜川或ハ溜水ノ如キモ流通ノ便ヲ得ヘキ見込アルモノハ除地スヘシ第四圖ヲ參考スヘシ

第七條 湖沼池ノ周圍ハ五間乃至三十間除地スヘシ若シ願地内ニ孕メルトキハ近傍道路ニ通スル路線其幅三間乃至十間ヲ除地スヘシ第五圖ヲ參考スヘシ

第八條 郡町村ノ經界ニ接スル土地ハ其線ヨリ十五間ヲ除地スヘシ

第九條 海産乾場ハ左ノ制限ニ據リ調査スヘシ

鯨鰯建網	壹統ニ付千坪	表行口	二十五間
鯨鰯引網	一統ニ付千五百坪	表行口	二十五間
鯨鰯網	拾放ニ付二百坪	表行口	二十五間
鯨差網	一統ニ付五百坪	表行口	二十五間
大房網	同 同	表行口	二十五間
昆布刈船	一艘ニ付四百五十坪	表行口	二十五間

但増地願ハ所有ノ乾場ト合セテ本文ノ制限ヲ超過セサル様注意スヘシ若シ事業擴張ノ爲メ増地ヲ願フ者ハハ網一統又ハ船一艘ニ付本文制限ノ半ヲ増スヘシ尤モ鯨差網ハ拾放ニ付其四分ノ一ヲ増加スヘシ

第十條 従前移住農民ヘ假ニ下渡セシ土地ハ其期限内毎年製成ノ反別届出ノ際其分ニ限リ實測製

圖スヘシ

但シ製成地ハ毎年實測スヘモノト雖モ若シ兩三年分ヲ經括實測スル場合ニハ内譯ヲ以テ毎年ニ區別スヘシ第六圖ヲ參考スヘシ

第十一條 斜線ヲ施シテ地積ヲ計算スヘキ地圖ハ尺度千二百分ノ一曲尺五厘ヲヨリ縮少スヘカラス

第十二條 地圖ハ既測ノ土地其他不動物ヘ繋測スル所ヲ詳記シ他日聯絡圖ヲ製スルニ差支ヲ生セサル様注意スヘシ第七八兩圖ヲ參考スヘシ

第十三條 繋測セシ既定地遠クシテ其測線長キカ爲メニ縮少セサルヲ得サルトキハ積算圖ノ外ニ繋測線記入ノ細圖ヲ製スヘシ第九圖ヲ參考スヘシ

第十四條 地圖ハ周線ノ方位及間數ヲ記載スヘシ但シ間以下ハ尺寸ニ止ムルモノトス第七八兩圖ヲ參考スヘシ

第十五條 地積計算ノ爲メ地圖ヘ施セル斜線ノ長ハ間以下分厘ニ止ムヘシ第七八兩圖ヲ參考スヘシ

但シ斜線ヲ施スニハ必ス朱墨ヲ用ヒ赤色インキ等ハ用ユヘカラス

第十六條 地積坪以下三位ニ止ムヘシト雖モ四拾五入ノ法ヲ施スヘカラス

第十七條 耕地牧場ノ類ハ坪數總計ノ傍ラニ其反別止ムニテ揭記シ宅地海産乾場ハ坪數ノミヲ記載スヘシ第七八兩圖ヲ參考スヘシ

第十八條 地圖ハ願地ノ面積國郡町村字及願人ノ族籍住所寄留人ハ省留地ヲモ氏名ヲ記載スヘシ第七八兩圖ヲ參考スヘシ

但シ聯絡圖ニシテ數十名ヲ一圖面ニ記載シ難キトキハ別ニ積算簿ヲ製スルモ可ナリ此場合ニアツテ番號又ハ符號ヲ以テ參照スルニ易カラシムヘシ

第十九條 地圖ハ成ルヘク願地ヲ聯絡シテ製スヘシ尤モ聯絡圖ハ願地ヘ番號ヲ付シ地積及ヒ願人ヲ知ルニ易カラシムヘシ第十圖ヲ參考スヘシ

第二十條 河川又ハ道路ヲ以テ切斷セル土地ハ各個ニ其地積ヲ舉クヘシ第四圖ヲ參考スヘシ

第二十一條 既定地官民ハ速カニ村圖面ヘ記載スヘシ

野帳

第二十二條 野帳ハ實測ニ係ルモノハ勿論四隣ノ景況ヲモ見取記載スヘシ第十一圖ヲ參考スヘシ

第二十三條 野帳ハ鉛筆ヲ以テ明瞭ニ記載スヘシ若シ誤アルトキハ其文字ニ二線ヲ施シ其傍ラニ正記シ必ス塗抹又ハ削除スヘカラス第十一圖ヲ參考スヘシ

但シ鉛筆ヲ以テ記載セル文字等ニハ施墨シテ消滅ヲ防クヘシ其際原稿ヲ誤ラサル様極メテ注意スヘシ

第二十四條 野帳ノ初項ヘハ其帳簿ニ記載セル郡町村名及測者ノ官氏名ヲ記載スヘシ第十二圖ヲ參考スヘシ

第二十五條 一箇ノ土地ヲ測リ野帳ニ掲クルトキハ先ツ其年月日ヲ記載スヘシ若シ一地ニシテ數日ヲ費ストキハ起止ノ月日ヲモ記入スヘシ第十一圖ヲ參考スヘシ

第二十六條 帳野ハ全冊使用了リ圖面整理ノ上ハ第二部地理課ヘ送達シテ點檢ヲ受クヘシ但測量係員臨時派出シテ野帳ヲ檢査スルコトアルヘシ

實測

第二十七條 聯絡線ハ村圖面ニ既定地官民ヲ記載スルニ方テ缺クヘカラルモノナレハ成ルヘク多ク求メ置クヘシ又聯絡スヘキ既定地ヲ去ル遠ク數多ノ測點ヲ經テ之ニ達スルトキハ其聯絡線ヲ測ルニ誤ナキ様深ク注意スヘシ

第二十八條 一線ノ方位ヲ測ラハ其正否ヲ試驗スヘシ

第二十九條 方位ノ正否ヲ試驗センニハ乙點初メ標竿ヲ据ヘタル地ニ羅針ヲ据ヘ甲點初メ羅針ヲ據タル地ニ標竿ヲ立テ之ヲ反視スヘシ此時磁針ノ方面ハ前ニ同一ナルカ故ニ測線ノ方位ハ必ス反對スヘシ甲點ニ於テ測線ノ乙點ニ於テ反視ノ方位ハ二十度ナリ

第三十條 正反兩視ノ方位相反セサルトキハ必ス甲點ニ依リテ再測スヘシ而シテ尙ホ差アルトキハ甲乙兩點ノ中ニ鐵氣等磁針ノ差ヲ生スルハ只鐵氣ノ一ニ止マラス橋木巨節等皆磁針ニ感セリアリテ磁針ノ方向ヲシテ變セシムルモノナリ

第三十一條 羅針測量ニアツテハ極メテ此差ノ有無ニ注意セサルヘカラス但シ反視法ヲ施サレハ誤差ノ有無ヲ知ル能ハサルカ爲メ苟クモ一線ノ方位ヲ測ラハ必ス反

視スヘシ

第三十二條 磁針ノ妨碍物ノ在ル所ヲ探知センニハ甲乙兩測點間ノ線ヲ延長シテ線中兩測點ノ内外各所ニ於テ其線ノ方位ヲ索ムヘシ何レノ點ニ於テ歟必甲乙兩測點ノ一ニ於テ求メ得タル方位ト一同ノモノヲ得ヘシ是ヲ正シキモノトス而シテ妨碍物ハ必符合セサル方ニアルヘシ又ハ他ニ一點ヲ設ケテ羅針ヲ据ヘ甲點及乙點ト反視シ方位ノ一致ヲ得テ探知スルモ可ナリ

第三十三條 甲乙兩測點ノ正反兩視相反シ乙丙測點ノ正反兩視相反セスシテ差アルハ丙點ニ妨碍物アルカ爲ナリ此場合ニ於テハ丙點ニ於テ求ムヘキ方位ヲ加減セサルヲ得ス此加減ノ法ハ第三十三圖ニ由テ了解スヘシ

第三十四條 第十三圖ニ於テ甲ヨリ乙ニ向テ方位ヲ四十度トシ乙ニ妨碍物アリテ磁針ノ方向ヲシテ三十度ノ遠ヒヲ生セシムルニ乙點ニ羅針ヲ據ヘルトキハ南北ヲ指トセハ乙ヨリ甲ニ向テ反視ノ方位ハ二百五十度ニ妨碍物ナキトキタルヘシ而シテ乙ヨリ丙ニ向テ方位ヲ求ムルニ八十度ヲ得ハ右ノ差三十度ヲ減シテ眞ノ方位五十度ヲ得ルモノトス

第三十五條 磁針ノ差加減ノ規則ヲ左ニ示スヘシ
反視ノ度數正規ノ度數ヨリ 反兩視ノ度數ハ一ハ必百八十度ヨリ大ナルモノナレハ大ナル時ニ於テ前後ノ兩正視共ニ同象限 象限トハ四ノ内ニアル歟又ハ相對スル象限内ニアレハ後ノ正視ノ度數ヨリ磁針ノ差ヲ減スヘシ若シ隣接スル象限内ニアルトキハ之ヲ加フヘシ而シテ又反視ノ度數正規ノ度數ヨリ少ナル時ニアツテハ全ク右ノ法ニ反シテ加減スヘシ

踏 檢

第三十六條 道路其他支障ノ土地ヲ除地シ及袋地ヲ生セサル様注意スヘキハ實測同様タルヘシ閣令第十六號土地拂下規則ニ據リ貸下願地及成功踏檢地ノ周圍ヘハ左ノ標杭ヲ建設セシムヘシ

貸下地標杭 表面 何某願地 從是東西又ハ南北ヘ何間
左面 何某願地又ハ何某所有地
成功地同上 裏面 明治何年何月成功

但標木ハ二寸角以上長三尺以上土中二尺入りトス

第三十七條 踏檢了リタルトキハ願書及圖面ニ照シ四隣ノ景況縱橫ノ間數并ニ坪數立木ノ種類株數等ヲ檢査シ相違ナキモノハ願書標目ノ下ヘ捺印スヘシ

第三十八條 風除薪炭用又ハ風致魚付等ノ爲メ存置スヘキ木立地ノ地積ハ凡願地積ノ十分ノ一以内ヲ目的トシテ取調ヘシ

視 測

第三十九條 見取圖ヲ製スルモ成ルヘク精密ヲ要スルカ故ニ方位及間數等實測ニ類スル様視測スヘシ

第四十條 方位ヲ求ムルニハ先ツ視測スヘキ線ノ一端ニ直立シ我躰軀ヲ測器ノ台ニ換ヘ兩手ヲ以テ羅針ヲ捧ケ我眼ニ密接シテ其線上ニアル一物ヲ目標トシテ視測スヘシ磁針ノ略ホ靜定スルヲ俟テ羅針ヲ押シ磁針ノ動搖ヲ止メテ方位ノ度數ヲ讀ムヘシ

第四十一條 間數ハ步數ニ由テ測ルヘシ步數ニ由テ間數ヲ測ランニハ其線ニ沿テ直行スルニ方リ

線上ニ二個ノ標點ヲ求メ其一點ニ達スルトキハ更ニ又一點ヲ求メ常ニ二個ノ標點ヲ注視シテ前進スヘシ

但シ測量員ハ居常自己ノ步度ニ注意シ我一步ハ凡ソ幾尺ニ該當スル歟ヲ記憶スヘシ又視測スヘキ地ハ概ネ河川又ハ谷地等ノ妨碍物アリテ容易ニ行歩スヘカラサレハ常ニ平原ニ於テ距離ヲ視測シ眼力ヲシテ習慣ヲ得セシムヘシ

(圖畧ス)

○明治二十二年七月二十七日北海道廳訓令號外郡區

明治二十年法律第壹號登記法第十八條ニ依リ民有ノ地所建物及船舶ヲ官有ト爲シタルキノ登記ハ自今其所ニ於テ登記請求スヘシ

○明治二十六年四月十日北海道廳訓令第六號郡區役所(札幌)室蘭ヲ除ク

本年三月廳令第六號ヲ以テ當廳地理課小樽檜山函館浦河釧路根室増毛派出所ヲ廢止候ニ付テハ明治二十三年四月廳令第十三號官有地貸下規則並特別賣貸處分ニ屬スル土地調査及土地ニ關スル登記請求ノ事務ハ所轄郡區役所ニ於テ取扱フヘシ

○明治二十六年九月七日北海道廳訓令第二百四十九號郡區役所(札幌)室蘭ヲ除ク

官有地内ニ建テ在ル民有建物賣買證文ニ該官有地貸下人ヨリ與書ヲ願出タルトキハ其所ニ於テ其貸下地タルノ證明ヲ與フヘシ

○崖地保全

○明治十三年四月二十一日開拓使函館支廳第三十一號布達函館
崖地保全規則左ノ通相定候條此旨布達候事

崖地保全規則

第一條 凡ソ甲乙兩地ノ中間ニアル崖地ハ上層地ノ所屬ニスヘシト雖トモ從來ヨリ下底所屬ノ確證アルモノハ其儘據置クヘシ

第二條 崖地ニシテ傾斜ノ甚シカラス開墾シテ桑茶蔬菜等ヲ植付得ヘキ地ヲ除クハ外ハ除租ノ上本地券面腹書ニスヘシ

第三條 崖地ハ上下地主其所屬何レニ在ルヲ問ハス均シク該崖地保全ノ義務アルヲ以テ崖上其下共ニ一己ノ便益ヲ圖リ土砂ヲ掘取隣地ノ崩壞ヲ致スヘキ事功ヲ起スコトヲ得ス

第四條 崖地ハ必ス其所屬ニ於テ石垣又ハ竹木柵等ヲ以テ土止ヲナスヘシ

第五條 石垣又ハ竹木柵等ヲ以テ土止保全ヲナセル崖地ハ從前ノ證據即チ上層地方ノ一方ニ於テナセルモノハ上層地主ノ所屬トナシ上下協同土止ヲナシタルモノハ上下地主ノ共有トナスヘシ

第六條 從前上下地主協同又ハ上下ノ一方ニ於テ土止保全ヲナシタルニ拘ラス將來上下地主ノ内孰レカ一方ニ於テ土止保全ヲナスヘキコトヲ相對約束ノ上願出ルニ於テハ之ヲ許可シ更ニ將來土止保全ヲナスヘキモノノ所屬トスルコトアルヘシ

第七條 地主展轉換シテ證據詳カナラサルモノハ第一條ニヨリ處分スヘシ

○水面埋立

○明治二十三年十二月十八日北海道廳令第七十四號

水面埋立並使用出願手續左ノ通定ム

但明治二十一年^ニ常廳令第十號ハ廢止ス

水面埋立並使用出願手續

第一條 官ニ屬スル公私有水面ヲ埋立テントスル者ハ埋立方法書ニ繪圖面並入費概算調ヲ添ヘ第

一號式^{公有水面}第二號式^{私有水面}ニ依リ出願スヘシ

但埋立地積一町歩以上ニ涉ルモノハ埋立方法書ノ外精密ナル設計書ヲ添付スヘシ

第二條 埋立成功ノトキハ第三號式ニ依リ出願認可ヲ請フヘシ

第三條 舊慣ニ依リテ捕魚採藻ノ業ヲ營ムノ外公有水面ヲ其儘使用セントスル者ハ第四號式ニ據

リ出願スヘシ

第四條 官ニ屬スル私有水面ヲ使用セントスル者ハ一般ノ貸地規則ニ依リ出願スヘシ

第五條 第一條第三條第四條ノ場合ハ接續地主及使用者並ニ保證人連署ノ上願書差出スヘシ

但接續地主及使用者連署セサルトキハ其旨副申スヘシ

附 則

第六條 北海道海湖沼池埋立規則ニ依リ出願許可ヲ得タルモノハ尙從前ノ手續ニ依ル

第一號式

公有水面埋立願

何國何郡何町何番地

一海面(又ハ河湖)^{開口何間別紙繪圖面ハ通}

此坪數何程

右ハ御命令ヲ遵守シ宅地(又ハ何々)ノ目的ヲ以テ埋立仕度尤接續地主へ及示談候所支障無之候間御許可被成下度別紙方法書(設計書)並ニ繪圖面相添保證人連署此段奉願候也

何(府)縣(華)(士族)平民

何國何郡(區)何町(村)何番地

當時何國何郡(區)何町何番地寄留

願人 何 某 印

(肩書前ニ倣フ)

接續地主 何 某 印

(同上)

保證人 何 某 印

北海道廳長官宛

(郡區戶長ノ與書ヲ要ス)

第二號式

私有水面埋立拂下(貸下)願

何國何郡(區)何町(村)何番地

一河(又ハ湖、沼、池)埋立地間口何間別紙繪圖面ノ通
 此坪數何程
 右ハ今般御拂下(貸下)ノ上宅地(又ハ何々)ノ目的ヲ以テ埋立仕度尤接續地主等ノ故障ハ聊カ無之候間相當ノ代價(料金)ヲ以テ御拂下(貸下)被下度別紙方法書(設計書)並ニ繪圖面相添保證人連署此段奉願候也

年月日

何府(縣)(華)(士族)平民
 何國何郡區何町村何番地
 當時何國何郡(區)何町(村)何番地寄留
 願人 何 某印
 (肩書前ニ倣フ)
 接續地主 何 某印
 (同上)
 保證人 何 某印

北海道廳長官宛
 (郡區戶長ノ奥書ヲ要ス)

第三號式

水面埋立成功御認可願

何國何郡(區)何町(村)何番地
 一水面埋立地間口何間別紙繪圖面ノ通

此坪數何程

右埋立ノ義明治何年何月何日御許可ヲ得候所今般悉皆成功仕候間御検査ノ上御認可被成下度此段奉願候也

年月日

何府(縣)(華)(士族)平民
 何國何郡(區)何町(村)何番地
 當時何國何郡(區)何町(村)何番地寄留
 願人 何 某印

北海道廳長官宛
 (郡區長戶長ノ奥書ヲ要ス)

第四號書式

公有水面使用願

何國何郡(區)何町(村)何番地
 一海面(又ハ河湖)面間口何間別紙繪圖面ノ通

此坪數何程

右ハ御命令ヲ遵守シ何々ノ目的ヲ以テ何年何月ヨリ向フ何ヶ年間使用仕度接續地主(及隣接使用者)及示談候所支障無之候ニ付相當ノ使用料上納可仕候間御許可被成下度別紙繪圖面相添保證人連署此段奉願候也

年月日

何府(縣)(華)(士族)平民
 何國何郡(區)何町(村)何番地
 當時何國何郡(區)何町(村)何番地寄留
 願人 何 某印
 (肩書前ニ倣フ)
 接續使用者 何 某印
 (同上)
 續接使用者 何 某印
 (同上)
 保證人 何 某印

北海道廳長官宛

(郡區長戸長ノ與書ヲ要ス)

○明治二十五年二月二十日北海道廳訓令第九號郡區役所宛

明治二十三年^{十二}月 北海道廳令第七十四號水面埋立並使用出願手續ニ依リ官ニ屬スル公私有水面ノ

埋立ヲ出願スルモノアルトキハ實地ヲ調査シ意見ヲ具申スヘシ

埋立許可地ノ成功認可ヲ出願スルトキハ實測圖面ヲ添ヘ願書ヲ進達スヘシ

○地理課派出所

○明治二十四年四月十七日北海廳令第十五號

各便宜ノ地ニ地理課派出所租稅檢査員派出所ヲ設ケ左ニ掲クル事務ヲ取扱ヒ明治二十年五月北海道

廳令第五十一號郡區長分任條件中第二十八第三十第六十五ヨリ第七十一マテ第七十三及第七十八

ハ該派出所開設ノ日ヨリ之ヲ削除ス(二十四年八月總令第三十號ヲ以テ租稅課派)

地理課派出所及租稅檢査員派出所開設ノ期日位置並其區域ハ別ニ告示ス

地理課派出所ニ於テ取扱フ事項

- 一 土地貸下排下ニ關スル事
 - 二 官有地拜借人所有ノ建物賣買讓渡賃入書入スルトキ與書ノ事
 - 三 登記法第十七條第十八條登記請求ノ事
 - 四 (二十五十一月廳令第三十六號ヲ以テ本項刪除第五項亦同シ)
- 租稅檢査員派出所ニ於テ取扱フ事項(二十四年八月總令第三十號ヲ以テ租稅課派出所租稅檢査員派出所ト改ム又該派出所ハ第九類租稅檢査ノ部ニ出ツ)
- 一 國稅檢査ニ關スル事
 - 二 民有各種ノ土地檢査ノ事

○明治二十四年八月十六日北海道廳告示第二十四號

當廳地理課派出所ノ名稱位置管理區域左ノ通定ム但明治二十四年五月當廳告示第十一號ハ廢止ス

(二十四年十月告示第四十號ヲ以テ地理課派出所ノ下租稅檢査員)

前項地理課派出所中森林ニ關スル事項ハ本年九月一日ヨリ取扱ハシム但明治二十四年七月當廳告示

第十九號本文取扱ノ日ヨリ廢ス(森林ニ關スル事項ハ二十五年十一月總令三十六號ニヨリ)

名	稱	位	置	管	理	區	域
地理課	札幌	札幌	區	石狩國札幌區、札幌、夕張、空知、雨龍、上川、樺戸、石狩、厚田、濱益ノ九郡	釧路國釧路郡、釧路、厚田、上川、樺戸、石狩、厚田、濱益ノ九郡		
小樽	小樽	支庁	支庁	小樽、釧路、厚田、上川、樺戸、石狩、厚田、濱益ノ九郡			
室蘭	室蘭	支庁	支庁	室蘭、釧路、厚田、上川、樺戸、石狩、厚田、濱益ノ九郡			
室蘭	室蘭	支庁	支庁	室蘭、釧路、厚田、上川、樺戸、石狩、厚田、濱益ノ九郡			

○明治二十五年三月十四日北海道廳訓第五十四號(內務部地理課派出所宛) 其所ニ於テ取扱候土地處分ニ關スル願書ニシテ意見ナキモノハ白令壹願書毎ニ左ノ證印ヲ捺シ其都度進達スヘシ

經	何年何月何日	何々地理課派出所
由	所長印	
證	何第何號	

○明治二十六年二月二十五日北海道廳告示第十二號 地理課札幌派出所ヲ常應構内ニ移シ來ル三月一日ヨリ事務取扱ハシム

○明治二十六年三月二十四日北海道廳令第六號 明治二十四年八月告示第二十四號中常應地理課小樽山函館浦河釧路根室増毛派出所ヲ廢シ右管理

區域内土地ニ關スル左ノ願書ハ其所管郡區役所ニ差出スヘシ
本令ハ明治二十六年四月一日ヨリ施行ス

一 明治十九年六月閣令第十六號北海道土地拂下規則ニ依ル土地貸下拂下ニ關スル件

○明治二十五年十一月十二日廳令第三十四號

明治二十年五月常應令第五十一號郡區長分任條件中左ノ通删除追加シ來ル十二月一日ヨリ施行ス
但地理課派出所々屬分遣所及駐在所ハ本文施行ノ日ヨリ廢止ス(分任條件ハ森林ニ關スル事項ナリ第三類郡區部ニ出ツ茲ニ畧ス)

○鑛山

○明治二十五年八月五日北海道廳令第二十五號

鑛業條例施行細則第七條ニ據リ常應ヘ差出スヘキ書類ハ總テ所轄郡區役所戸長役場ヲ經由届出ヘシ

○明治二十五年八月五日北海道廳訓令第四十號(郡區役所戸長役場宛)

明治二十五年北海道廳令第二十五號ノ届書ハ實地支障ノ有無調査ノ上意見ヲ具シ本長官ヘ進達スヘシ

○明治二十六年五月三十一日北海道廳訓令第二十四號(郡區役所戸長役場宛)

明治二十五年八月北海道廳令第二十五號届書ニ對シテハ出願地ノ郡區町村大字小字名ヲ調査シ其異同ハ同年八月當應訓令第四十號意見書ト同時ニ具申スヘシ

○明治二十六年八月三十日北海道廳訓令第三十二號(郡區役所戸長役場宛)

鑛業條例施行細則第七條ニ據リ届出ノ書類ハ總テ收受年月日ヲ記入シ届書ノ封筒ヲ添付シ客年八月訓令第四十號意見書ト共ニ進達スヘシ

○明治二十六年八月三十一日北海道廳告諭第六號

本年^五農商務省令第十號ヲ以テ鑛業條例施行細則中改正相成候ニ付テハ同則第七條ニ據リ届出ノ書類ヲ五日以内ニ地方長官へ届出サルモノ及出願地ノ村名大字小字等公稱ニ違フモノハ就レモ本願無効ニ歸スル義ト相成候處出願人中往々届出ノ期限ヲ怠リ或ハ大字小字ヲ誤記脱落スルモノ有之途ニ折角ノ願意無効ニ歸スルモノ少ナラカス右ハ畢竟願人ニ於テ其手續ヲ熟知セサルノ結果ニ可有之候條願意ノ効力ヲ全フスル様篤ク注意スヘシ

○明治二十六年十二月七日北海道廳令第四十二號

砂鑛採取ニ關スル願書及届書ハ總テ所轄戶長役場郡區役所ヲ經由差出スヘシ

○明治二十六年十二月七日北海道廳訓令三十七號 郡區役所 長役場宛

砂金採取ノ爲メ當廳ニ對シ土地使用ノ承諾ヲ出願スル者有之候節ハ其出願區域中官ニ屬スル道路堤塘及運輸交通ニ必要ナル河川、沼湖、溝渠等ノ有無ヲ調査シ其旨上申スヘシ

○森林

○森林保護

○明治十一年九月九日開拓使乙第二十三號布達

森林監護假條例別冊ノ通相定候條此旨布達候事

但從前本支廳達布達等此條例ニ抵牾スルモノハ取消候義ト可相心得事

(別冊)

森林監護假條例

第一條 一官林ノ等級ヲ分ツ左ノ如シ

一等官林

良樹ノ森列シテ運輸ノ便ナルモノ

二等官林

良樹森列スト雖トモ町步狹少或ハ運輸不便ナルモノ

三等森林

薪炭山及其他ノ雜林

第二條 伐採ヲ禁シ三等林外ニ置クモノ左ノ如シ

但國土ノ利害ニ關スルモノハ三等林内ニアルモノト雖トモ伐採ヲ禁ス

水源涵養

土砂止並頽雪止

土地ノ風致ヲ裝飾スルモノ

風除

國郡町村ノ境界ヲ表スルモノ

川河ノ兩傍

魚附場

船舶ノ目標トナルモノ

道路並木ノ代用ヲナスモノ

第三條 私林

人民共有或ハ一人一己私有スルモノ

第四條 官林ハ許可ナクシテ斬伐スルヲ禁ス

但傷害シテ生育ニ妨ケナキモノハ直價ノ半額生育ヲ妨クルト認ムルモノハ直價ノ二倍半ヲ償ハシム

第五條 許可ナクシテ官林ニ家畜ヲ放牧シ蔬菜ノ種子ヲ蒔キ秣草ヲ刈ル等ノコトヲ禁ス

第六條 山林ヲ暴伐シ或ハ許可ナクシテ開墾地田圃庭園トナスヲ禁ス

第七條 許可ナクシテ斧鋸等ヲ携帯シ官林ニ入ルモノハ山林官吏之ヲ糺シ辨解立タサ、モノハ其器具ヲ收奪ス

第八條 木ヲ伐リ草ヲ刈リ或ハ材木ヲ運送スルニ當リ稚樹ヲ傷害セサル様注意スヘシ

第九條 桑樹ハ明治十一年八月第二十四號本應管内達野桑保護假條則ニ憑準シ處分スヘシ

但各支應管内ハ此限ニ非ス

第十條 山野ニ放火スルハ勿論火ヲ弄フ等ノコトヲ禁ス

第十一條 山野ニ火アルトキハ山林官吏或ハ村吏其近里ノ人民ヲ召集シ消防ノ役ニ就カシムヘシ
人民ハ速カニ召集ニ應ジ其指揮ニ從フヘシ

第十二條 山野ノ火ヲ消防スルニ當リ傷痕ヲ受ケ或ハ死ニ至ルモノアレハ明治八年四月公達第五十
四號ニ憑準シ手當ヲ給與スヘシ

但私林ハ其所有主ヨリ相當ノ手當ヲ給與スヘシ

第十三條 此條例ノ犯者ヲ認ルトキハ其姓名住所ヲ取糺シ訴出ヘシ其告發スルモノハ金二十錢ヨ
リ少ナカラス五圓ヨリ多カラサル手當ヲ給與スヘシ

○明治十一年十月三日開拓使乙第二十三號布達

當使管内山林ノ義ハ天然ノ樹木ニ富ミ需用猶餘リアリト雖モ其減耗セサルニ先チ追々植林ノ方法
ハ設ケサルヘカラサル義ニ候處函館支應管内ニ至テハ檜山山越茅部三郡等ノ山林ヲ除クノ外ハ既
ニ概テ伐盡シ候ヨリ函館市街ノ如キ其用材ハ多ク他ノ輸入ヲ仰キ候次第ニテ目下植林ノ方法ヲ設
ケサレハ將來不測ノ患害ヲ可生ハ必然ニ付今般部分木仕付條例別紙ノ通施行候條有志ノ者ハ速ニ
出願可致此旨函館支應管内ヘ布達候事

(別紙)

第一條 樹木ナキ官有ノ山野官ニ於テ差支無之トキハ人民ノ本籍寄留願ニヨリ之ヲ貸渡シ地味ニ適
當セル木種ヲ植挿セシメ其幾分ヲ官納シ自ラ其幾分ヲ收メシムル之ヲ名ケテ部分木ト云フ

第二條 第一條ノ趣旨ヲ以テ官地ヲ拜借セント欲スルモノハ先ツ該所ノ段別ヲ測量シ地味ノ適否

ヲ審査シ別紙第一號書式ニ照シ函館支廳ニ願出ヘシ

第三條 第二條ノ場合ニ於テハ官吏ヲ派遣シ實地點檢事實相違ナキトキハ之ヲ聞届ケ別紙第二號書式ノ貸地券狀ヲ下ケ渡スヘシ

但寄留人ハ將來維持スルニ足ルヘキ保證人連署スヘシ

第四條 樹木部分ノ方法ハ運輸ノ便否地味ノ善惡ニヨリ一官九民假令ハ百本ノ立木ナレハ拾本ヲ官收シヨ九拾本ハ人民ニ付與スルヲ云フ

リ二官八民迄ノ間適宜ニ之ヲ區分スヘシ

第五條 第四條ニ掲クル所ノ部分方法ハ成木ノ上立木ノ儘分配スルアリ又ハ伐木ノ節官民ニ於テ各評價人ヲ出シ總計金額ヲ豫算シ金員ヲ以テ配賦スルアリ共ニ官民協議ノ上適宜ニ之ヲ定ムルモノトス

但不得止事故アツテ官ニ於テ該地入用ノ節ハ相當代價ヲ以テ其民有ニ當レル植木ヲ買上ヘシ

第六條 官ハ地所ノ貸渡料ヲ取立サルヘシ借人ハ植插養護ヲ擔任スルモノトス

第七條 植插ノ後樹木成育スルニ隨ヒ手入伐木セント欲スルハ前以テ函館支廳ニ願出ヘシ實地點檢不都合ナキモノハ是ヲ許可シ削除ノ樹木ハ悉ク仕立主ニ下付スヘシ

但十五年以後ニ至リ拔伐スル木品ハ最初ノ約束ニ基キ各之ヲ配賦スヘシ

第八條 植插ノ後其樹木ヲ伐採スルハ員數ノ多少ニ拘ハラズ其木種員數等速ニ函館支廳ニ届出ヘシ

第九條 地所拜借願濟ノ上ハ四至境界ヲ正シ四隅ヘ左ノ通仕立主ヲシテ標木ヲ建設セシムヘシ

裏

開拓使函館支廳管下何國何郡何(町村)字何四至境界

第何號幾官部分林段別何程

何年何月植付

仕立主何國何郡何(町村) 何ノ 誰

第十條 仕立主ノ都合ニ依リ其部分木仕付ノ權ヲ他ニ讓渡サント欲スルハ其事實ヲ詳記シ函館支廳ニ願出ヘシ不都合ナキモノハ證券ニ裏書シテ下渡スヘシ

但本文ノ樹木ヲ質入書入セント欲スルトキハ明治七年第六號公布ノ手續ニ準據シ所戶長ノ檢認ヲ受クヘシ

第十一條 貸地段別ハ豫メ其制限ヲ定メスト雖トモ其植栽見込ノ員數ニ對照シ相當ノ地積ヲ貸付スルモノトス

但植付員數ノ都合ニヨリ廣大ノ地積ヲ要シ一時植插ヲナシ得サル場合ニ於テハ三ヶ年以内ノ期限ヲ以テ追次其植插ヲ許スヘシ然レトモ三ヶ年ヲ過キ猶其植插未了ノ地ハ直チニ返附セシムヘシ一時植付並追次植插ニ拘ラス實地植付濟ノ上ハ速ニ函館支廳ニ届出之レカ檢査ヲ受クヘシ

(別紙)

(第壹號)(料紙半紙)

部分木植付額
御管内何國何郡何村何官山野段別何程何木何程幾官幾民部分方法ヲ以テ御條例ノ通私費植付被
差許度此段奉願候也

開拓使管下何國何郡何村何番地或ハ寄留

華士族平民

年月日

何ノ誰印

前書ノ通相違無之ニ付被差許度候也

年月日

區戸長印

函館支廳長官宛

(第二號)(料紙奉書)

部分木分證券

開拓使管下何國何郡何(町村)何番地或ハ寄留

何ノ誰

函館支廳管下何國何郡何村何官山野段別何程

樹種數品アル者ハ本
何樹植付何程 行ニ徴ヒ列記スヘシ

右明治何年何月ヨリ地所貸渡候條植付ヨリ培養保護ニ至ル迄全ク私費ヲ以テ可相辨尤モ成育ノ上ハ

幾官幾民ノ割合ヲ以テ部分スルモノナリ

函館支廳

年月日

長官官姓名印

○明治十三年十月二十六日開拓使乙第九號布達

本應管内部分木任付條例別紙ノ通相定候條此旨布達候事

(別紙)

部分木任付條例

第一條 樹木ナキ官有ノ山野差支ナキトキハ人民ノ願ニヨリ之ヲ貸渡シ地味ニ適當スル木種ヲ植

挿蒔付セシメ其幾分ヲ官納シ自ラ其幾分ヲ收メシムル之ヲ名ケテ部分木ト謂フ(十六年五月札幌縣

以テ冒頭樹木ナキ四字及但書十九字ヲ追加ス又本條以下各
條及書式中植挿若クハ植付トアル次へ時付ノ二字ヲ加フ)

但官林伐木跡ト雖トモ本文ニ準スルヲ得ヘシ

第二條 第一條ノ趣旨ヲ以テ官地ヲ拜借セント欲スルモノハ先ツ該所ノ段別ヲ測量シ地味ノ適否

ヲ審査シ第一號書式ニ照シ本廳ニ願出ヘシ

第三條 前條ノ場合ニ於テハ官吏ヲ派遣シ實地點檢事實相違ナキトキハ之ヲ許可シ第二號書式ノ

貸地券狀ヲ下渡スヘシ

第四條 樹木部分ノ方法ハ運輸ノ便否地味ノ善惡ニヨリ一官九民(假令ハ百本ノ立木ナレハ拾水ヲ官收

上實際適宜ニ之ヲ區分スヘシ(十六年五月札幌縣甲第二十號布達ヲ以テ割註ノ下ヨリ二官八
民迄ノ間ヲ以テ實地ノ十四字ヲ削リ以上實際ノ十四字ヲ加フ)

第五條 第四條ノ部分方法ハ成木ノ上立木ノ儘分配スルアリ又ハ伐木ノ節官民ニ於テ各評價人ヲ出シ總計金額ヲ豫算シ金員ヲ以テ配賦スルアリ都テ官民協議ノ上適宜ニ之ヲ定ムルモノトス但不得止事故アリテ官ニ於テ該地入用ノ節ハ相當代價ヲ以テ其民有ニ當レル樹木ヲ買上クヘシ

第六條 官ハ地所ノ貸渡料ヲ取立サルヘシ拜借人ハ植挿蒔付養護ヲ擔任スルモノトス

第七條 植挿蒔付ノ後樹木成育スルニ隨ヒ手入伐木セント欲スルトキハ前以テ本廳ニ願出ヘシ實地點檢不都合ナキモノハ之ヲ許可シ免除ノ樹木ハ悉ク仕立主ニ下附スヘシ

但十五年以後ニ至リ拔伐スル木品ハ最初ノ約束ニ基キ之ヲ配賦スヘシ

第八條 地所拜借願濟ノ上ハ四至境界ヲ正シ拜借人ヲシテ四隅ヘ左ノ標木ヲ建設セシムヘシ

裏

開拓使札幌本廳管下何國何郡何(町村)字何方位間數

第何號幾官幾民部分林段別何程

何年何月 植付

仕立主何郡區何(町村) 誰

第九條 仕立主ノ都合ニヨリ其部分木仕付ノ權ヲ他ニ讓渡サント欲スルトキハ其事實ヲ詳記シ本廳ニ願出ヘシ不都合ナキモノハ證券ニ裏書シテ下渡スヘシ
但本文ノ樹木ヲ質入書入セント欲スルトキハ明治七年第六號布告ノ手續ニ準據シ所戶長ノ檢

認ヲ受クヘシ

第十條 借地段別ハ豫メ其制限ヲ定メスト雖トモ其植栽見込ノ員數ニ對照シ相當ノ地積ヲ貸付スルモノトス
但植栽員數ノ都合ニヨリ廣大ノ地積ヲ要シ一時植挿蒔付ヲナシ得サル場合ニ於テハ三ケ年以内ノ期限ヲ以テ追次植栽ヲ許スヘシ然レトモ三ケ年ヲ過キ猶其植挿蒔付未了ノ地ハ直チニ返納セシムヘシ

第十一條 一時植付並追次植栽ニ拘ハラズ實地植付濟ノ上ハ速ニ本廳ニ届出之レカ檢査ヲ受ケ爾後生育或ハ枯死等ノ景況ハ毎年十一月中届出ヘシ(十六年五月札幌縣甲第二十號布達ヲ以テ十一月ニ改ム)

第十二條 本廳ニ於テハ臺帳ヲ製シ貸渡シタル地所反別植付蒔付木種員數及ヒ拜借人ノ住所姓名等ヲ登錄シ爾後増減異動等其時々加除スヘシ

△朱書

第壹號 (願書雛形)

御管内何國何郡何町何字何官野段別何程へ何木何程幾官幾民ノ部分方法ヲ以テ御規則ノ通私費蒔付仕	部分木 植付額
度此段奉願候也(十六年五月札幌縣甲第二十號布達ヲ以テ)	蒔付
何程へノ下ニ何木何程ノ四字ヲ加フ	
使府(廳)何國何郡(區)何町(村)何番地或(寄留)	
華士族平民	
何 之 誰 印	
年月日	

札幌本廳長官宛

△奥書
前書ノ通願出ニ付奥印ノ上進達仕候也

年月日

某町村戸長
何 之 誰 印
某郡區長
姓 名 印

△番 號

部分木證券

△割 印

使府(縣)何國何郡(區)何町(村)何番地或(寄留)

何 之 誰

札幌本廳管下何國何郡何町(村)字何官山(野)

段別何程

何樹 植付

△樹種數品アルモノ本
何程 行ニ倣ヒ列記スヘシ

右明治何年何月ヨリ地所貸渡候條植付ヨリ培養保護ニ至ル迄全ク私費ヲ以テ可相辨充成木ノ上ハ幾

官農民ノ割合ヲ以テ部分スヘキモノ也

年月日

札幌本廳
長官官姓名印

○明治十八年一月十九日根室縣甲第二號布達
管内山林ノ義ハ天然ノ樹木ニ富ミ需用尙ホ餘リアリト雖トモ其減耗セサルニ先チ追々植挿林ノ方
法ヲ設ケサレハ將來不測ノ患害ヲ生スヘキハ必然ニ付今般明治十一年內務省甲第四號布達部分木
仕付條例第四條中二官八民ヲ一官九民トナスノ外總テ該條例ノ通施行候條有志ノ者ハ別冊條例ニ
基キ可願出此旨布達候事

(別 冊)

甲第四號

植林之義ハ最モ方今ノ急務ニ付今般部分木仕付條例別紙ノ通施行候條其趣旨ヲ體認從事候様可致
此旨布達候事

明治十一年三月十四日

內 務 卿

(別 紙)

部分木仕付條例

第一條 樹木ナキ官有ノ山野官ニ於テ差支無之時ハ人民ノ願ニヨリ之ヲ貸渡シ地味ニ適當セル木
種ヲ植挿セシメ其幾分ヲ官納シ自ラ其幾分ヲ收メシムル之ヲ名ケテ部分木ト云フ
但官林伐木跡ト雖トモ從前部分ノ慣行有之箇所ハ本文ニ準スルヲ得ヘシ
第二條 第一條ノ趣旨ヲ以テ官地ヲ拜借セント欲スルモノハ先ツ該所ノ反別ヲ測量シ地味ノ適否
ヲ審査シ別紙第一號書式ニ照シ地方廳ニ願出ヘシ

第二類 森林 森林保護

第三條 前條ノ場合ニ於テハ地方廳ニ於テ官吏ヲ派遣シ巡視點檢事實相違ナキトキハ之ヲ聞届ケ別紙第二號書式ニ倣ヒ貸地券狀ヲ下ケ渡スヘシ

第四條 樹木部分ノ方法ハ運輸ノ便否地味ノ善惡人民希望ノ厚薄ニヨリ二官八民（假令ハ百本ノ立木ナレハ二十本ヲ官收シ八十本ハ人民ニ付與スルヲ云フ）以上實際適宜ニ之ヲ區分スヘシ（十一年六月内務省甲第二十號布達ヲ以テ割註ノ下ヨリ五官五民迄ノ間レノ九字ヲ削リ以上實際レノ四字ヲ加フ）

第五條 第四條ニ掲クル所ノ部分方法ハ成木ノ上立木ノ儘分配スルアリ又ハ伐木ノ節官民ニ於テ各評價人ヲ出シ總計金額ヲ豫算シ金員ヲ以テ配賦スルアリ共ニ官民協議ノ上適宜ニ之ヲ定ムルモノトス

但不得止事故アツテ官ニ於テ該地入用ノ節ハ相當代價ヲ以テ其民有ニ當レル樹木ヲ買上クヘシ

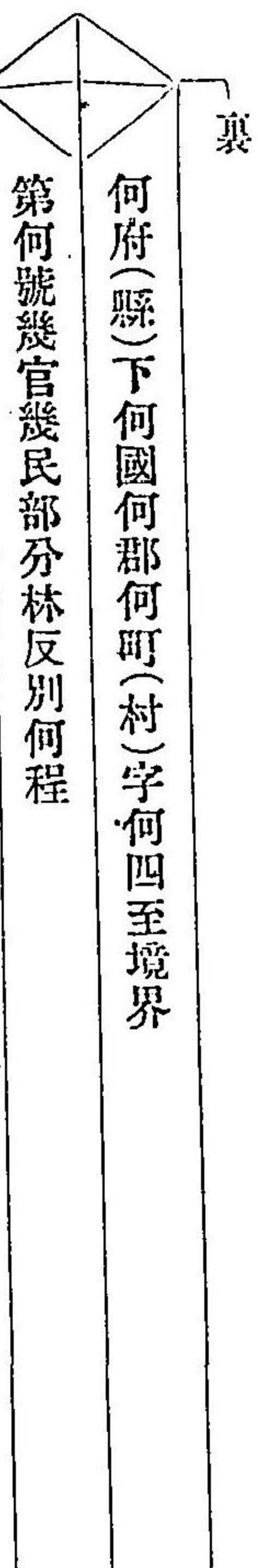
第六條 地方廳ニ於テハ臺帳ヲ製シ毎年人民ハ貸渡シタル地所反別（挿付）木種員數及ヒ拜借人ノ住所姓名共詳細取調前年十二月迄ノ分翌年一月限り内務省地理局ニ届出ヘシ

第七條 官ハ地所ノ貸渡料ヲ取立サルヘシ借人ハ植挿養護ヲ擔任スルモノトス

第八條 植挿ノ後樹木成育スルニ隨ヒ手入伐木セント欲スルトキハ前以テ地方廳ニ願出ツヘシ地方廳ニ於テ實地點檢不都合ナキモノハ是ヲ許可シ免除ノ樹木ハ悉ク仕立主ニ下付スヘシ而シテ臺帳ニ就キ其伐セシ木數ヲ削除シ其翌年一月限り遺漏ナク内務省地理局ニ届出ツヘシ

但十五年以後ニ至リ拔伐スル木品ハ最初ノ約束ニ基キ各之ヲ配賦スヘシ

第九條 地所拜借願濟ノ上ハ四至境界ヲ正シ四隅ヘ左ノ通仕立主ヲシテ標木ヲ建設セシムヘシ



第十條 仕立主ノ都合ニヨリ其部分木仕付ノ權ヲ他ニ讓渡サント欲スルトキハ其事實ヲ詳記シ地方廳ニ願出ツヘシ地方廳ニ於テハ實際不都合ナキモノト認ムルトキハ證券ニ裏書シテ下渡シ追テ内務省地理局ヘ届出ツヘシ

但本文ノ樹木ヲ質入書入セント欲スルトキハ明治七年第六號公布ノ手續ニ準擬シ所戶長檢認ヲ受クヘシ

第十一條 借地反別ハ豫メ其制限ヲ定メスト雖トモ其植栽見込ノ員數ニ對照シ相當ノ地積ヲ貸付スルモノトス

但植立員數ノ都合ニヨリ廣大ノ地積ヲ要シ一時植挿ヲナシ得サル場合ニ於テハ三ヶ年以内ノ期限ヲ以テ追次其植栽ヲ許スヘシ然レトモ三ヶ年ヲ過キ猶其植栽未了ノ地ハ直ニ返附セシムヘシ

第十二條 一時植立並追次植栽ニ拘ラス實地植立濟ノ上ハ其旨地方廳ニ届出之レカ檢査ヲ受クヘシ

(別紙)

第一號 願書雛形

△印朱書

△表

部分木 植付
挿付願

何府(縣)管下何國何郡何町(村)
華士族平民
何之誰

紙

御管内何國何郡何町(村)字何官山野段別何程へ何木何程淺官淺民ノ部分方法ヲ以テ御規則之通私費
植付被差許度此段奉願候也

何府(縣)管下何國何郡何町(村)

華士族平民

何之誰印

△第一號

年月日

△與書
前書之通相違無之ニ付被差許度候也

年月日

區 月 長 印

地方長官宛

△證券雛形

△番號

部分木證券

何府(縣)管下何國何郡何町(村)

何之誰

何府(縣)管下何國何郡何町(村)字何官山野

段別何程

何樹 植付
挿付何程

此割印ハ縣
廳所用ノ印
ヲ裁帳ニ割
印ス

割 印

△樹種數品有之モノ本行ニ
做ヒ列記スヘシ

右明治何年何月ヨリ地所貸渡候條 植付ヨリ培養保護ニ至ル迄全ク私費ヲ以テ可相辨九成育ノ上ハ幾
官淺民ノ割合ヲ以テ部分スヘキモノ也

年月日

地方長官姓名 印

○明治十八年一月十九日根室縣告第五號告示
本年當應甲第二號ヲ以テ部分木仕付條例施行ノ義布達及置候處該條例ニ準據出願ノ者ハ明治十一年內務省甲第十四號布達ノ通可心得別冊相添此旨告示候事

(別冊)
甲第十四號

本年(三月)當省甲第四號ヲ以テ部分木仕付條例及布達置候處右ニ照準出願ノ者ハ別紙ノ條件相心得不都合ノ儀無之様可致此旨布達候事

明治十一年六月三日

內務卿

(別紙)

一部分木仕付條例ニ準シ官地拜借許可濟ノ後條例第十條ノ手續ヲナサズ竊ニ其地ヲ他人ニ貸シ又ハ質入書入ヲ爲スモノ

一同斷許可濟ノ日ヨリ滿一年ヲ過キテ植挿着手セサルモノ

但條例第十一條但書ノ場合ハ本文ト牴觸スルコトナシ

一同斷一ケ年以内ト雖トモ主願ノ樹木ヲ植挿セス他事ニ使用セルモノ

一植樹ノ爲メ甲ノ地ヲ拜借シ置乙ノ地ニ苗床ヲ設ケ實植苗植等ヲナシ他日生育ヲ待テ甲地ニ移植スヘキコトノ著明ナルトキト雖トモ最初許可ノ日ヨリ滿三年ニ至リ猶甲地ニ移植セサルモノ

右條々ノ所爲アルモノハ直ニ其地並地上ニ附着セルモノヲ取上ケ最初貸渡許可ノ日ヨリ而後ノ借地料ニ當ル金額ヲ徵收シ且其者等(第一條ノ所爲ニ依リ其地ヲ借り又ハ書入質入ニ取りタル者モ亦同シ)へ再此條例ニ由リ官地ヲ貸渡ヲ許サス

○明治十九年六月一日北海道廳根室支廳乙第四十八號_{郡役所}宛

山野火取締心得左記之通相定ム

右相達ス

山野火取締心得

第一 山野火豫防上必要ト認ムルトキハ時々郡町村總代人ヲシテ各要所ヲ巡視セシメ其取締ヲ爲サシムヘシ

第二 山野火アルヲ知リタルトキハ直ニ其原因ヲ調査シ犯者アリト認ムルトキハ警察官吏ニ通告シ之ヲ捕拿ノ手續ヲ行フヘシ

第三 山野火消防ハ其火元ヨリ最近ノ人民ヲ召集シ之ニ從事セシムヘシ

第四 罹災地遠隔ナルカ又ハ消防數日間ニ渉ルノ見込アルトキハ食糧及草鞋ヲ給與スヘシ

第五 罹災地遠隔ナラザルカ又ハ消防數日間ニ渉ラサルモノト認ムルトキハ食糧及草鞋料トシテ

一日金貳拾壹錢ノ割合ヲ以テ給與スヘシ

第六 鎮火後ハ直チニ左ノ數項ニ據リ具申スヘシ

一 火ノ原因

- 二 風位
 - 三 燒跡ノ坪數
 - 四 燒燬ノ木種及本數
 - 五 防火ノ方法
 - 六 防火ノ人員
 - 第七 消防ノ爲メ死ニ至リタルモノアルトキハ速ニ醫師二名以上ノ檢案書ヲ添ヘ其原籍住所身分氏名年齢及致命ノ原因模様等ヲ詳記シテ具申スヘシ
 - 第八 消防ノ爲メ傷ヲ受ケタルモノアルトキハ一時左ノ區別ニ依リ治療料ヲ給與スヘシ
 - 一 重傷ニシテ終身自用ヲ辨スル能ハサルモノ
 - 一 自用ヲ辨スルヲ得ルト雖終身事業ヲ營ムコト能ハサルモノ
 - 一 身體舊ニ復セスト雖モ稍々事業ヲ營ムヲ得ルモノ
 - 一 事業ヲ營ムヲ得ルト雖モ身體舊ニ復スコト能ハサルモノ
 - 一 身體ヲ毀傷スルト雖モ一時ノ治療ヲ以テ舊ニ復スルコトヲ得ルモノ
 - 第九 第四第五ニ據リ處分シタルトキハ速ニ其費額及住所氏名ヲ具申スヘシ
 - 第十 第八ニ據リ處分シタルトキハ速ニ醫師二名以上ノ診斷書ヲ添ヘ其原籍住所身分氏名年齢及受傷ノ原因模様等ヲ詳記シテ具申スヘシ
- 明治二十一年五月二十六日北海道廳令第四十號

山野火入取締規則ヲ定ムルコト左ノ如シ

但明治十年五月開拓使函館支廳第五十號布達ハ廢止ス

山野火入取締規則

- 第一條 山野牧場及開墾地等ニ火入ヲ爲サント欲スル時ハ左ノ各項ヲ具シタル書面ヲ所轄警察署又ハ分署ニ差出シ認可ヲ受タル後ニ非サレハ施行スルヲ得ス
 - 一 火入期日
 - 一 一個所限地目凡反別及字名
 - 一 四境隣接地ノ景況
- 第二條 火入ヲ施行セントスル時ハ火入着手三日以前ニ隣接地ノ所有者(官林ナルハ第二部林務課員 派出所者クハ該地官林看守人)ヘ其旨ヲ報知ス可シ(派出所ハ二十五年十一月總令第三十四號ヲ以テ廢止下同)
- 第三條 火入ヲ施行セントスル山野ニシテ森林ニ隣接セルトキハ其部分ニ幅二間以上ノ防火線ヲ劃シ柴草落葉及塵芥等ヲ除キ去リ延燒ノ虞ナカラシム可シ
- 第四條 風勢穏ナラサル時若クハ夜間ニ於テ火入ヲ施行スルトキハ最モ豫防ノ備ヲ嚴ニシ若シ其近傍ニ延燒又ハ飛火等アルトキハ速ニ撲滅ノ手配ヲ爲スヘシ
 - 但強風ノ際ハ火入ニ着手スルコトヲ許サス
- 第五條 火入中ハ番人ヲ附シ置キ火氣全ク消滅スルニ至ル迄其場ヲ退カシム可ラス
- 第六條 火入ヲ認可シタル場合ト雖モ郡區長警察官第二部林務課派出所員戶長官林看守人ニ於テ

防火ノ準備不充分ト認めタルトキ又ハ風勢ノ變動等ニヨリ他ヘ延焼ノ虞アリト思量スル時ハ之ヲ中止セシムルコトアル可シ

○明治二十一年十月二十五日制定

官林巡視人看守人規則

第一章 服務心得

第一條 官林巡視人ハ受持部内ノ官林ヲ巡回保護シ看守人ハ官林ノ要部ヲ看護スルモノトス

第二條 官林巡視人看守人ノ常ニ注意スヘキ件ハ左ノ如シ

- 一 森林ノ盛衰及被害ノ狀況
- 二 官林制札及境界ノ存敗
- 三 官林地ヲ侵墾スルモノ
- 四 官林産物ヲ窃取シ又ハ毀損スルモノ
- 五 官林内ヘ擅ニ牛馬羊豚ヲ牽入ルモノ
- 六 官林木ト認めヘキ木材ヲ取扱フモノ

第三條 前條ノ件ヲ見認タルトキ家畜ハ取押ヘ人類ハ其事故ヲ聞糺シ現行犯ニ係ルモノハ速ニ派出所ヘ通報スヘシ(派出所ハ二十五年十一月廳令第三十四號ヲ以テ廢止下並ニ同シ)

但犯罪ノ形跡事實等ハ最モ能ク取調置クヘシ

第四條 官林ニ接近セル山野ニ火入シ又ハ民林ニ於テ伐木スルモノアルトキハ官林ノ保護ニ注意

スヘシ

第五條 官林内ニ發火アルトキハ直ニ現場ニ驅付ケ消防ノ手配ヲナシ火勢盛ナルトキハ速ニ派出所ヘ通報スヘシ

第六條 林務ニ關スル吏員ノ出張巡回等アルニ當テハ詳細ノ狀況ヲ開陳シ又ハ實地ヲ案内スヘシ

第七條 受持官林内ニ於ケル事故ハ其重要ナルモノヲ記シテ報告表ヲ作り毎月十日迄ニ派出所ニ差出スヘシ

第二章 採用手續

第八條 官林巡視人ヲ分テ七等トナシ月給ヲ附與ス其等級及給額左ノ如シ

等	級	一	二	三	四	五	六	七	等
月	給	六	四	五	四	四	四	三	四
		錢	五	錢	四	錢	三	錢	
			五	四	五	四	五	拾	
			拾	四	四	四	拾	三	

第九條 官林看守人ハ分テ五等トナシ年給ヲ附與ス其等級額左ノ如シ

等	級	一	二	三	四	五	等
年	給	拾	五	四	拾	四	拾
		四	拾	四	拾	四	八
		四	拾	四	拾	四	六
		四	拾	四	拾	四	四

第十條 官林巡視人看守人ハ月給又ハ年給ノ外別ニ旅費ヲ給セスト雖トモ特ニ外業ヲ補助セシムルトキハ左ノ旅費日當ヲ支給スヘシ

第十一條 官林巡視人看守人ハ左ノ各項ニ對シ合格セルモノヲ撰ムヘシ

- 一 性質善良ニシテ從來刑律ニ觸レ又ハ身代限りノ處分ヲ受ケサルモノ
 - 二 官林所在地方ニ居住シ地理民情ニ通シタルモノ
 - 三 普通ノ算筆及讀書ニ差支ナキモノ
 - 四 丁年以上ニシテ身體健康ナルモノ
 - 五 林産物ノ營業者ニ非サルモノ
- 第十二條 官林巡視人又ハ看守人ヲ備入ル、ニ當リ前條各項ニ合格セリト見認メタルトキハ第一號書式ニ據リ監督員ヲ經テ本部ニ伺出ツヘシ
- 第十三條 官林巡視人又ハ看守人ヲ本部ニ採用シ辭令書ヲ下附シタルトキハ第二號書式ニ據リ請書ヲ差出サシムヘシ

(書式略ス)

○明治二十五年五月十九日北海道廳訓第三百三十六號郡區役所戶長役場宛

野火ノ森林ニ災害ヲ與フルヤ爲メニ薪炭用材等ノ缺乏ヲ告ルノミナラス甚シキニ至テハ人畜家屋舉テ荒亡ニ歸セシムルノ慘狀ヲ觀ル從來其例鮮ナカラス然ルニ今ヤ時季乾燥ニ際シ野火森林ニ延燒候者往々ニ有之右ハ國家經濟上實ニ容易カラスト爲ス就テハ開墾等ノ爲メ火入セント欲スルモノハ必ス明治二十一年五月廳令第四拾號山野火入取締規則ニ準據シ夫々周到手續ヲ盡スヘキハ勿論ナリトス若シ不時ニ火ヲ發シタル時ノ如キハ地元町村人民協力消防スルハ當然ノ義務ニシテ平素豫防ノ方法ヲ講シ居ルハ最必要ノ義ナレハ此際一層部内人民ニ懇諭シ不測ノ災害ヲ未萌ニ防禦

シ國利ヲ永遠ニ企圖スヘキ様取計ヲ可シ

○明治二十六年四月十八日北海道廳訓第四百十四號郡役所宛

山野火入ノ儀ハ明治二十一年五月本廳令第四十號山野火入取締規則ニ依リ延燒豫防ノ方法ヲ設備シ施行可致ハ勿論ニ候處往々右豫防ノ設備ヲ爲サステ濫リニ火入ヲ爲シ又ハ樵夫ノ焚火等ヨリ終ニ延燒數里ニ涉リ鬱蒼タル森林ヲシテ忽チ焦土ニ歸セシムルコト尠カラズ其實ニ名狀スヘカラサルモノアリ蓋シ野火ノ延燒ハ盜伐ノ如キ故意ノ所爲トハ全ク其趣ヲ異ニシ概ネ過失ニ原因スルモノナレハ之カ警戒スルハ偏ニ豫防注意ノ周到ニ由ラサルヘカラス元來山野火入ニ關シテハ屢々訓示セシ次第モ有之又當局者ニ於テモ夙ニ火害防止ノ方法ヲ經營シ漸次弊根ヲ芟除スルノ計畫ヲ立テ著々實行ノ運ヒニ至リ候義ト確信スルモ今ヤ乾燥火入ノ時季ニ向ヒタレハ此際各戸長ハ勿論一般住民ヲ警戒シ決シテ疎漏ノ事無之様大ニ注意ヲ喚起セシメ自今一層愛林ノ道確立候様銳意取締ノ方法ヲ立テラルヘシ

○明治二十六年二月十五日北海道廳訓第三十四號郡役所宛

本道林制ノ事タル從來一定ノ方針アルアリト雖モ一般施政ノ狀勢ニ隨伴シ時ニ或ハ弛張變遷ノ蹟ナキニアラス以テ遺憾トスル所ナリ依テ其方針ニ由リ漸次釐革ヲ圖リ大ニ整理ノ基礎ヲ立テントシ曩キニ森林事務ヲ二分シ其將來ニ施スヘキ林地測量及林植調査並ニ長期施業按其他國土保安林、水源涵養林、魚附林、風致林、風防林又ハ町村共有林等ノ調査ニ係ルモノハ本廳ノ直轄トシ其毎年度斫伐施業成案ニ基キ森林竹木土石ノ拂下林地貸下等ニ屬スル事務ハ之ヲ分任セリ是レ畢竟林

務ノ完全ヲ期スルニ於テ施政ノ順序當ニ然ラサルヲ得ス其本應直轄ニ係ルモノハ他日各自ノ意見ヲ諮フ所アラントス

夫レ森林ノ盛衰ハ國家消長ニ關シ固ヨリ至重至大ノ要務ナレハ進テ營林ノ基礎ヲ鞏固ニシ保護愛養ノ道ヲ講セサルヘカラス況ンヤ本道ハ氣候近寒樹木ノ成長遅々ナルニモ拘ハラス移民日ニ増シ月ニ盛ニ鐵道ノ延長電線ノ架設年ヲ逐フテ多キヲ加ヘ爲メニ木材需用ノ増加ヲ來ス實ニ夥シク剩ヘ沿海各地水産物製造ニ費消スル薪炭亦鮮カラス今ニ於テ前途需用供給ノ程度ヲ審按シ其長計ヲ立ツルニアラスンハ數年ナラスシテ供給缺乏需用ニ應スルコト能ハサルノ實況ヲ呈シ且ツ大氣ノ調和ヲ失シ遠ク挽回ノ道ナキニ至ラン是實ニ本官ノ憂慮スル所ナリ然ルニ既往ノ成蹟ヲ觀察スレハ猥リニ火ヲ林野ニ放チ無數ノ樹木ヲシテ一朝灰燼ニ歸シ或ハ沿海ノ森林ヲ濫伐シテ魚介ノ棲息ヲ妨ケ爲ニ收利ノ減退スルモノ尠カラス茲ニ各自能ク此意ヲ服膺シテ専ラ監督ヲ周匝シ諸般ノ宿弊ヲ矯メ民人ヲシテ愛林養護ノ道ヲ知ラシメ協同一致益々林制ノ整備ヲ勉ムヘシ

○林産物拂下

○明治二十一年五月四日北海道廳令第三十一號

官林木特賣規則ヲ定ムルコト左ノ如シ

官林木特賣規則

第一條 官林木拂下ノ特許ハ左ノ場合ニ限ルモノトス
但官廳ノ都合ニ依リ特ニ之ヲ行フ場合ハ此限ニアラス

一 拂受人自己ノ用途ニ消費スル時

一 炭燒營業用ニ供スル時

第二條 左ニ記載シタル者ハ拂下ヲ許サス

一 官林産物ヲ拂受其代金意納中ノ者及官林ニ關スル損害ノ賠償ヲ畢ヘサル者

一 官林ニ關スル輕罪ヲ犯シ裁判確定後滿一年ヲ經サル者

第三條 林木ノ價格ハ豫テ當廳ニ於テ之ヲ定メ該定價表ハ當廳第二部林務課員派出所及郡區役所戸長役場ニ備置クモノトス(派出所ハ二十五年十一月廳令第三十四號ヲ以テ廢止下並ニ同シ)

第四條 林木拂下ノ特許ヲ得ントスル者ハ第一號書式ノ願書武進ヲ當廳第二部林務課員派出所ヘ差出スヘシ

林木拂下ト共ニ炭竈用敷地借受ヲ要スル者ハ第二號書式ニ準據スヘシ

第五條 林木拂下ノ特許ヲ得タルトキハ代金速ニ皆納シ入林鑑札ノ下付及現木ノ引渡ヲ受クヘシ
入林鑑札ハ伐木及運搬ニ從事スル者ノ員數ニ應シ拂受人又ハ拂受人總代ノ名義ヲ以テ下付スヘシト雖官林ニ損害ヲ來スヘシト認ムルトキハ特ニ人員ヲ制限スルコトアルヘシ

第六條 林木ノ引渡ヲ受タルトキハ其木種員數等ノ引渡ヲ爲シタル官吏ノ手帳ニ照合シ毫モ相違ナキニ於テハ拂受人ハ之ニ署名捺印スヘシ

但繪圖面ヲ要スル場合モ亦之ニ準ス

第七條 拂下ヲ許可シタル林木ハ樹幹ノ下部ニ極印ヲ押刻シテ之ヲ標證スヘシ

薪炭用木及樹皮剝取ノ目的ニヨリ許可シタルモノハ區域ヲ限リ引渡スコトアルヘシ

第八條 薪炭用トシテ拂下ヲ許可シタル林木ノ員數多クシテ一區域内ニ於テ其數ニ充タサルトキハ數箇所ニ於テ引渡スコトアルヘシ

第九條 林木引渡ニ際シ實地ノ狀況ニ據リ願書面ニ記載ノ小字箇所ハ同官林内ニ於テ便宜變換スルコトアルヘシ

第十條 林木引渡ノ後ハ該物件ニ異狀損害ヲ生スルトモ當應ハ其責ニ任セス

第十一條 樹木ノ根株ハ拂下外ノモノトス故ニ特ニ許可ヲ得ルニ非レハ極印アル部分ヨリ以下ハ之ヲ殘存スヘシ

第十二條 (二十五十一月總令第三十三號ヲ以テ本條刪除)

第十三條 拂下ヲ受ケタル林木ハ特ニ搬出期限ヲ指定シタル場合ノ外ハ引渡濟ノ月ヨリ六ヶ月間ニ於テ官林地ヨリ搬出スヘシ

第十四條 前條ノ期限内ニ於テ搬出セサル物件ハ之ヲ官收スヘシ

但天災ニ因リテ期限内ニ搬出シ得サルモノハ特ニ延期ヲ與フルコトアルヘシ

第十五條 林木拂下ノ許可ヲ得官林内ニ入モノハ拂受人及其雇人共必入林鑑札ヲ携帶スヘシ

第十六條 入林鑑札毀損若クハ盜難又ハ遺失ニ係リタルトキハ更ニ其下渡ヲ請求(毀損ノトキハ該鑑札ヲ添ヘシ)ス

但盜難又ハ遺失ニ係ルトキハ速ニ所轄警察署ニ届出ヘシ

第十七條 林木拂下ノ許可ヲ受ケタリト雖其引渡ヲ受ケスシテ伐木ニ着手シ又ハ伐採濟檢査ヲ經スシテ之ヲ官林地外ニ搬出スルコトヲ許サス

第十八條 官林内ニ於テ特ニ許可ヲ得ルニ非レハ角取荒木取及船敷木ヲ製作スルノ外一切ノ諸細工ヲ禁ス

第十九條 拂下ヲ受ケタル林木ヲ伐採及運搬スル爲メ官林ニ損害ヲ生シ又ハ損害ヲ生セントスル時又ハ拂受人及其雇人等該官林ニ關スル罪ヲ犯シ若クハ此規則ニ違ヒタル所爲アリタルトキハ伐木及運搬ヲ停止シ又ハ禁止スルコトアルヘシ

但損害豫防ノ爲メ伐木及運搬ヲ停止シタル場合ハ入林期限ニ更ニ相當ノ猶豫ヲ與フルコトアルヘシ

第二十條 前條伐木及運搬ヲ禁止シタル場合ニ於テ其禁止ニ係ル物件ハ當應ニ於テ相當ト思料スル代金ヲ返付スヘシ

但情狀ニヨリ其物件ノ代價ヲ返付セサルコトアルヘシ

第二十一條 第十九條ノ場合ニ於テ拂受人損害ヲ被ムルコトアルモ當應ハ其責ニ任セス

第二十二條 入林中ハ火ノ元ヲ嚴重ニ取締ルヘシ若シ拂受區域ヨリ失火シタルトキハ其損害ヲ辨償セシムルコトアルヘシ

第二十三條 本則第十一條第十七條第十八條ニ違背シタルモノハ違警罪ニ依リ罰セラルヘシ
第一號書式

官林木拂下特許願

何國何郡何官林ノ内字何別紙圖面ノ箇所ニ於テ

一何木(枯損倒木等ハ樹名ノ上頭ヘ)何本(該字ヲ冠記スヘシ以下倣之)

但目通直徑何寸以上

此代金何程 但一本ニ付金何程

(以下木種及目通直徑ノ異ル毎トニ別項掲クヘシ)

合木數 何本

何程

右何用トシテ自用ニ供シ度候ニ付官林木特賣規則ヲ遵守シ保證人連署ヲ以テ御拂下奉願候尤御聞
届相成代金上納仕候節ハ入林鑑札幾枚御下付被成下度候也

何國何郡(區)何町(村)何番地

(寄留人ハ原籍及寄留地共ニ肩書スヘシ)

華士族平民

願人 氏

名印

同 同

保證人 氏

名印

年月日

北海道廳第二部林務課

某派出所御中

第二號書式

官林拂下特許及炭竈敷地拜借願

同上

一何木

此代金何程

合木數 何程

一不毛地反別何程

此借地料金何程

此期限 自何年何月 至何年何月

右製炭用トシテ自用ニ供シ度候ニ付官林木特賣規則ヲ遵守シ保證人連署ヲ以テ御拂下且炭竈敷地御貸下奉願候也

(以下第一號書式ト同文)

○明治二十六年三月十一日北海道廳訓令第九號所宛

明治二十一年五當廳令第三十一號官林木特賣規則第一條但書ニ據リ特賣ヲ行フ場合ハ豫メ其特賣ヲ要スル事由及木種員數等ヲ詳具シテ認可ヲ受クヘシ

○明治二十一年五月四日北海道廳令第三十二號

官林雜產物特賣規則ヲ定ムルコト左ノ如シ

官林雜產物特賣規則

第一條 此規則ニ雜産物ト稱スルモノハ末木。樹根。小柴。枯枝。落葉。若竹。樹實。樹脂。樹液。蘆筍。蔓木。雜草等立木ノ外總テ官林内ニ生スルモノヲ云フ

第二條 拂受望人ハ其採取セントスル物件ノ數量(束數貫)ヲ見積リ別紙書式ノ願書ニ通テ當廳第二部林務課員派出所ヘ差出スヘシ(派出所ハ二十五年十一月廳令第一三十四號ヲ以テ廢止下並ニ同シ)

第三條 左ニ記載スル者ハ拂下ヲ許サス

一官林産物ヲ拂受其代金意納中ノ者及官林ニ關スル損害ノ賠償ヲ畢ヘサル者

一官林ニ關スル輕罪ヲ犯シ裁判確定後滿一年ヲ經サルモノ

第四條 採取ノ場所一ヶ所以上ニ涉ルトキハ每箇所別紙ヲ以テ願出ヘシ

第五條 一村若クハ數村或ハ數人連帶シテ採取セント欲スルトキハ總代人ノ名義ヲ以テ出願スルコトヲ得

第六條 拂下許可ヲ得タルトキハ代金速ニ皆納ノ上入林鑑札ノ下付ヲ受クヘシ

第七條 入林鑑札ハ採取ニ從事スル者ノ員數ニ應シ拂受人又ハ拂受人總代ノ名義ヲ以テ下付スヘシト雖官林ニ損害ヲ來タスヘシト認ムル場合ハ特ニ人員ヲ制限スルコトアルヘシ

第八條 入林鑑札ノ下付ヲ受ケタルトキ左ノ種類ハ更ニ其採取區域ノ引渡ヲ受ケ直チニ入林採取スルコトヲ得

末木。樹根。小柴。枯枝。若竹。蔓木。

第九條 採取區域ノ引渡ヲ受ケタルトキハ該區域ノ方位間數等ヲ其引渡ヲナシタル官吏ノ手帳ニ

照合シ毫モ相違ナキトキハ拂受人ハ之ニ署名捺印スヘシ

第十條 入林鑑札ノ下付ヲ受ケタル後(末木。樹根。小柴。若竹。蔓木ハ該物件ニ異狀損害ヲ生スルトモ當採取區域ノ引渡ヲ受ケタル後)該物件ニ異狀損害ヲ生スルトモ當應ハ其責ニ任セス

第十一條 入林期限ハ雜産物ノ種類ニ依リ左ノ通之ヲ定ム各其期限内ニ於テ官林ヨリ搬出スヘシ

末木。樹根。小柴。枯枝。若竹。蔓木ハ引渡濟ノ月ヨリ六ヶ月限

樹草實。落葉。樹脂。樹液。蘆筍。雜草等 其年十一月二十日限

第十二條 前條ノ期限内ニ於テ搬出セサル物件ハ之ヲ官收スヘシ

但天災ニ因リテ期限内ニ搬出シ得サルモノハ特ニ延期ヲ與フルコトアルヘシ

第十三條 拂下ヲ受ケタル後其物件ニ對シ數量又ハ代金等ノ見込違ヲ申立ルモ一切之ヲ採用セス

第十四條 入林鑑札毀損若クハ盜難又ハ遺失ニ係ルトキハ更ニ下渡ヲ請求(毀損ノトキハ該鑑札ヲ添ヘ)スヘシ

但盜難又ハ遺失ニ係ルトキハ特ニ所轄警察署ヘ届出ツヘシ

第十五條 拂受物件採取ノ爲メ該官林ニ損害ヲ生シ又ハ損害ヲ生セントスル場合又ハ官林ニ關スル罪ヲ犯シ若クハ此規則ニ違ヒタル所爲アルトキハ其採取ヲ停止シ又ハ禁止スルコトアルヘシ

第十六條 前條ノ場合ニ於テ拂受人損害ヲ被ルコトアルモ當廳ハ其責ニ任セス

第十七條 入林中ハ火ノ元ヲ嚴重ニ取締ルヘシ若シ拂受區域ヨリ失火シ官林ニ損害ヲ生シタルトキハ情狀ニ依リ其損害ヲ辨償セシムルコトアルヘシ

書式

官林雜産物拂下特許願

何國何郡何官林字何別紙圖面ノ箇所ニ於テ

一何 何程

此代金何程 但一貫目(石)ニ付金何程

(一ヶ處ニ於テ種數ノ産物ヲ採取セン)

(トスル時ハ毎種類別項ニ掲載スヘシ)

右官林雜産物特賣規則ヲ遵守シ保證人連署ヲ以テ何年中生産ノ分(末木枯枝樹根蔓木若竹ノ拂下願ニハ「何年中生産ノ分」ノ七字ヲ省クヘシ)御拂下奉願候尤御開届相成代金上納仕候節ハ入林鑑札幾枚御下付被成下度候也

何國何郡(區)何町(村)何番地

(寄留人ハ原籍及寄留地)

(共ニ用書スヘシ)

華士族平民

願人

氏

名印

年月日

北海道廳第二部林務課

某派出所御中

(繪圖面調製式ハ本年五月廳令第三十一號)

(官林木特賣ノ規則ノ例ニ據ルヘシ)

○明治二十一年五月四日北海道廳令第三十三號

官林産物公賣規則左ノ通相定本年九月一日ヨリ施行ス

官林産物公賣規則

第一條 官林産物ノ公賣ハ入札ヲ以テ之ヲ行フモノトス

第二條 公賣ハ開札ノ信號ヲ報スルヲ以テ始トス

第三條 公賣望人ハ豫メ現場ニ就キ公賣ノ物件ヲ熟覽シ別紙第一號書式ニ照準入札書ヲ差出スヘシ

第四條 左ニ記載シタル者ハ公賣ニ加入スルコトヲ許サズ

一官林産物ヲ拂受ケ其代金息納中ノ者及官林ニ關スル損害ノ賠償ヲ畢ヘサル者

一官林ニ對シ罪ヲ犯シタル者ハ其犯罪ニ係ル物件公賣ノ場合

第五條 入札ハ指定ノ區域又ハ一口毎ニ價值ヲ付スヘシ其區域又ハ一口ヲ分書シテ價值ヲ付スルコトヲ許サズ

第六條 入札人ハ公賣ノ席ニ參會スヘシ若シ參會シ難キ者ハ代理人ヲ差出スヘシ本人又ハ代理人共ニ參會セサルトキハ其入札ハ無効トス

第七條 公賣ハ最高價ノ者ニ落札ヲ申渡スヘシ

其高價若シ見込價格ヨリ低價ナルトキハ其公賣ヲ取消スヘシ

第八條 入札ノ最高價ニ同金額ノモノアルトキハ更ニ同金額ノモノヲシテ買増ノ再入札若クハ抽籤ヲナサシムヘシ

第九條 落札ノ申渡ヲ受ケタル時落札金高一圓未満ハ其全額ヲ直チニ上納シ一圓以上ハ約定金トシテ該金高ノ十分ノ一ヲ當日差入置別紙第二號書式ニ據リ請書ヲ差出スヘシ

約定金ハ落札金額完納ノ時返付ス
落札人ノ都合ニ據リ落札代金即時皆納スルモ妨ナシ此場合ニ於テハ第三號書式ニ據リ請書ヲ差
出スヘシ

第十條 前條指定ノ期限内ニ代金完納セサルモノハ其落札ヲ取消シ約定金ハ之ヲ返付セサルモノ
トス約定金ヲ上納シタル後其取消ヲ請求シタルトキ亦同シ

第十一條 落札人約定金ヲ上納セサルトキハ落札ノ効ナキモノトス此場合ニ於テハ二番札ノモノ
ニ落札ヲ申渡スカ又ハ更ニ期限ヲ定メテ再入札ヲ行フコトアルヘシ

落札無効ノ時ニ於テ該金額ヲ以テ其買得ヲ請求スルモノアルトキハ落札人ト見做シ之ヲ許可ス
ヘシ

第十二條 落札人ハ第九條ノ請書ヲ差出シタル後ハ其物件ノ引渡ヲナスヘシ
其引渡ヲ受ケタル時ハ別紙第四號書式ニ照準請書ヲ差出スヘシ

第十三條 前條引渡ヲ受ケタル後該物件ニ異狀損害アルモ當廳ハ其責ニ任セス

第十四條 落札ヲ申渡シタル後ハ其品質尺ノ數量等ノ見込違若クハ其他ノ事故ヲ申立落札ノ價格
ヲ變換スルコトヲ許サス

第十五條 買得者ハ其代金ヲ皆納シ物件ノ引渡ヲ受ケタル後ニアラサレハ其公賣物件ヲ斫伐採取
及運搬スルコトヲ許サス
公賣物件ヲ斫伐採取及運搬スル爲メ官林ニ入ルトキハ更ニ入林鑑札ヲ申受拂受人及其雇人各自

ニ之ヲ携帯スヘシ

第十六條 樹木ノ根株ハ拂下外ノモノトス故ニ特ニ許可ヲ得ルニ非サレハ極印アル部分ヨリ以下
ハ之ヲ殘存スヘシ

第十七條 買得者ハ指定シタル搬出期限内ニ其公賣物件ヲ官林内又ハ所在地ヨリ搬出スヘシ若シ
期限内ニ於テ搬出セサルトキハ之ヲ官收スヘシ
但天災ニ因リ期限内ニ搬出シ得サルモノハ特ニ延期ヲ與フルコトアルヘシ

第十八條 官林内ニ於テハ特ニ許可ヲ得ルニアラサレハ角取荒木取及船敷木ヲ製作スルノ外一切
ノ諸細工ヲ禁ス

第十九條 公賣品買得者其落札權ヲ他人ニ轉賣讓與セントスル時ハ別紙第五號書式ニ照準雙方連
署シ當該官衙ニ申出許可ヲ受クヘシ

第二十條 林木其他產物採取ノ爲メ該官林ニ損害ヲ生シ又ハ損害ヲ生セントスルトキ又ハ買得者
及其雇人該官林ニ關スル罪ヲ犯シ若クハ此規則ニ違ヒタル所爲アリタル時ハ其採取ヲ停止シ又
ハ禁止スルコトアルヘシ

第二十一條 前條採取ヲ禁止シタル場合ニ於テ其禁止ニ係ル物件ハ當廳ニ於テ相當ト思料スル代
價ヲ指定シテ之ヲ返付スヘシ

但情狀ニ依リ其物件ノ代價ヲ返付セサルコトアルヘシ

第二十二條 第七條第二項及第二十條ノ場合ニ於テ公賣望人又ハ買得者損害ヲ被ルコトアルモ當

應ハ其責ニ任セス

第二十三條 本則第十五條第一項及第十六條第十八條ニ違背シタル者ハ違警罪ニ依リ罰セラルヘシ

第一號書式 公賣現品ノ記載法ハ其概略ヲ示ス者ニ付其書式ハ公賣ノ部度公告文ノ記載方ニ依ルヘシ

入札書

第何號(公告ノ番號)

何國何郡何官林字何

一何木

何本

角板丸太薪材ノ類細數又ハ尺ノ數業草ノ類ハ荷數噸數又ハ何尺繩ノ束數木實證符ノ類ハ樹目又ハ貨目等ヲ記シ柴草等ノ副産物其山元實ニ係ル時ハ見積高ヲ記スヘシ

此代金何程

右代金ヲ以テ私ハ落札相成候ハ、御規則ノ通代金上納可仕ハ勿論總テ官林産物公賣規則ノ通相心得聊違背仕間敷候仍テ入札書差出候也

何國何郡(區)何町(村)何番地

(寄留人ハ原籍及寄留地共ニ用書スヘシ以下同シ)

華士族平民

氏

名印

年月日

北海道應第二部林務課

某派出所御中(派出所ハ二十五年十一月總令第三十四號ヲ以テ廢止下並ニ同シ)

第何號(公告番號)

封

北海道應第二部林務課

表面

某派出所御中

皮

入札書在中

裏面

何國何郡(區)何町(村)何番地

氏

名

第二號書式甲(通常ノ式)

御請書

(相當ノ證券印紙ヲ貼用スヘシ)

一金何程

落札金高

此約定金何程

右ハ今般何國何郡何官林字何ニ於テ何々公賣ニ依リ私落札候ニ付テハ諸事御規則ニ違背仕間敷候仍テ約定金前書ノ通本日上納致置候來ル何月何日限悉皆完納可仕候萬一右期日迄ニ完納不仕落札御取消相成候歟又ハ私ヨリ取消等相願候節ハ約定金トシテ差入タル金員ハ私ノ損失トナシ御下戻ヲ請求仕間敷其他御規則ニ違背シ賠償金等御徴收相成候節假令本人ハ上納差支候トモ保證人ニ於テ引受辨償可仕候仍テ保證人連署請書差上候也

何國何郡(區)何町(村)何番地

華士族平民

拂受人

氏

名印

年月日

第二號書式乙

(落札人ヨリ轉賣又ハ讓與ヲ受タル者ニ於テ約定金ヲ上納スルトキノ式)

御請書

(相當ノ證券印紙ヲ貼用スヘシ)

宛 (同前)

同 同

保證人 氏

名 印

一金何程

此約定金何程

落札金高

右ハ今般何國何郡何官林字何ニ於テ何々公賣ニ依リ某へ落札相成候處雙方協議ノ上御許可ヲ受ケ私讓受候ニ付テハ諸事御規則ニ違背仕間敷候仍テ約定金前書ノ通本日上納致置來ル何月何日限悉皆完納可仕候萬一右期日迄ニ完納不仕落札御取消相成候歟又ハ私ヨリ取消等相願候節ハ約定金トシテ差入タル金員ハ私ノ損失トナシ御下戻請求仕間敷其他御規則ニ違背シ賠償金御徴收相成候節假令本人ハ上納差支候トモ保證人ニ於テ引受辨償可仕候仍テ保證人連署請書差上候也

年月日

華士族平民

讓受人 氏

名 印

同 同

保證人 氏

名 印

宛 (同前)

第三號書式甲(通常ノ式)

落札人公賣代金ノ全額ヲ一時皆納スル時ハ左ノ請書ヲ差出スヘシ

御請書

(相當ノ證券印紙ヲ貼用スヘシ)

一金何程

右ハ今般何國何郡何官林字何ニ於テ何々公賣ニ依リ前書金高ヲ以テ私落札候ニ付テハ後日落札ノ物件ニ關シ假令見込違有之候共一切苦情申上間敷候仍テ代金悉皆上納仕候也

年月日

何國何郡(區)何町(村)何番地

落札人 氏

名 印

宛 (同前)

讓受人公賣代金ノ全額ヲ一時皆納スル時ハ此請書ヲ差出ヘシ

第三號書式乙(落札人ヨリ即時讓受又ハ買受タル場合買受人ヨリ差出スヘキノ式)

御請書 (相當ノ證券印紙ヲ貼用スヘシ)

一金何程

右ハ今般何國何郡何官林字何ニ於テ何々公賣ニヨリ前書金高ヲ以テ某へ落札相成候處雙方協議ノ上御許可ヲ受ケ私讓受候ニ就テハ後日落札ノ物件ニ關シ假令見込違有之候共一切苦情申上間敷候仍テ代金悉皆上納仕候也

年月日

宛 (同前)
何國何郡(區)何町(村)何番地
華士族平民
譲受人 氏 名印

第四號書式

(相當ノ證券印紙ヲ貼用スヘシ)

御請書

一(第一號書式ノ通但金員ヲ省ク)

右落札ニ依リ前書ノ通現木(現品)實地御引渡相成正ニ請取候付テハ諸事御規則ヲ遵守シ明治何年何月何日限悉皆^{官林内}所在地ヨリ搬出可仕候節ハ右期限内ニ搬出不仕候節ハ物件官收ノ御處分ヲ受候共一切苦情申上間敷候仍テ保證人連署請書差上候也

年月日

宛 (同前)
何國何郡(區)何町(村)何番地
華士族平民
譲受人 氏 名印
同 同
保證人 氏 名印

第五號書式

式(落札人請書ヲ差出シタル後ニ於テ物件賣又ハ譲與スルトキノ式)

何々 何木(何木板角材九太柴草樹實等)賣(讓)渡願
一何々 第一號書式ノ通 何

此代金何程

右何年何月何日公賣ニテ何某へ落札相成候處今般雙方協議ノ上何某へ讓渡申度御許可ノ上ハ讓受人ニ於テ官林産物公賣規則ヲ遵守可仕ハ勿論讓渡人ヨリ兼テ差出置候御請書ノ通相心得總テ違背仕間敷就テハ以後何某ヲ保證人ニ相立其責任ハ一切負擔可仕候條御許可被成下度此段以連署奉願候也

年月日

宛 (同前)
何國何郡(區)何町(村)何番地
華士族平民
譲渡人 氏 名印
同 同
譲受人 氏 名印
同 同
保證人 氏 名印

第五號書式乙(落札人未タ受書ヲ差出ササル前ニ於テ轉賣又譲與スルトキノ式)

何木(何木板角材丸太柴草樹實等)賣(讓)渡願

何々 第一號書式ノ通

一何々 何

此代金何程

右ハ何年何月何日公賣ニテ何某ヘ落札相成候處今般雙方協議ノ上何某ヘ讓渡申度御許可ノ上ハ讓買受人ニ於テ官林產物公賣規則ヲ遵守可仕候條御許可被成下度此段以連署奉願候也

何國何郡(區)何町(村)何番地

華士族平民

年月日

讓渡人 氏 名印

同 同 讓買受人 氏 名印

同 同 保證人 氏 名印

宛 (同前)

○明治二十五年十一月十二日北海道廳訓第二百六十六號郡役所宛

森林處務手續及林產物拂下検査手續左ノ通り之ヲ定ム

森林處務手續

第一條 林產物拂下事務ハ明治二十一年廳令第三十一號官林木特賣規則及同年廳令第三十二號官林雜產物特賣規則同第三十三號官林產物公賣規則並ニ舊林務課派出所員服務條規同處務細則森林取扱手續ニ據ルヘシ

第二條 林產物拂下林地貸渡(林業付帶即チ炭産敷地ノ類)願書ヲ受理シタルトキハ其願書ニ就キ支障ノ有無ヲ密查シ差支ナキモノハ實地踏檢スヘシ

但金高五拾圓以上ノモノハ事由ヲ具シ經伺ノ上處分スヘシ

第三條 炭用木拂下ハ數量ヲ定メ六ヶ月以内ニ製造シ得ルノ見込ヲ以テ出願セシムヘシ

第四條 實地検査ノ上差支ナキモノニハ速カニ代金ヲ納付セシメ同時ニ許可ノ指令及入林鑑札ヲ下付スヘシ

第五條 林地貸下及炭用木ヲ拂下タル者ニハ入林鑑札ヲ下付セサルモノトス

第六條 林產物拂下又ハ林地貸下ヲ許可シタルトキハ甲乙丙號書式ノ臺帳ニ其員數及事由ヲ詳記スヘシ(書式ハ略ス)

第七條 林產物拂下ヲ許可シタルトキハ検査員ヲシテ丁號書式ノ如ク検査書ヲ作ラシメ伐採濟檢査其他ノ參照ニ供スヘシ

第八條 伐了検査ヲ出願スルトキハ別ニ願書ヲ徴セス前條検査書ニ検査ノ年月日ヲ記入シ出願者

ノ認印ヲ徴スヘシ

第九條 森林諸收入事務ハ明治二十二年勅令第六十號會計規則同年大藏省令第十三號出納官吏現金取扱規則同第六十六號諸收入出納順序同二十四年農商務省訓令第十一號官有地森林原野收入金徴收規程同二十三年會計検査院達第一號證明規程ニ據ルヘシ

第十條 官有山林原野事項報告書式ハ明治十九年七月當應訓令第九十五號及明治二十四年農商務省訓令第十五號ニ依リ翌月五日限り當應ヘ差出スヘシ

但シ官林被害ニ係ルモノハ其時々詳細申報スヘシ

丁號書式

林産物拂下検査書

拂受人	住所	氏名
保證人	住所	氏名

何郡何村字何官林ニ於テ

一 何名(樹)自何寸至何寸

何十本

二 同(同)同

同

三 同(同)同

同

合何百本

一 何年月日付出願

二 何年月日第 號指令

三 何年月日代金何圓徴收済

四 入林鑑札何枚下付

五 入林ノ期限

六 何年月日伐了検査申出○願人ヲシテ捺印セシム

七 何年月日伐了検査済此造材

一 何々(種目) 何十本

二 何々(同) 同

三 何々(同) 同

四 何々(同) 同

八 何々(必要ノ事故摘要)

九 何々(同) 上)

(備考)

雜産物薪炭材モ之ニ準スヘシ

年月日

検査員官氏名 ㊟

林産物拂下検査手續

第一條 生立木及枯損立木拂下願ハ郡長ニ於テ審査ノ上検査員ヲシテ實地踏檢セシメ其用材ト新

炭材トヲ問ハス毎樹目通周尺ヲ量定シ各樹根ニ檢印スヘシ

検査員ハ郡書記又ハ傭員ヲ以テ之ニ充テ其官氏名ヲ當廳ヘ届出ヘシ

第二條 前條實査済ノ願書ニハ検査ノ年月日ヲ記入シ検査員認印スヘシ其記入認印ナキトキハ検査員ノ復命ヲ徴シ許否スヘシ

第三條 枯損倒木末木副産物(土石ヲ)及目通六寸未満ノ小木拂下願ハ(早切材ノ如キ長柄ノ儘)實地踏査ヲ要セス願面區域小字ヲ限リテ許可スヘシ但特ニ實地ノ踏査ヲ必要トスルトキハ此限ニアラス

第四條 前條ニ依リ拂下ケタルモノハ其拂下區域内便宜ノ場所ニ集積セシメ造材ハ檢印済ノ上搬出ヲ許可スヘシ

但造材検査ノ際拂下外ノ木種數量アリト認ムルトキハ郡長ニ具申シテ其指揮ヲ請フヘシ

第五條 凡立木ノ拂下造材ハ每樹根ニ集積セシメ伐了検査ヲ經ルニアラサレハ他所ヘ移轉若クハ他樹ト混交ナサシムヘカラス

但第四條ニ係ルモノハ此限ニアラス

第六條 立木拂下ノ地險阻ニシテ造材集積シ能ハサルトキハ其拂下地ノ小字ヲ限リ最近ノ地ニ集積セシメ伐了検査ヲ爲スベシ

第七條 伐了検査ハ炭用本ト第三條ノ小木拂下ヲ除キ總テ其斷株面ト造材トニ檢印スルモノトス

第八條 炭用木断面検査ハ次回該用木拂下検査ノ際毎株断面ニ檢印ヲナスヘシ若シ六ヶ月以内ニ

次回ノ拂下ヲ爲サハルトキハ特ニ断面ノ検査ヲナスヘシ

但伐採期限六ヶ月ヲ經過シタルトキハ其樹根ノ檢印ヲ消除スルカ又ハ更ニ拂下ノ出願ヲナサシムヘシ

第九條 伐了検査ヲ了セシトキハ林産物拂下検査書ニ其造材種目數量等本願ニ關スル必要ノ事項ヲ記入スヘシ

第十條 官林内ニ於テ無檢印ノ根株又ハ無願斫伐ト認ムヘキ木材ヲ發見シタルトキハ收字印ヲ打込ミ其地名樹名種目及數量等ヲ森林手簿ニ詳記シ速ニ郡長ニ申報スヘシ

第十一條 警察官其他ニ於テ官林盜伐等ヲ發見シ其押收ニ係ル木材ノ引渡ヲ受ケタルトキハ速カニ收字印ヲ打込ムヘシ

第十二條 盜誤伐木官收材ノ拂下ヲ許可シタルトキハ收受印ノ傍側ニ改字印ヲ打込ミ引渡スヘシ

第十三條 検査員ハ常ニ森林手簿ヲ携帶シ實地踏査伐採済検査ノ事蹟地名樹名種目數量等凡ソ森林ニ關スル諸般ノ要件ヲ摘載シ巡回若クハ出張毎ニ郡長ノ査閲ヲ經ヘシ

森林事務監査ノ爲當廳ヨリ出張セシメタル吏員ハ前項ノ森林手簿ヲ査閲スルコトアルヘシ

第十四條 森林手簿ニハ事蹟ノ湮滅ヲ豫防シ發着地名年月日等ヲ日記体ニ明記シ諸般ノ事項及經歷時刻等ヲ詳記スヘシ

○明治二十一年四月十日北海道廳號外達第二部

其部林務課派出所首席者處務規程及派出所員服務條規並林務課派出所事務監督員服務概則草按別

冊ノ通相定ム(派出所ハ二十五年十一月廳令第三十四號ニヨリ消滅)

(別冊)

林務課派出所首席者處務規程

第一條 派出所ノ事務ヲ分ツテ左ノ三類トス其順序ニ據リテ首席者之ヲ處理スヘシ

第一類 監督員ノ證認ヲ受ケ經伺ノ上處分スヘキ件

第一 林地拂下ノ事

第二 林地無代價下附ノ事

第三 林地變更ノ事

第四 土石掘採ノ事

第五 林地侵墾處分ノ事

第六 官林内部分木仕付ノ事

第七 民家借入ノ事

第八 官林内へ人民自費ヲ以テ樹木栽植ノ事

第九 國土保安ニ關スル林木處分ノ事

第十 苗圃設置及ヒ廢止ノ事

第十一 林產豫算案及收支金員豫算案確定ノ事

第十二 造林案確定ノ事

第十三 林產豫算案及造林案ノ十分一以上増減變更ノ事

第十四 官林制札新設ノ事

第十五 官金辨償ノ義務アル契約ヲナシ又ハ既成ノ契約ヲ變更スル事

第十六 不用品拂下ノ事

第十七 一ケ年以上ノ年期ヲ以テ林產物賣却ノ事

第十八 豫算科目内ノ經費流用ノ事

第十九 官林看守人命免ノ事

第二類 監督員ノ意見ヲ承ケテ處分スヘキ件

第一 森林調査ニ關スル事

第二 林產豫算案及造林案調製ノ事

第三 確定ノ林產豫算案及造林案十分一未滿増減變更ノ事

第三類 制規定例ニ據リ首席者便宜處分シ得ヘキ件

第一 豫算額内ノ林產拂下ノ事

第二 豫算科目内ニ屬スル定額金支出ノ事

第三 苗圃ノ苗木拂下ノ事

第四 炭竈用敷地貸下ノ事

第五 官林内轉石拂下ノ事

第六 (二十四年九月訓第八號ヲ以テ本項ヲ削除ス下) (第三條第七條第九條第十條第十二條之ニ同シ)

第七 官收材及盜誤伐木處分ノ事

第八 二回迄公賣ニ付シテ猶相當ノ賣價ヲ得サル林産物ヲ特賣スル事

第九 入林鑑札下付ノ事

第十 官林産物公賣約定金一時假預ノ事

第十一 林産物拂受人ヘ特ニ入林期限ヲ指命スル事

第十二 林産物拂受人ニシテ違約者アルトキ違約金額ヲ確定シ之ヲ其當人ヘ告達スル事

第十三 小使雇入及解雇ノ事

第二條 首席者ハ主管事務ノ整理及次席者以下ノ諸員勤惰ノ監視ニ就テハ都テ其責ニ任スヘシ

第三條

第四條 首席者ハ主管ノ事務ニ付當廳郡區役所警察署戸長役場及裁判所ニ對シ照會往復スルコトヲ得

第五條

第六條 首席者ハ次席者以下諸員ノ身分ニ關スル事項ハ部長ニ具狀スルコトヲ得

第七條 首席者ハ次席者以下諸員ノ轉地養病及歸省願ハ監督員ニ議リ意見書ヲ添ヘ部長ニ進達スヘシ

第八條

第九條 首席者ハ其受持區域内ノ官林ヲ巡視シ及ヒ次席者以下ノ諸員ヲシテ受持區域内ニ出張巡

第十條 第四條ニシムルコトヲ得

第十一條

第十二條 首席者ハ官林ニ係ル犯罪事件又ハ實際不得止場合ニ於テハ次席者以下ノ諸員ヲ裁判所所在ノ地又ハ受持區域外ニ出張セシムルコトヲ得

第十三條

第十四條 首席者ハ出張巡回等ノ場合ニ於テハ次席者ニ事務ノ幾分ヲ委任シ自己ノ名義ヲ以テ之ヲ處理セシムルコトヲ得

第十五條

第十六條 首席者ハ刑事附帶ニ係ル民事訴訟ニ限り直チニ之ヲ行フコトヲ得

第十七條 首席者ハ前各條中ニ明文ナキモノ及便宜處分ヲ許サレタル件ト雖トモ事重大ニ涉ルモノハ監督員ノ證認ヲ經伺スヘシ

第十八條 第十六條派出所ニ於テ處分セシ件ハ成規ニ據リ部長ニ報告スヘシ

(別紙)

林務課派出所服務條規

第一章 總則

第一條 派出所員ハ各自ノ從事スヘキ職務ヲ詳カニシ成規命令ニ據リ所轄内官林ニ屬スル事務ヲ處理スヘシ

第二條

第三條

第四條

第五條

第六條

第二條 派出所員ハ部内官林ノ境界氣候地味及盛衰等ヲ詳知シ且林産物需用供給ノ度其價值輸出

入ノ數量森林犯罪ノ多寡狀情其他地方ノ風土民情ニ通曉スヘシ

第三條 派出所員ハ誠實ニ職務ヲ竭シ且品行方正殊ニ廉潔ヲ旨トシ衆庶ノ信任ヲ失ハス常ニ精ヲ

勵マシ勞ヲ厭ハス以テ永遠ノ成功ヲ企圖スヘシ

第四條 派出所員ハ公文書類ヲ當該職員ノ外閱讀セシムルコトヲ得ス

第五條 派出所員ノ要務ハ分ツテ左ノ四項トス

一 官林地ノ境界ヲ調査保存シ及官林ヲ保護スルコト

二 官有地ヲ測量シ及地圖ヲ調製スル事

三 林産豫算案收支金員豫算案及斫伐造林案ヲ調製シ既定ノ成案ヲ施行シ百種ノ林産物ヲ利用

スル事

四 總テ其管理ニ係ル簿表ヲ整理スル事

但製表式心得ハ別ニ之ヲ定ム

第六條 事業年度ハ會計年度ニ據リ四月一日ヨリ翌年三月三十一日ニ至ルモノトス林産物ノ收支

ハ總テ此年度ニヨリテ計算シ事業年度ノ諸簿表ハ會計年度ノ時ヲ以テ完結スヘシ

第七條 派出所員ハ各其擔當ノ事務ニ就テ經驗上改良ノ考案アル時ハ各其上司ニ陳述スヘシ

第二章 林産物

第八條 首席者ハ其所轄官林ノ産物ヲ林産豫算案及金員豫算案ニ據リテ之ヲ暗記スヘシ

第九條 前條ノ豫算案中記數ニ變更ヲ生スル時ハ之ヲ當該簿表ニ明記スヘシ

但其面積ニ係ルモノハ成規ニヨリテ林地面積表土地所有權變更表ニ記註シ生材及金員收入ニ

係ルモノハ生材豫算案林産收入豫算表中當該欄内ニ記註シ且後年度ノ林産及收支金員ニ於テ

變更ヲ生スヘキ情況アル事物ハ總テ之ヲ記註シ置クヘシ

第十條 首席者ハ毎年林産需用ノ景況ヲ審案シ翌年度ノ生材及副産豫算案林産收入並ニ雜收入豫

算表ヲ七月三十一日迄ニ調製シ監督員ノ實地検査ヲ受クヘシ此検査終リタルトキハ速ニ其草案

ヲ淨書シ監督員ト共ニ署名調印シテ十月三十一日迄ニ課長ヲ經由シテ部長ニ進達スヘシ

第十一條 生材及副産豫算案ニ記載スヘキ者左ノ如シ

第一 前年度ニ於ケル斫伐採收額ト 年度ノ斫伐採收定額トヲ比較シ實際ノ豫算高ヲ算出シ之

ヲ當該欄内ニ記載スヘシ

第二 豫算高ノ算出ヲ終リタルハ施行區域ヲ定メ主産物ハ主伐間伐並ニ樹種材類等ニ據リ副産

物ハ其種類ニ據リテ各別記スヘシ

但枯損風損ノ類其他豫定シ難キ林産物ハ概算ヲ以テ終尾ニ記載スヘシ

第十二條 官行伐木ヲナスノ必要アル時ハ斫伐案及生材豫算案中ニ各欄ヲ設ケ官行民行ノ區分ヲ

ナスモノトス

第十三條 經費ノ豫算ハ本課ヨリ其定額ノ通知ヲ受ケタル後事業ノ緩急ヲ斟酌シテ其内譯書ヲ作

リ監督員ノ證認ヲ得テ之ヲ本課ニ送付スヘシ

第十四條 主副産物ノ斫伐採收ハ總テ生材豫算案及副産豫算案ニ據ツテ施行スヘキモノトス

第十五條 首席者ハ伐木前既定ノ生材豫算案中各施業區ノ伐木數ヲ指定シテ之ヲ該區ノ擔當者ニ配布シ實際施行ノ區域ヲ指示スヘシ

第十六條 首席者ハ喬林ノ撰伐及間伐區域ニ於テ伐採スヘキ樹幹ヲ標示シ又皆伐區域ニ於テ存置木トシテ殘存スヘキ樹幹ヲ標示スヘシ

但矮林ノ存置木ハ該區ノ擔當者ヲシテ標示セシムルコトヲ得

第十七條 林地ニ散在スル官收材ノ類ニシテ迅速賣却ヲ要スル者ハ散在ノ儘之ヲ賣却スヘシ

第十八條 林産斫伐採收ノ成績ハ生材精算表及副産精算表ニ記載シ林産所得ニ係ル變更及意見モ總テ當該簿表ニ記入スヘシ

第十九條 首席者各精算表ヲ調製スル時ハ前年度ニ於ケル該表ノ備考及記註ニ注意スヘシ

第二十條 首席者各精算表ヲ完結シタル時ハ之ヲ現金收支簿冊ニ照合シ證據書類ヲ添ヘ四月三十日迄ニ監督員ノ検査ヲ受ケ其實質ナルヲ證スルタメ監督員ト共ニ署名調印シテ五月三十日迄ニ課長ヲ經由シテ部長ニ進達スヘシ

第二十一條 前條證據書類ト稱スルモノ左ノ如シ

第一 斫伐案

第二 生材豫算案

第三 副産豫算案

第四 造林案

第五 歲計收支豫算表

第六 林産收入豫算表

第七 林地收入豫算表

第八 雜收入豫算表

第九 林産賣却表

第十 公賣始末表

第十一 賃金仕拂表

第十二條 林産ノ賣却ハ特別ノ事情アルモノ、外ハ公賣規則ニ據ルモノトス

第十三條 公賣ハ每派出所ニ於テ首席者ノ開設スルヲ通則トスト雖モ公賣施行ノ土地會々甲乙兩區ニ跨ルモノアルトキハ監督員ニ於テ首席者中ヨリ特ニ其開設委員ヲ定ムルコトアルヘシ

第十四條 公賣ハ派出所内ニ於テ執行スルヲ通則トスト雖トモ時宜ニ依リ郡役所又ハ戶長役場ニ於テ開設スルコトアルヘシ

第十五條 派出所員及看守人等總テ林務ニ從事スル者ハ直接間接ヲ問ハス公賣ニ加入スルコトヲ得ス

第十六條 一首席者又ハ公賣開設委員ハ派出所中ニ就テ擔當者ヲ定メ公賣ニ從事セシムヘシ

第十七條 首席者又ハ公賣開設委員ハ豫メ其公賣スヘキ林産ヲ擔當者ニ指示シ拂受望人ヲシテ

熟覽スルコトヲ得セシムヘシ

第二十八條 地面ノ區畫ヲ以テ林産ヲ公賣スルトキハ首席者又ハ公賣開設委員ハ豫メ其境界ヲ定メ置キ擔當者及拂受望人ヲシテ之ヲ實見セシムヘシ

但地面ヲ區畫シテ薪炭用木ヲ特賣スル場合ニ於テモ亦本條ニ準據スヘシ

第二十九條 林産公賣ヲ施行スルトキハ豫メ價格ヲ見積リ監督員ノ證認ヲ受ケテ其留直段ヲ定ムヘシ

第三十條 公賣施行ノ際ハ開札ノ前必ス公告文ヲ朗讀スル者トス

第三十一條 一年以上ノ年期ヲ以テ副産物ノ公賣ヲ施行セント欲スルトキハ收額豫算表ニ規約草案ヲ添付シ監督員ノ證認ヲ得テ部長ニ稟議スヘシ

第三十二條 林産ノ公賣ハ留直段以上ニ達シタル最高價ノ者ニアラサレハ落札スヘカラサルモノトス

若シ入札最高價ニシテ尙留直段ニ達セサルコトアルモ其減額留直段ノ十分一迄ハ首席者又ハ公賣開設委員ノ見込ヲ以テ賣却スルコトヲ得

第三十三條 公賣始末表ハ其賣却ス可キ林産ヲ類別シ每撮ノ番號個數尺又ハ棚數等ヲ表中ニ記入シ公賣開設前ニ於テ整頓スヘシ

但公賣記事ハ首席者又ハ公賣開設委員ノ任務トナス

第三十四條 落札既ニ定リタルトキハ首席者又ハ公賣開設委員ハ直ニ落札人ノ姓名及代金ヲ公賣

始末表ニ記入シ入林鑑札ノ交付數及其番號ヲ付記スヘシ

第三十五條 前條々ノ手續ニ由リテ公賣始末表ヲ完結シタルトキハ首席者ハ生材精算表副産精算表林産收入精算表及林産賣却表等ノ相欄内へ員數代金及其他必要ノ事項ヲ登錄スヘシ

第三十六條 年期賣却ノ規約ニハ必ス左ノ事項ヲ掲ケ其全文ヲ公賣始末表ノ冒頭ニ記載スヘシ

第一 林産物所在ノ町村及林地ノ字

第二 生産物ノ面積

第三 生産物ノ概算

第四 一個及全數ノ價格

第五 買得者ノ宿所姓名

第六 落札ノ記事

第七 買得者ニ關スル備考及其證印

第三十七條 落札ニ於テ賣買終リタル時ハ首席者又ハ公賣開設委員ハ直チニ其擔當者ヲシテ交付ノ手續ヲ爲サシムヘシ

第三十八條 擔當者林産ノ引換ヲ行フトキ主用物ニ在リテハ樹根ニケ所ニ檢印ヲ打記シ副産物ニ在リテハ採收區畫並ニ其物品ヲ指示シ之ヲ森林手簿ニ詳記シテ買得人ノ受領印ヲ徴シ更ニ首席者又ハ公賣開設委員ノ認印ヲ受クヘシ

第三十九條 首席者ハ擔當者ノ森林手簿ヲ調査保證シタルトキハ生材精算表又ハ副産精算表ニ引

渡年月日ヲ記載スヘシ

但森林手簿ハ首席者ニ於テ調製ノ上紙數番號ヲ記シ官印ヲ捺シテ之ヲ下付スルモノトス

第四十條 首席者ハ林産賣却ニ關スル書類(生材精算表副産精算表林産收入精算表林産賣却表公賣始末表及處屬公文)ハ之ヲ匣中ニ藏置シ隨時監督員ノ検査ヲ受クヘシ

第四十一條 豫算科目内ニ屬スル官行事業實施ニ當リ人夫ヲ要スル時ハ可成業者ヲシテ之ヲ受負ハシムヘシ

第四十二條 前條ノ費用ヲ支出セシ時ハ豫算科目ノ區別ニ由リテ之ヲ貸金表ニ記載スヘシ

第三章 造林及保護

第四十三條 派出所員ハ成規ニ據ツテ官林ヲ保護愛養シ勉メテ改良繁殖ヲ企圖スヘシ

第四十四條 造林案ヲ起草スルニハ實地經驗ニ徴シテ諸般ノ事項ヲ查覈シ施業基案及施業分案中造林等ニ於ケル記事ニ照據スルモノトス

第四十五條 首席者ハ翌年度ニ於テ施行スヘキ造林案ヲ起草セシトキハ第十條ノ順序ニ據ツテ施行シ其精算表ノ調理整頓ハ第十九條乃至第二十一條ニ準據スヘキモノトス

第四十六條 首席者官林内ニ犯罪者若クハ種々ノ災害アルコトヲ認知シタルトキハ其次小緩急ニ隨ヒ自身實地ニ臨ミ又ハ所員ヲ指揮シテ之ヲ處置スヘシ

第四十七條 派出所員ハ常ニ境界標ノ保存ニ注意シ若シ界標ノ毀損或ハ移轉ニ係ルモノヲ發見シタルトキハ之ヲ森林手簿ニ詳記シ且次席者以下ノ諸員ニ在リテハ速ニ之ヲ首席者ニ報道スヘシ

第四十八條 官林内ニ於テ虫害ノ發生ヲ認メタルトキハ其種類景況等ヲ森林手簿ニ詳記シ且次席者以下ノ諸員ニ在リテハ速ニ之ヲ首席者ニ報道スヘシ

但驅除撲滅ノタメ費用ヲ要スルトキハ首席者ノ指揮ヲ受クヘシ

第四十九條 官林ノ火災ヲ發見シ又ハ官林延燒ノ虞アリト認メタルトキハ直ニ防禦ノ術ヲ施シ且次席者以下ノ諸員ニ在リテハ速ニ之ヲ首席者ニ報道シ其出張又ハ指揮ヲ請フヘシ

但本文ノ場合ニ於テハ火氣ノ鎮滅ヲ認メタル後ニアラサレハ其地ヲ立去ルコトヲ得ス

第五十條 風雷雪霜若クハ虫害等ニ因リ林地林木ノ損害アルヲ認メタルトキハ之ヲ森林手簿ニ詳記シ且次席者以下ノ諸員ニ在リテハ速ニ之ヲ首席者ニ報道スヘシ

第五十一條 官林現行犯罪アルコトヲ認知シタルトキハ各自其分擔區ニ屬スルト否トヲ問ハス之ヲ森林手簿ニ詳記シ速ニ檢事ニ告發スヘシ

但次席者以下ノ諸員ニ在リテハ告發ト共ニ之ヲ首席者ニ報道スヘシ

第五十二條 官林違犯ニ係ル獸類又ハ器具其他ノ物件ヲ差押ヘタルトキハ之ヲ森林手簿ニ詳記シ告發ト共ニ司法警察官ニ送致スヘシ

其物件巨大又ハ其他ノ理由アリテ運搬不便ナルモノハ被告人ノ親屬若クハ隣佑又ハ戸長ニ預ケ置キ其預リ證ヲ以テ本文ノ手續ヲナスヘシ

第五十三條 官林内ニ於テ盜伐木ヲ發見シタル時ハ之ヲ森林手簿ニ詳記シ其被害ノ物件ハ被告人ノ親屬若クハ隣佑又ハ戸長ニ預ケ置キ其預リ證ヲ添ヘテ告發スヘシ

第五十四條 官林内ニ於テ盜伐跡ヲ發見シタルトキハ其斷株ニ證犯ノ印鑑ヲ打込ミ犯跡ノ記號トナシ且之ヲ森林手簿ニ詳記スヘシ

第五十五條 官林現行犯ヲ認メタル際該犯人逸走シタルトキハ速ニ其蹤跡ヲ追フテ之ヲ搜索スヘシ

但現場ノ景況及他日證左トナルヘキ事項ハ之ヲ森林手簿ニ詳記スヘシ

第五十六條 官林犯罪者ヲ取押タル時ハ被告人ノ氏名年齢身分職業住所及犯罪ノ日時場所物件ノ數量品質價格犯人證據物件其他告發ノタメ必要ト認メタル事件ハ都テ明細ニ取調之ヲ森林手簿ニ詳記スヘシ

第五十七條 首席者ハ官林保護上ニ關シ出張員ヨリ非常ノ報告ヲ得タルトキハ直ニ之ヲ監督員ニ移報スヘシ

但事ノ重大ニ屬スルモノハ監督員ニ報告スルト共ニ其狀ヲ部長ニ具申スヘシ

第五十八條 次席者以下ノ諸員官林犯罪告發事件ニ關シ裁判所ヨリ召喚ヲ受ケタル時ハ諸事首席者ノ指圖ヲ受ケ森林手簿ヲ携帶シテ出廷スヘシ

(別紙)

林務課派出所事務監督員服務概則

第一章 總則

第一條 監督員ハ其部所林務課派出所ノ事務及事業其他森林ニ關スル法律規則ノ施行如何ヲ督察

スヘシ

第二條 監督員ハ其所部森林ノ事務執行手續ニ關シ意見アルトキハ事由ヲ具ヘテ之ヲ部長ニ申陳スヘシ

第三條 監督員ハ派出所首席者處務規程第一條第一類及第二類ノ各項實施上ニ關シテハ專ラ其責ニ任ス

第四條 凡ソ監督部内ニ屬スル事項及普通ノ制規ニ係ル事件ハ各監督員互ニ合議若シクハ通牒シ其處務ノ區々ニ涉ラサルコトヲ務ムヘシ

第二章 應務

第五條 監督員ハ其所部派出所首席者ヨリ提出スル諸圖簿表證據書類及拂下願等ノ書類ハ之ヲ審査點檢シ其正否且數量ノ當否ヲ證認スヘシ

但證認ヲ要スル事項ハ林務課派出所首席者處務規程ニ於テ之ヲ定ム

第六條 監督員ハ其所部派出所首席者ヨリ提出スル林産豫算案ヲ前年度ノ賣却額及實際需用概算額ニ對照シ且實地ニ臨ミ該案ト物件トヲ點檢査覈シ證人若クハ修正シテ之ヲ上書セシメ年月日及地名ヲ記シ署名捺印スヘシ

但修正シタルトキハ其原稿ヲ添付セシムヘシ

第七條 監督員前條豫算案ニ變更ヲ要スル場合ニ於テハ實地ニ臨ミ個所ヲ指定シ其増減シタル數量ヲ別表ニ作ラシメ年月日ヲ記シ署名捺印スヘシ

但該案ノ備考中ニモ亦タ其變更ノ事由ヲ記註セシムヘシ

第八條 監督員ハ甲乙兩派出所部内ニ跨ル林産公賣ノ實施ニ際シテハ各派出所首席者中ヨリ委員ヲ撰定スルコトヲ得

第九條 監督員ハ土石採掘若クハ一時ノ貸地ニシテ至急ヲ要スル場合ト認メタルトキ其森林ノ資質ニ損害ヲ加フ可キ憂ナキモノハ派出所首席者ヲシテ直ニ處分セシムルコトヲ得

第十條 監督員ハ確定ノ林産豫算案及造林案ニ實際變更ヲ要スルトキハ其數量十分一未滿ノモノニ限リ適宜處分ノ上部長ニ報告スヘシ

但經費ノ増額及該科目ニ變更ヲ要スルモノハ此限ニアラス

第十一條 監督員林産ノ收支ハ當該派出所首席者ヨリ提出スル林産豫算案林産明細簿林産賣却明細簿ニ因テ種類數量ヲ點檢シ且關係ノ證據書類ト對照シテ其正否ヲ審査シ年月日及地名ヲ記シ署名捺印シテ之ヲ證明スヘシ

但林産明細簿ニハ林産豫算案ニ對スル増減及其事由ヲ記註セシムヘシ

第十二條 監督員造林案ノ原稿ハ林地原簿實施原簿及前年ノ造林精算表ニ對照シ其經費面積及事業ノ緩急等ヲ實地ニ鑑ミ之レカ適否ヲ考查スヘシ

但施業案編成ニ供用シタル材料ハ總テ之ヲ添付スヘシ

第十四條 監督員ハ施業案ノ編成及林制上審議ヲ要スル事アルニ當リテハ其所部派出所首席者ヲ

最寄便宜ノ場所ニ召集スルコトヲ得

但首席者ヲ召集スルニ當テハ其期日及場所ヲ豫メ部長ヘ届置クヘシ

第十五條 監督員ハ其所部森林地境界ノ侵蝕界標ノ異動火災蟲害盜伐等傷害ノ實況且其成蹟ヲ視察シ其處置方法ヲ指揮スヘシ

第十六條 監督員ハ其所部森林ニ要スル道路橋梁其他土工建築ニ係ル事項ハ實地ニ臨ミ其費額方

法ヲ審査スヘシ

但重要ナル土工建築ニ係ルトキハ適宜當業者ヲシテ之ヲ審査セシムルコトヲ得

第三章 外業

第十七條 監督員ハ森林調査手續ニ準據シ其所部森林調査ニ關スル百般ノ外業ヲ指揮監督スヘシ

第十八條 監督員森林ヲ調査スルニ當リテハ各派出所首席者ヲシテ其所員中ヨリ該業適當ノ者各一名ヲ撰拔セシムヘシ

第十九條 監督員ハ事業着手前其所部外業員ヲ召集シ森林調査ノ方法目的等ヲ詳密ニ訓示シ其成蹟ヲ一様ナラシムルコトニ注意スヘシ

第二十條 監督員ハ森林調査手續中實際ニ適サセル廉アルトキハ適宜之ヲ指揮シ引續キ從事セシメ其狀況ヲ部長ニ具申スヘシ

但林務上重要ノ關係アル事項ハ其情況ヲ具シ意見ヲ附シテ部長ニ稟議スヘシ

第二十一條 監督員ハ其所部森林調査上實地不明瞭ノ成蹟アルトキハ再調査ヲ命スルコトヲ得

但再調査ニ要スル日數十日以上ニ渉ル時ハ其事由ヲ部長ニ具申スヘシ

第二十二條 森林調査重要ノ事項ハ監督員自カラ實務ニ當ルコトアルヘシ

第二十三條 監督員ハ其所部森林ヲ巡回シテ調査既濟ノ成績ヲ點檢シ及外業員實地操作ノ狀況ヲ

督察スヘシ

第二十四條 監督員ハ森林調査順序ニ因リ毎回整頓セル成績ヲ審査シ正當ノモノハ之ヲ部長ニ進

達スヘシ

第二十五條 監督員ハ其所部森林調査ニ關スル事業ノ功程ハ毎歲十二月ヲ以テ部長ニ報告スヘシ

第二十六條 監督員ハ森林調査既濟ノ部分ニ於テ實際變更ヲ要スル時ハ其情況ヲ具シ意見ヲ附シ

テ部長ニ稟議スヘシ

第二十七條 監督員ハ其所部森林ノ材量及生長量ヲ測定シタルトキハ材量調査手續ニ準據シ材量

表ヲ調製スヘシ

○明治二十年七月二十一日北海道廳訓令第九十五號郡區役所宛

明治十九年四月農商務省訓令第壹號ニ據リ調製進達致來候森林ニ關スル諸表式ノ内立木、枯損木、盜

誤伐木、(トモ)雜産物、盜誤採取品拂下表ハ自今左ノ様式ニ據リ調製スヘシ

(様式略ス)

○明治二十五年十二月七日北海道廳訓令第二百九十號郡區役所宛

森林收入ニ屬スル左ノ數項ニ該ルモノハ一廉金五拾圓未滿ト雖モ經伺ノ上處分スヘシ

一 林産物及土石一ケ年以上ノ年期拂下願

二 樹林地一ケ年以上ノ年期貸下願

三 (二十六年十二月訓令第三百五十八號ヲ以テ本項ヲ删除ス下第五第六第七ノ三項亦同シ)

四 禁伐林枯損木下草等拂下願

五

六

七

○明治二十六年十一月十六日北海道廳告示第七十五號

本道森林ノ樹木中左ノ種類ニ限リ目通直徑三寸以下ノモノハ拂下ヲ停止ス

榎トモ

松トモ

蝦夷松トモ

落葉松トモ

五葉松トモ

水松トモ

羅漢柏トモ

槐トモ

桂トモ

又「シコタンマツ」「フジマツ」トモ云フ

又「アララギ」トモ云フ

胡桃 又「セン」トモ云フ
 刺楸 又「シコロ」トモ云フ
 桑 又「ヤチダモ」トモ云フ
 柳 又「イタヤ」ノ一種
 山毛櫨 トキハカヘデ「アカタモ」トモ云フ
 楡 又「アカタモ」トモ云フ

○明治二十六年九月八日北海道廳訓第二百五十二號（山外五郡役所宛）
 其所轄檜山郡内各官林ニ生立セル羅漢柏（方言ヒノキ）ハ林相整理上ノ都合有之當分ノ内拂下ヲ停止スヘシ

但止ヲ得ズ拂下サルヲ得サル事情アルトキハ詳細事由ヲ具シ經伺スヘシ

○明治二十六年八月十八日北海道廳訓第二百三十五號（各郡役所宛）
 本年一月十四日付内訓ニ基キ提出セル明治二十六年度林地貸下及林産物拂下豫算申立之通認可候條右ニ據リ實施スヘシ

但今後主産物ニシテ豫算外ノ拂下ヲ要スル場合ハ更ニ認可ヲ受クヘシ
 ○明治二十六年九月二十六日北海道廳訓第二百六十六號（各郡役所宛）

明治二十六年度林地貸下及林産物拂下豫算實行之結果ハ別紙第一號乃至第三號表式ニ準シ對照表ヲ調製シ翌年度四月二十日限提出スヘシ

（表式ハ略ス）

○明治二十六年十一月二十五日北海道廳訓第三百二十九號（各郡役所宛）
 明治二十七年年度林地貸渡及森林原野主副産物拂下豫算別紙調製手續ニ據リ來ル明治二十七年一月十五日限り調製進達スヘシ

（別紙略ス）

○明治二十六年十二月十九日北海道廳訓第三百四十八號（各郡役所宛）
 本年十一月二十五日訓第三百二十九號明治廿七年度森林原野主副産物拂下豫算調製手續第一條ニ左ノ但書ヲ追加ス

但官林外ニ係ルモノハ別紙第二號乃至第六號ノ表式ニ準シ官林名ノ一欄ヲ除キ猶欄外ニ「官林外」ノ三字ヲ朱記區分調製スヘシ
 （別紙略ス）

○土石掘採

○明治二十年五月四日北海道廳告示第七十四號
 豊平川筋ニ於テ砂利ヲ掘採セント欲スルモノハ札幌區役所ニ申出指揮ヲ受クヘシ
 但明治十八年三札幌縣丁第三十八號告示ハ廢止ス

○明治二十二年一月十五日北海道廳告示第三號
土石拂下手續左ノ通定ム

土石拂下手續

第一條 官有森林山野及其他ノ官有地ニ於テ土石ノ拂下ヲ願出ルトキ森林山野ニ在リテハ第二部
林務課員派出所へ其他ノ官有地ニ在リテハ郡區役所へ願出書式第一號ニ準ス許可ヲ受ク可シ(二十五年十一月
廳令第三十四號
ヲ以テ派出所
ヲ廢ス下同シ)

第二條 土石拂下ノ許可ヲ受ケタルトキハ速ニ代金ヲ皆納シ其引渡ヲ受ク可シ

第三條 拂下ヲ受ケタル土石ノ採取及搬出期限ハ一ケ年以内トス其都度許可ヲ受ク可シ但期滿ノ
節ハ現場ノ検査ヲ請フ可キモノトス

第四條 前條ノ期限内ニ於テ採取又ハ搬出セサルモノハ之ヲ官收ス但正當ノ事故ニ因リテ期限内
ニ採取又ハ搬出シ得サルモノニ限り特ニ延期ヲ與フルコトアル可シ

第五條 土石ノ拂下ヲ願出ツル前ニ於テ試掘ヲ望ムトキハ一ケ年以内ノ期限ヲ以テ願出書式第二號
ニ準ス許可ヲ受ク可シ

第六條 凡ソ石ハ一尺立方ヲ以テ一切トシ切以下ハ分厘ヲ以テ之ヲ算出シ土砂ハ六尺立方ヲ以テ
一坪トシ坪以下ハ合タヲ以テ之ヲ算出スルモノトス

第七條 此手續ハ日本坑法第一章第三款所屬ノ土石類ニ限り施行ス
第一號書式

何土御拂下願

何國何郡何村字何別紙圖面ノ箇所ニ於テ
一何 何程

此代金何程 但一切ニ付金何程

此採取區域 縦何間横何間厚又ハ高サ何間
採取又ハ探出期限 明治何年何月何日限

(一ヶ所ニ於テ土石ヲ合セ拂下ヲ願出
シトスルトキハ別項ニ記載スヘシ)

右土石拂下手續ヲ遵守シ保證人連署ヲ以テ御拂下奉願候尤モ御聞届相成候上ハ代金速ニ皆納可
仕候也

何國何郡(區)何町(村)何番地

(寄留人ハ原籍及寄留
地共ニ肩書スヘシ)
華土族平民

願 人 氏 名 印

同 同 保 證 人 氏 名 印

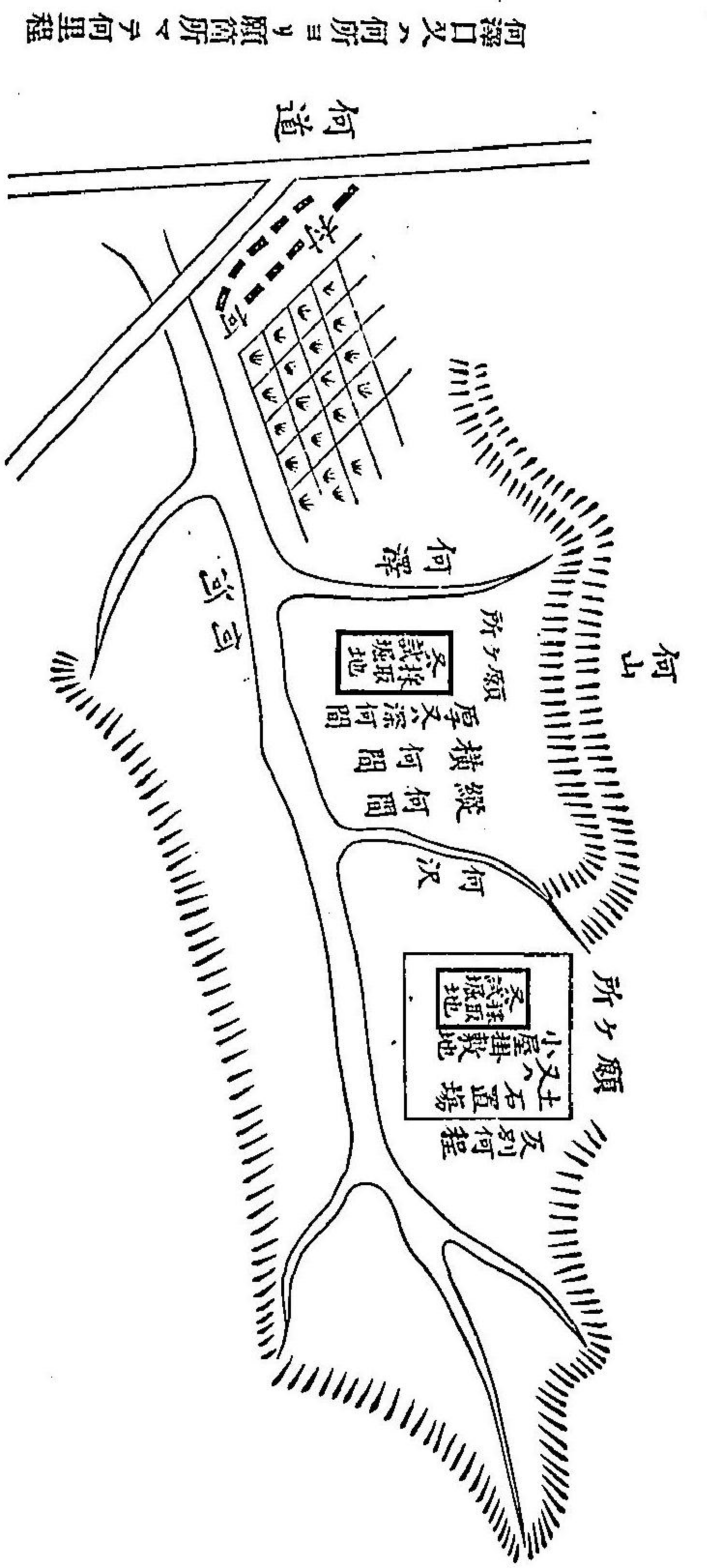
林務課員派出所又ハ郡區長宛
(郡區長へ差出スヘキ願書ニハ戶長ノ與書ヲ要ス)

第二號書式

何土試掘願

何國何郡何村字何別紙圖面ノ箇所ニ於テ

一何士 試掘場
 此試掘期限 明治何年何月何日限
 何坪
 右土石拂下手續第五條ヲ遵守シ試掘仕度候間御聞届被成下度保證人連署ヲ以テ此段奉願候也
 (以下第一號書式ト同文)



○明治二十二年三月十二日北海道廳告示第十九號
 本年一當廳告示第三號土石拂下手續第五條ニ依リ試掘ノ許可ヲ得テ掘採シタル土石ヲ使用セント
 スルモノハ其數量ヲ届出拂下ヲ受クヘシ
 但試掘ノ目的外ナル有價品ヲ發見シタル時ハ速ニ届出ツヘシ

○御料局出張所
 ○明治二十三年七月二十五日北海道廳告示第二十八號
 御料局札幌支應並其出張所來八月一日開廳御料林ニ關スル事務取扱フ旨通知アリ
 但出張所位置管轄區域左ノ通

出張所名稱	位	置	管	理	區	域
御料局札幌支應所	北海道廳第二部林務課	石狩國札幌郡及				
札幌出張所	札幌出張所内	膽振國千歲郡内ノ御料林				
厚田出張所	厚田郡 厚田	石狩國厚田濱益二郡内ノ御料林				
空知出張所	北海道廳第二部林務課	石狩國空知夕張雨龍上川四郡内ノ御料林				
空知出張所	空知出張所内					
余市出張所	同	後志國余市郡内ノ御料林				
余市出張所	余市出張所内					
美國出張所	後志國美國郡美國	後志國古平美國釧丹三郡内ノ御料林				
美國出張所	北海道廳第二部林務課	後志國壽都島牧磯谷歌登ノ四郡及膽振國虻田郡ノ内				
壽都出張所	壽都出張所内	後別川朱太川ニ面スル部分ノ御料林				
瀬棚出張所	後志國瀬棚郡瀬棚村	後志國太樺瀬棚二郡内ノ御料林				
瀬棚出張所	後志國瀬棚郡瀬棚村ニ改ム					
同	(二十四年九月告示第三十號ニ據リ久遠ヲ瀬棚ニ改メ位置欄内後志國瀬棚郡瀬棚村ニ改ム)					
卯崎出張所	同	渡島國南志郡及栴山郡ノ内野部内川以北部ニ屬スル御料林				
卯崎出張所	卯崎出張所内					

同	上國出張所	同	上國派出所内	渡島國檜山郡ノ内豊部内川以南部ニ屬スル御料林
同	松前出張所	同	渡島國松前郡内ノ御料林	
同	(二十四年二月告示第二號ニ據リ位置欄内渡島國松前郡福島ニ改ム)			
同	龜田出張所	同	渡島國龜田郡及上磯郡ノ内石別村以北ノ御料林	
同	上磯出張所	同	渡島國上磯郡ノ内登谷村以南ノ御料林	
同	茅部出張所	北海道廳第二郡林務課	渡島國茅部郡騰振國山越郡内ノ御料	
同	有珠出張所	同	騰振國有珠町(後別川朱太川ニ面スル部分ヲ除キ)ニ郡内ノ御料林	
同	勇拂出張所	同	騰振國白老勇拂ニ郡内ノ御料林	
同	釧路出張所	同	釧路國釧路阿寒足寄白糠ノ四郡	
同	川上出張所	釧路國川上郡標茶	十勝國十勝中川河東三郡内ノ御料林	
同	厚岸出張所	北海道廳第二郡林務課	釧路國川上郡内御料林	
同	標津出張所	根室國標津郡標津	釧路國厚岸郡内ノ御料林根室國根室郡御料林	
同	網走出張所	同	根室國日梨標津ニ郡内ノ御料林	
同	宗谷出張所	同	北見國網走落呂紋別四郡内ノ御料林	
同	留萌出張所	同	北見國宗谷枝幸ニ郡内ノ御料林	
同	付毛出張所	同	天鹽國天鹽中川上川昔前ノ四郡及留萌郡ノ内小平	
同		同	天鹽國留萌郡及留萌郡ノ内小平宗川以南部ニ屬スル御料林	

○明治二十四年九月十日北海道廳告示第三十號
御料局札幌支應出張所中位置名稱管理區域左ノ通更定ノ旨通知アリ
一 本年十月一日ヨリ御料局札幌支應空知壽都柳崎留萌四出張所管理區域内ニ瀧川磯谷熊石岩前ノ
四出張所ヲ設ケ空知出張所ヲ岩見澤出張所柳崎出張所ヲ俄蟲出張所ト改メ其位置及管理區域ヲ左
表ノ通定ム

名	稱	位	置	管	理	區	域
瀧川	出張所	石狩國空知郡瀧川村	林	石狩國上川、雨龍ノ二郡及空知郡ノ内奈井江川以東御料			
磯谷	出張所	後志國磯谷郡尻別村	林	後志國磯谷郡及騰振國虻田郡ノ内尻別川沿ノ御料林			
熊石	出張所	渡島國爾志郡熊石村	林	渡島國爾志郡ノ内相沼内村以北ノ御料林			
岩見澤	出張所	天鹽國昔前郡岩見澤村	林	天鹽國天鹽中川上川ノ三郡及昔前郡ノ内古澤別川以北ノ御料林			
俄蟲	出張所	渡島國檜山郡俄蟲村	林	石狩國夕張郡及空知郡ノ内奈井江川以西ノ御料林			
壽都	出張所	後志國壽都郡渡島町	林	渡島國檜山郡ノ内豊部内川以北及爾志郡ノ内蚊柱村以			
留萌	出張所	天鹽國留萌郡鬼鹿村	林	後志國壽都郡、歌島、島牧ノ三郡及騰振國虻田郡ノ内朱太			
付毛	出張所	天鹽國留萌郡鬼鹿村	林	川沿ノ御料林			
付毛	出張所	天鹽國留萌郡鬼鹿村	林	天鹽國昔前郡ノ内古澤別川以南及留萌郡ノ内小平宗川			
付毛	出張所	天鹽國留萌郡鬼鹿村	林	以北ノ御料林			

○明治二十六年二月十五日北海道廳告示第八號
今般御料局札幌支應ニ於テ林産物競賣手續及同附別紙ノ通設定シ各出張所到達ノ翌日ヨリ實施
ノ旨通知アリ

林産物競賣手續

(別紙)

第一章 入札 結約

- 第一條 林産物ノ競賣ハ入札ノ方法ニ依リ之ヲ行フモノトス
- 第二條 入札ヲ爲サントスルトキハ預メ現物件若クハ見本又ハ明細書ニ依リ其價値ヲ詳知スヘキハ勿論此手續及契約書案アルモノハ其案ヲモ熟閱スヘシ
- 第三條 入札ヲ爲サントスル者又ハ契約ヲ結ハントスル者ハ保證金ヲ納ムヘシ其金額ハ預メ當該應所ヨリ告知スヘシ
- 第四條 入札保證金ハ入札ノ際掛官ニ差出シ契約保證金ハ結約ノ際當該應所ヘ納入シ預リ證書ヲ受取ヘシ
- 第五條 入札保證金ハ落札トナラサル者ニハ開札後落札トナリタル者ニハ結約後契約保證金ハ物件引渡後預リ證書ト引換ニ返付スルモノトス
- 第六條 契約書ハ契約者雙方署名捺印シテ契約ヲ確定シ各一本ヲ領收シ置クヘシ但片務ニ係ル契約書ハ主任官署名捺印セス且主任官ノ領收スヘキ一本ノミニ止ムルヲ得
- 第七條 左ノ事項ノ一ニ當ルモノハ入札人又ハ買受人トナルヲ許サス
 - 一 御料部ニ屬スル物件其他ノ買受代金又ハ借受料金意納中ノ者
 - 二 御料部ニ屬スル損害賠償又ハ違約金ノ辨償ヲ了ヘサル者

三 賣却ニ付スヘキ物件ニ對シ罪ヲ犯シタル者

- 第八條 入札ニ付スル物件ノ豫定價格ハ之ヲ封書トシ入札函ニ差入置クヘシ
- 第九條 入札人ハ別紙書式ニ依リ入札書ヲ作り豫定ノ日時ニ入札函ニ投入スヘシ
- 第十條 入札後ニ至リ入札ノ訂正引換其他何等ノ故障ヲ申立ルモノ之ヲ採用セス
- 第十一條 開札ハ公告ニ示シタル場所日時ニ入札掛官入札人立會ノ上執行シ要件ヲ朗讀シ豫定價格以上ニ於ケル最高金額ノ入札人ヲ以テ落札人ト定ムヘシ但立會ハサルモノハ入札書又ハ入札書中誤字脱字汚染塗抹等ニ由リ金員及氏名ノ認知シ難キモノ其他要領不明若クハ入札保證金未納若クハ代理人ニシテ委任狀持參ナキモノハ直チニ排却スヘシ
- 第十二條 落札人其入札ヲ取消シタルトキハ二番札以下ト雖モ豫定價格以上ノモノニ限り順次繰下ケ落札人ヲ定ムルコトアルヘシ
- 第十三條 入札金額一モ豫定價格ニ達セサルトキハ其價格ヲ各入札人ニ示シ之ヲ取消スヘシ但豫定價格以上ニ於テ再度ノ入札ヲ望ムモノ二名以上アルトキハ直ニ入札ヲ爲サシムヘシ
- 第十四條 同價ノ入札人二名以上アリテ落札人ヲ定メ難キトキハ直ニ其者等ヲシテ再度ノ入札ヲ爲サシムヘシ尙同價ノ入札アルトキハ直ニ抽籤ヲ以テ落札人ヲ定ムヘシ
- 第十五條 落札人ハ落札ノ日ヨリ第三日(休暇日ヲ除ク)正午十二時迄ニ物件目錄及契約書ヲ作り當該應所ニ持參シ結約スヘシ

第二章 代金拂込 物件引渡

第十六條 代金ハ結約ノ日ヨリ十日以内ニ完納スヘシ

代金完納ノ後ニ非サレハ物件ヲ引渡サトルモノトス

第十七條 物件所有權ハ物件ノ引渡ヲ受クルニ隨ヒ買受人ニ移轉スルモノトス

第十八條 買受人定期内ニ代金ヲ完納シタルトキハ物件ノ引渡ヲ請求シ且入林認可證ヲ申受クヘシ

第十九條 買受人引渡ヲ受ケタルトキハ即時領收證書ヲ差出スヘシ但時宜ニ依リ物件ヲ引渡シタル官吏ノ手簿ニ署名捺印セシメ領收證書ニ代用セシムルコトアルヘシ

第三章 物件斫伐採集及搬出

第二十條 引渡ヲ了ラサル物件ハ斫伐採集スルコトヲ得ス

第二十一條 許可ヲ得ルニ非サレハ林地内ニ於テ角取荒木取ノ外細工ヲ加フルコトヲ得ス

第二十二條 物件ヲ搬出セントスルトキハ當該應所ニ就テ檢印又ハ證認書ヲ申受クヘシ

檢印又ハ證認書ナキ物件ハ搬出スルコトヲ得ス

第二十三條 物件ヲ林地外ニ搬出スヘキ日限ハ引渡ヲ受ケタル日ヨリ百八十日以内トス但特ニ指定スルモノハ此限ニアラス

第二十四條 天災事變等避ク可カラサル原因ニ由リ搬出日限ニ後レントスルトキハ速ニ其事由ヲ申出延期ヲ請フヘシ

第四章 違約處分 損害賠償

第二十五條 左ノ場合ニ於テハ入札保證金ヲ返付セス

一 入札人其入札ヲ取消シタルトキ

二 落札人指定ノ日限内ニ契約ヲ結ハサルトキ

第二十六條 左ノ場合ニ於テハ契約ヲ解除シ其保證金ヲ返付セス

一 買受人結約後指定ノ日限内ニ代金ヲ納入セザルトキ

二 買受人結約後其契約ヲ取消シタルトキ

第二十七條 左ノ場合ニ於テハ違約金ヲ徵收スヘシ其金額ハ賣却代金總額ノ百分ノ二十以内ニ於テ當該應所ノ定ムル所ニ依ル

一 引渡ヲ了ラサル物件ヲ斫伐採集シタルトキ

二 林地内ニ於テ物件ニ契約外ノ細工ヲ加ヘタルトキ

三 檢査ヲ了ラサル物件ヲ搬出シタルトキ

第二十八條 物件ノ買受人ニ於テ第二十四條ノ場合ニアラスシテ約定期限ニ物件ノ搬出ヲ了ル能ハサルトキハ其事由ヲ具シ延期ヲ當該應所ニ請求スルコトヲ得此場合ニ於テハ其延滞中一日毎ニ代金總額ノ千分ノ三ニ當ル借地料ヲ納入スヘシ

前項ノ場合ニ於テ買受人搬出延期ノ請求ヲ爲サスシテ約定日限ヲ過クルトキハ當該應所ハ更ニ搬出期限ヲ定メシメ前項ノ割合ニ二倍スル借地料ヲ取立ツヘシ

第二十九條 前條ニ據リ延期シタル期限内ニ搬出ヲ了ラサルトキ又ハ借地料ヲ怠納シタルトキハ

當該應所ハ既納ノ代金ヲ還付セスシテ其搬出未済ニ係ル物件ヲ收得スルコトアルヘシ

第三十條 買受人若クハ其雇人買受物件所伐採集若クハ製作搬出等ニ際シ當該應所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其事業ヲ中止シ買受人ヨリ之ヲ賠償セシムヘシ其金額及納入期限等ハ當該應所ノ定ムル所ニ依ル

第五章 雜件

第三十一條 入札後又ハ結約後天災事變等避ク可カラサル事由ニ因リ目的物ノ亡失毀損シタル爲メ公賣ヲ取消シ之レカ爲ニ入札人落札人又ハ買受人ニ於テ損害ヲ生スルモ當該應所ハ其責ニ任セス

第三十二條 物件買受人ニ於テ物件引渡ヲ受ケタル後品質數量ノ差違若クハ物品ノ内部ニ腐蝕其他瑕疵アルヲ發見スルモ當該應所ハ其責ニ任セス

第三十三條 立木賣却ノ場合ニ於テハ斷株ハ賣却外ノモノトス

第三十四條 入札開札及金買物件交付等ノ場合ニ於テ代理人ヲ出ストキハ委任狀ヲ持參セシムヘシ

第三十五條 買受人搬出以前ニ於テ其物件ヲ他人ニ賣買讓與セントスルトキハ雙方連署ヲ以テ當該應所ニ申出テ認可ヲ請フヘシ

入札書式

入札書

第 號(公賣物件ノ番號以下同シ)

某御料林字某

一何々(物件ノ名稱ヲ記ス) 數量何程

此代金何程 但單價何程(此但書ハ單價ヲ要スル旨公告ニ掲載アルトキニ限ル以下同シ)

第 號

某御料林字某

一何々

何程

此代金

(以下此例ニ準シ公告ニ掲載ノ物件中入用ノ口數ヲ記スヘシ)

右之通買受申度林產物競賣手續其他公示又ハ契約書案ノ條項承諾保證金添入札候也

年 月 日

住 所

氏

名 印

(代理人ノトキハ代理人ノ住所氏名ヲ併記シテ捺印スヘシ以下同シ)

主任官氏名宛

林產物競賣手續附則

第一條 特賣ハ需用者ノ願出ニシテ當廳ニ於テ支障ナシト認メタル場合ニ限リ隨意契約ノ方法ニ依リ之ヲ行フモノトス

第二條 需用者其必要ニ由リ特賣ノ許可ヲ請ハントスルトキハ其事由ヲ詳記シタル別紙書式ノ願

書ヲ差出スヘシ

第三條 特賣ノ許可ヲ受ケタル者結約ノ告知ヲ受ケタルトキハ其期限内ニ契約書及契約保證金ヲ差出スヘシ但一口金高貳拾圓未滿ノ特賣ニハ願書ノ末ニ契約ノ要件ヲ明記シ買受人署名捺印スルヲ以テ契約書ニ代用スルコトヲ得

第四條 特賣ニハ時宜ニ依リ契約保證金ヲ免除スルコトアルヘシ

第五條 林産物競賣手續中本則ニ牴觸セサル條項ハ總テ之ヲ適用ス

願書式

願 書

何郡何村何御料林字何ニ於テ

一何(立)(枯損)(倒)木目逆直徑何寸以上何本

此代金何程

一本金何程

(數種類ノトキハ此例ニ依リ列記ス以下同シ)

合本數

何程

(又ハ)

何郡何村御料林字何ニ於テ

一何々 何貫目(束)(升)(何) 此代金何程 一貫目(束)(升)(何)金何程

此代金何程

右何々(概用ノ目録等ヲ詳記ス)ノ爲メ入用ニ付御賣渡被成下度林産物競賣手續及同附則拜承此段奉願候也

年 月 日

住 所

氏

名

印

御局料札幌支廳

某出張所長宛

○殖民

○明治二十五年二月六日北海道應訓令第六號郡區役所宛

明治二十年七月七號移住者戸口調表式左ノ通改定ス

但每郡區ニ調査シ毎年二回上半年分七月三十一日限 下半年分一月三十一日限内務部へ報告スヘシ(二十三年十二月十八日訓令號) 外參看第三類戸籍ノ部ニ見ユ

來住者ノ部

第一來住者原籍戸口表

何郡明治何年

府	縣	戸	口	男	女

第二來住者到達郡區別戸口表

明治何年上(下)半期分

國	郡	區	戸	口	男	女

三來住者職業別戶口表											
(甲)原籍別											
府	縣	口	戶	農	漁	工	商	雜	不詳	計	
何郡明治何年 上(下)半期分											
第四來住者月別表											
國	郡	區	口	戶	(七)月	(八)月	(九)月	(十)月	(十一)月	(十二)月	
何郡明治何年 上(下)半期分											
(乙)郡區別											
國	郡	區	口	戶	農	漁	工	商	雜	不詳	計
明治何年上 (下)半期分											
往住者ノ部											

第一往住者出向府縣別戶口表											
府	縣	口	戶	男	女						
何郡明治何年 上(下)半期分											
第二往住者出發郡區別戶口表											
國	郡	區	口	戶	男	女					
明治何年上 (下)半期分											
第三往住者職業別戶口表											
(甲)出向府縣別											
府	縣	口	戶	農	漁	工	商	雜	不詳	計	
何郡明治何年 上(下)半期分											
(乙)出發郡區別											
國	郡	區	口	戶	農	漁	工	商	雜	不詳	計
明治何年上 (下)半期分											

第四往住者月別表

國郡區	明治何年上 下期分					
	一月	二月	三月	四月	五月	六月
口戸	(七)	(八)	(九)	(十)	(十一)	(十二)

○明治二十六年六月二十二日北海道廳訓第百八十八號_{内務部宛}

殖民ニ關スル諸事業逐年頻繁ニ相成候ニ就テハ諸事業ノ施設順ヲ逐フテ齊シク其歩ヲ進ムルニ非サレハ各課ノ事業彼此先後ヲ失シ甚シキニ至テハ互ニ相背馳スルヤモ測ラレス因テ今般別紙ノ通リ殖民事業協議會假規程ヲ設ケ各課ノ事業ヲ協議セシム

(別紙)

殖民事業協議會假規程

第一條 殖民スヘキ地域ヲ指定シ又ハ殖民上施設スヘキ事業ニ關スル事項ヲ協議スルカ爲メニ交渉各課ノ協議會ヲ開ク

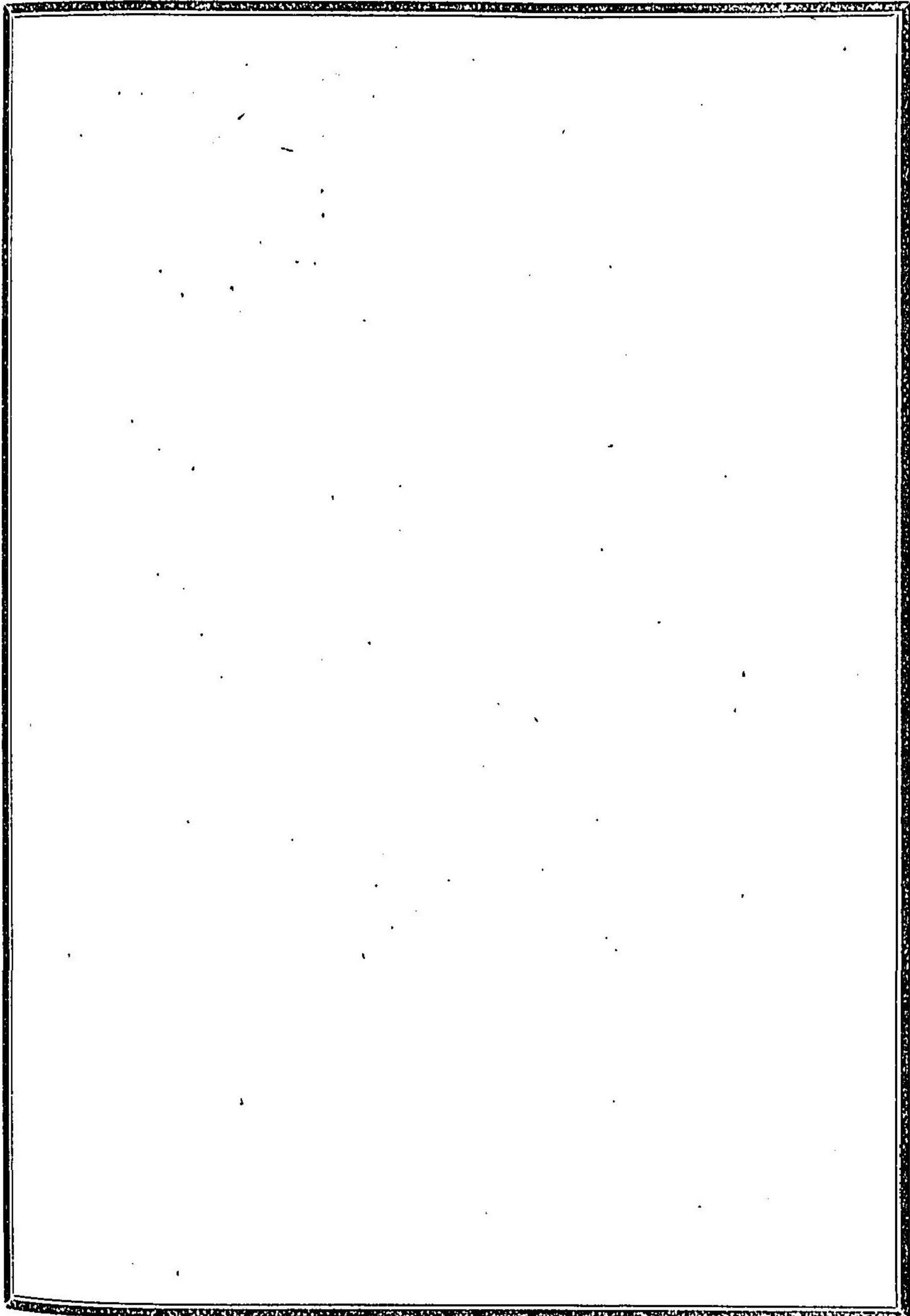
第二條 協議會員ハ地理殖民土木林務ノ各課長技師及主任屬トス

但シ事ノ他課ニ涉ルモノアルトキハ關係ノ課員出席スルコトアルヘシ

第三條 協議會ハ上官ノ命ニ依リ又ハ其事業ヲ興廢スヘキ主務課長ノ意見ニ依リ互ニ通告シテ之ヲ開クヘシ

第四條 協議スヘキ事項ノ概要ハ左ノ如シ

- 一 殖民區畫地ノ撰定及一般貸下地區域指定ニ關スル事
 - 二 殖民地區畫割ノ方法及之ニ施設スヘキ事業ニ關スル事
 - 三 成功地檢査ニ關スル事
 - 四 道路開鑿修繕築港築堤排水運河其他土木工事ニ關スル事
 - 五 禁伐林水源涵養國土保安林用材林魚附林防風防潮防砂林其他林制施設ニ關スル事
 - 六 殖民町村ニ關スル諸設計ノ事
 - 七 前各項ノ外必要ト認ムル事項
- 第五條 協議會ニ於テ協議シタル事項ハ内務部長ニ申述スヘシ



○第三類

○郡區

○編制

○明治十二年七月廿三日開拓使乙第四號布達
明治十一年七月第十七號布告郡區編制法ニ據リ當使管内從前ノ大小區相廢シ更ニ郡區町村別冊ノ通
編制候條此旨布達候事

(別冊)

開拓使本廳管下

札幌區

石狩國札幌郡札幌町志ニ區役所ヲ
置キ札幌市街及札幌郡一圓ヲ管ス

小樽通	北後志通	濱益通	厚田通
札幌通	石狩通	樺戸通	空知通
西創成町	東創成町	雨龍通	南後志通
渡島通	爾志通	檜山通	津輕通
福島通	上磯通	膽振通	浦河通
樣似通	幌泉通	圓山通	琴似通
上手稻村	發寒村	下手稻村	山鼻村

豐平村	上白石村	白石村	平岸村
月寒村	札幌村	雁來村	苗穂村
丘珠村	篠路村	雁村	江別村
石狩國石狩郡	<small>石狩郡船町ニ郡役所ヲ置キ石狩厚田濱益上川樺戸雨龍空知夕張八郡ヲ管ス</small>	對	
本町	辨天町	新	濱町
横町	仲天	船場	親船町
花畔村	若生町	入幡	生振村
當別村			
同國厚田郡			
聚富村	望來村	嶺泊村	古潭村
押琴村	小谷村	別狩村	厚田村
安瀨村	濃晝村		
同國濱益郡			
川下村	清水村	實田村	柏木村
尻苗村	茂生村	別村	雄冬村
同國上川郡			
同國樺戸郡			

同國雨龍郡			
同國空知郡			
同國夕張郡			
後志國小樽郡	<small>小樽郡信香町ニ郡役所ヲ置キ小樽高島忍路余市四郡ヲ管ス</small>		
錢函村	張碓村	朝里村	熊碓村
若竹町	勝納町	潮見町	新富町
真榮町	奧澤村	川原町	高砂町
土場町	芝居町	新地町	金曇町
龍徳町	若松町	開運町	信香裏町
信香町	山ノ上町	有幌町	量徳町
永井町	入船町	港町	界徳町
同國高島郡			
色内村	手宮村	高島村	祝津村
同國忍路郡			
鹽谷村	忍路村	桃内村	蘭島村
同國余市郡			
黒川村	山田村	谷部村	濱中村

川	山	後志國古平郡	垂美	同國美國郡	船	婦美	同國積丹郡	出岬	西河	後志國岩内郡	白別	御鉢	堀江	敷島	同國古宇郡
村	村	古平郡溪中村ニ郡役所ヲ置キ古平美國積丹三郡ヲ管ス	村	村	村	村	村	村	村	岩内郡御鉢内町ニ郡役所ヲ置キ岩内古宇二郡ヲ管ス	村	内町	町	内村	村
澤	沖		入	小	小	入	入	入	來		茅沼	稻穂	三島		
町	村		町	泊	泊	舸	舸	雁	雁		村	崎	町		
富	仁		歌	厚	厚	日	日	余	余		澁	橋	難		
澤	木		乘	苦	苦	司	司	別	別		井	吹	波		
町	村		村	村	村	村	村	村	村		村	上	町		
山			濱	幌	幌	野	野	神	神		堀	吹	野		
道			中	武	武	塚	塚	岬	岬		株	上	東		
村			村	意	意	村	村	村	村		村	町	村		

珊	盃	膽振國室蘭郡	千舞	輪西	西小路	常盤	本	同國虻田郡	禮文	同國有珠郡	有珠	黃金	同國幌別郡	登別	膽振國勇拂郡
内村	村	室蘭郡札幌通ニ郡役所ヲ置キ室蘭虻田有珠幌別四郡ヲ管ス	村	村	町	町	町	町	村	村	村	村	村	村	勇拂郡苫小牧村ニ郡役所ヲ置キ勇拂白老千歳沙流新冠静内六郡ヲ管ス
赤	泊		室	塵	澤	新		辨	長	長	長	富	富		
石	石		蘭	別	町	堀		邊	流	流	岸	岸	岸		
村	村		村	村	町	町		村	村	村	村	村	村		
神	龍		龍	給	幕	仲		振	紋	紋	幌	幌	幌		
惠	田		田	鞆	西	西		苗	鼈	鼈	別	別	別		
内	村		村	村	町	町		村	村	村	村	村	村		
村			幌	札	東	濱		此	稀	稀	法	法	法		
興	幌		幌	幌	小路	町		田	府	府	華	華	華		
志	萌		萌	幌	町	町		村	村	村	村	村	村		
内	村		村	通	町	町		村	村	村	村	村	村		

樽前村	覺生村	錦多峯村	小糸魚村
苦小牧村	勇拂村	厚真村	鶴川村
井目戶村	萌別村	生鼈村	似灣村
累標村	穗別村	邊富內村	植苗村
同國白老郡			
敷生村	白老村	社臺村	
同國千歲郡			
千歲村	蘭越村	烏柵舞村	長都村
漁村	島松村		
日高國沙流郡			
佐瑠太村	富仁家村	平賀村	紫雲古津村
荷菜村	平取村	二風谷村	荷負村
長知內村	幌去村	貫氣別村	門別村
荷菜摘村	波惠村	慶能舞村	賀張村
厚別村	菜實村		
同國新冠郡			
大狩部村	葉朽村	受乞村	元神部村

比字村	泊津村	高江村	去童村
姉去村	萬揃村	滑若村	
同國靜内郡			
下々方村	中下方村	上下方村	目名村
遠佛村	慕別村	市父村	農家村
碧葉村	有良村	婦蟹村	佐妻村
桐別村	春立村	音江村	遠別村
日高國浦河郡	<small>浦河郡浦河村二郡後所ヲ置キ浦河三石模似嶺泉廣尾當線十勝中川河四河東上川十一郡ヲ管ス</small>		
浦河村	向別村	鱗別村	茅實村
宜保村	蹈牛村	後輛村	問民村
透消村	開深村	居壁村	姉茶村
野深村	萩伏村	塘沸村	西舍村
杵白村	可禮村	富菜村	原遠村
同國三石郡			
姨布村	邊訪村	神潭村	延出村
幌毛村			
同國樣似郡			
幌毛村			
歌笛村			

浦	西	仲	堀	龜	鶴	大	眞	大	龜	渡島	大	大	神	錢	龜	市
横	濱	濱	江	若	岡	砂	森	森	龜	島	野	中	山	龜	田	渡
町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	郡	村	村	村	村	村	村
赤	幸	内	船	沙	若	富	龍	龍	下	龜	本	一	赤	石	下	藤
石	明	湖	場	留	松	澤	神	神	湯	田	郷	本	川	崎	川	山
町	町	町	町	町	町	町	町	町	村	郡	村	村	村	村	村	村
谷	大	東	惠	藏	音	海	西	西	上	龜	千	石	龜	龜	上	軍
地	黒	濱	比	前	羽	岸	川	川	湯	尾	代	川	尾	尾	川	文
頭	町	町	須	須	町	町	町	町	川	川	田	村	村	村	村	川
町	町	町	町	町	町	町	町	町	志	志	村	村	村	村	村	城
釜	大	地	蓬	寶	高	豐	東	東	鍛	桔	鶴	昨	鶴	桔	昨	城
淵	天	藏	菜	砂	砂	川	川	川	冶	梗	野	下	野	梗	野	城
町	町	町	町	町	町	町	町	町	村	村	村	村	村	村	村	村

七	同	木	三	谷	濁	同	小	渡	原	雨	總	博	湯	大	横	神
飯	國	古	ツ	好	川	國	安	島	口	垂	社	知	殿	松	明	明
村	上	内	石	村	村	茅	村	國	村	石	堂	石	澤	前	町	町
	磯	村	村	村	村	部	村	津	村	村	町	町	町	町	町	町
		札	當	吉	清	戸	井	輕	江	赤	生	唐	新	枝	藏	馬
		苅	別	田	水	井	村	郡	良	神	符	津	荒	ヶ	形	形
		村	村	村	村	村	村	郡	町	村	町	内	町	崎	上	上
		泉	茂	上		尻		郡	部	札	白	西	小	中	中	馬
		澤	邊	磯		岸		部	部	前	川	館	松	河	河	形
		村	地	村		内		村	村	村	町	町	前	原	原	中
		村	村	村		村		村	村	村	町	町	町	町	町	中
		釜	富	中		根		村	村	根	愛	唐	松	袋	川	馬
		谷	川	野		部		村	村	田	宕	津	代	原	原	形
		村	村	村		村		村	村	村	内	内	町	町	町	下
		村	村	村		村		村	村	村	町	町	町	町	町	下

端立町	東上町	東中町	東下町
新町	泊川町	傳治澤町	山元上町
寅向町	下及部村	上及部村	大澤村
荒谷村	炭燒澤村	宮歌村	自符村
同國福鳥郡			
禮毘村	吉岡村	宮歌村	自符村
福島村	知内村		
渡島國檜山郡	<small>檜山郡中歌村ニ郡役所ヲ 置キ檜山爾志ニ郡ヲ管ス</small>	赤沼村	安野呂村
鵜川村	小黒部村	伏木戸村	土橋村
鷯名村	柳崎村	北新町	中澤村
泊新村	東新町	詰木石町	豐部内町
川原新町	片原町	姥神町	津花町
九艘川町	中歌町	新地裏町	新地町
濱茂尻町	酒田町	佐平治町	彌陀堂町
法華寺町	上野町	澤茂尻町	中茂尻町
切石町	影元町		

小平澤町	碓留町	寺小屋町	五勝手村
北崎村	大留村	上之國村	木之子村
石崎村	沙吹村	小砂子村	
同國爾志郡			
熊石村	泊川村	相沼内村	蚊柱村
三ッ谷村	突符村	小茂内村	乙部村
<small>後志國久遠郡 久遠郡一總調村ニ郡役所ヲ置キ 久遠與尻太檜瀬柳四郡ヲ管ス</small>			
太田村	上古丹村	一艘湖村	三艘湖村
日方泊村	湯尻村	平田内村	貝取湖村
長磯村			
同國奥尻郡			
釣懸村	赤石村	藥師村	青苗村
同國太檜郡			
太檜村	古檜多村	良瑠石村	鵜泊村
同國瀬柳郡			
島歌村	此羅村	中歌村	梅花都村
瀬棚村			

後志國壽都郡	<small>壽都郡中歌村ニ郡役所ヲ置キ 壽都郡歌島牧磯谷四郡ヲ管ス</small>	湯別村	樽岸村	六條村	岩崎村
中歌村	矢追村	政泊村	黑松内村		
同國島牧郡					
歌島村	本目村	輕白村	永豐村		
江泥邊村	千走村	原歌村			
同國歌棄郡					
美谷村	種前村	有戸村	潮路村		
作開村	熱郭村				
同國磯谷郡					
尻別村	熊津谷村	島古丹村	橫湖村		
渡島國茅部郡	<small>茅部郡森村ニ郡役所ヲ置キ 茅部郡山越ニ郡ヲ管ス</small>				
尾札部村	白尻村	熊泊村	鹿部村		
砂原村	掛湖村	森村	尾白内村		
鷺木村	蛭谷村	石倉村	落部村		
宿野邊村					
膽振國山越郡					

開拓使根室支應管下	山越内村	長萬部村
根室國根室郡	<small>根室郡松ヶ枝町ニ郡役所ヲ置キ根室花咲野付 標津日梁厚岸國後得撫新知占守十郡ヲ管ス</small>	
本町	花咲町	梅ヶ枝町
有磯町	松ヶ枝町	彌榮町
綠町	彌生町	根室村
幌茂尻村	厚別村	西別村
同國花咲郡		
花咲村	友知村	沖根婦村
沖根邊村	婦羅理村	垂舞村
同國野付郡		
別海村	平糸村	野付村
同國標津郡		
標津村	伊茶仁村	
同國目梨郡		
忠類村	薰別村	植別村
釧路國厚岸郡		
		崎無異村

柳町	濱中村	落石村	昆布森村
千島國國後郡			
泊村	東沸村	留夜別村	米戸賀村
秩苅別村			
同國得撫郡			
同國新知郡			
同國占守郡			
釧路國厚岸郡			
灣月町	咎多村	真龍村	奔渡村
床潭村	末廣村	散布村	瑠璃瀾村
厚岸村	別寒邊手村	帆似戀村	邊土江村
小原內村	琵琶瀨村	後靜村	
同國釧路郡			
釧路村	桂戀村	昆布森村	跡永賀村
仙鳳趾村	米町		
同國白糖郡			
白糖村	鹿路村	尺別村	

同國川上郡	塘路村	熊牛村	弟子屈村	屈斜路村
虹別村				
同國阿寒郡				
舌辛村	澈別村	蘇牛村	飽別村	
同國足寄郡				
澁別村	利別村	足崎村	螺灣村	
千島國振別郡	<small>振別郡振別村ニ郡役所ヲ置キ 振別郡提紗郡採取四郡ヲ管ス</small>			
老間村	振別村			
同國擇捉郡				
丹根萌村	內保村			
同國紗那郡				
紗那村	有萌村	留別村	別飛村	
同國藥取郡				
藥取村	乙今牛村			
北見國網走郡	<small>網走郡網走村ニ郡役所ヲ置キ 走斜里常呂紋別網走五郡ヲ管ス</small>			
能取村	最寄村	網走村	勇仁村	

新 栗 履 村	藻 琴 村	娜 寄 村	濤 沸 村
同 國 斜 里 郡			
蒼 瑠 村	止 別 村	斜 里 村	朱 圓 村
遠 音 別 村			
同 國 常 呂 郡			
常 呂 村	少 牛 村	鑑 沸 村	生 顏 常 村
大 茶 苗 村	野 付 牛 村	手 師 學 村	
同 國 紋 別 郡			
紋 別 村	藻 籠 村	瑠 椽 村	渚 滑 村
幌 內 村	興 部 村	澤 木 村	湧 別 村
沙 留 村	雄 武 村		
同 國 網 走 郡			
美 幌 村	杵 端 邊 村	古 梅 村	活 汲 村
達 媚 村	羅 木 禽 村		

○明治十二年七月郡區町村編制以降年々町村ノ新設郡役所戶長役場ノ増置廢併等枚舉ニ勝ヘ
 ス因テ明治二十六年十二月末日現在町村名及郡區役所戶長役場ノ位置ヲ表掲シ一目ニ便ニス

函館區	函館區	位郡區役所	郡區名	戶長役場	町	村	名
函館區	函館區	札幌區	札幌區	區役所	大通	南一條	自東一丁目自西一丁目 至東六丁目自西九丁目
		札幌區	札幌區	區役所	南二條	南三條	自東一丁目自西一丁目 至東六丁目自西九丁目
		札幌區	札幌區	區役所	南四條	南五條	自東一丁目自西一丁目 至東五丁目自西九丁目
		札幌區	札幌區	區役所	南六條	南七條	自東一丁目自西一丁目 至東三丁目自西九丁目
		札幌區	札幌區	區役所	北一條	北二條	自東一丁目自西一丁目 至東三丁目自西九丁目
		札幌區	札幌區	區役所	北三條	北四條	自東一丁目自西一丁目 至東三丁目自西九丁目
		札幌區	札幌區	區役所	北五條	北六條	自東一丁目自西一丁目 至東三丁目自西九丁目
		札幌區	札幌區	區役所	北七條	北八條	自東一丁目自西一丁目 至東二丁目自西六丁目
					大 通	南 一 條	自東一丁目自西一丁目 至東六丁目自西九丁目
					南 二 條	南 三 條	自東一丁目自西一丁目 至東五丁目自西九丁目
					南 四 條	南 五 條	自東一丁目自西一丁目 至東三丁目自西九丁目
					南 六 條	南 七 條	自東一丁目自西一丁目 至東三丁目自西九丁目
					北 一 條	北 二 條	自東一丁目自西一丁目 至東三丁目自西九丁目
					北 三 條	北 四 條	自東一丁目自西一丁目 至東三丁目自西九丁目
					北 五 條	北 六 條	自東一丁目自西一丁目 至東三丁目自西九丁目
					北 七 條	北 八 條	自東一丁目自西一丁目 至東二丁目自西六丁目
大 通 町	仲 濱 町	辨 天 町	西 濱 町	幸 町	大 通 町	南 一 條 町	
大 黒 町	鱧 湖 町	富 岡 町	鍛 冶 町	旅 籠 町	大 黒 町	南 二 條 町	
天 神 町	駒 止 町	船 見 町	臺 町	山 脊 泊 町	天 神 町	南 三 條 町	
元 町	會 所 町	相 生 町	壽 町	曙 町	元 町	南 四 條 町	
沙 見 町	青 柳 町	春 日 町	谷 地 頭 町	住 吉 町	沙 見 町	南 五 條 町	

山越郡		松前郡										福山郡		川原町				
八雲村	入雲村	直轄										大澤村	吉岡村	福島村	根部田村	江良町村		
山越内村	長萬部村	總社堂町	博知石町	小松前町	袋町	神明町	東上町	東向町	上及部村	禮巖村	白符村	赤神村	原口村	江良町村	清部村	根部田村	茂草村	雨垂石村
	長萬部村	生符町	唐津内澤町	松城町	横町	馬形上町	馬形中町	東下町	荒谷村	宮歌村	福島村	札前村	江良町村	清部村	根部田村	茂草村	雨垂石村	
	長萬部村	白川町	唐津内町	大松前町	藏町	馬形中町	馬形下町	東新町	炭燒澤村	宮歌村	福島村	札前村	江良町村	清部村	根部田村	茂草村	雨垂石村	
	長萬部村	愛宕町	新荒町	枝ヶ崎町	中川原町	中川原町	中川原町	東新町	炭燒澤村	宮歌村	福島村	札前村	江良町村	清部村	根部田村	茂草村	雨垂石村	
	長萬部村	西館町	湯殿澤町	中川原町	中川原町	中川原町	中川原町	東新町	炭燒澤村	宮歌村	福島村	札前村	江良町村	清部村	根部田村	茂草村	雨垂石村	

山越郡		松前郡										福山郡		川原町				
八雲村	入雲村	直轄										大澤村	吉岡村	福島村	根部田村	江良町村		
山越内村	長萬部村	總社堂町	博知石町	小松前町	袋町	神明町	東上町	東向町	上及部村	禮巖村	白符村	赤神村	原口村	江良町村	清部村	根部田村	茂草村	雨垂石村
	長萬部村	生符町	唐津内澤町	松城町	横町	馬形上町	馬形中町	東下町	荒谷村	宮歌村	福島村	札前村	江良町村	清部村	根部田村	茂草村	雨垂石村	
	長萬部村	白川町	唐津内町	大松前町	藏町	馬形中町	馬形下町	東新町	炭燒澤村	宮歌村	福島村	札前村	江良町村	清部村	根部田村	茂草村	雨垂石村	
	長萬部村	愛宕町	新荒町	枝ヶ崎町	中川原町	中川原町	中川原町	東新町	炭燒澤村	宮歌村	福島村	札前村	江良町村	清部村	根部田村	茂草村	雨垂石村	
	長萬部村	西館町	湯殿澤町	中川原町	中川原町	中川原町	中川原町	東新町	炭燒澤村	宮歌村	福島村	札前村	江良町村	清部村	根部田村	茂草村	雨垂石村	

壽都郡		久遠郡		太田村		上古丹村		久遠村		湯ノ尻村	
古宇郡	壽都郡	瀬棚郡	太櫓郡	與尻郡	久遠郡	貝取湖村	平田内村	貝取湖村	長磯村	青苗村	
郡役所	神惠内村	泊村	樽岸村	政泊村	直轄	郡役所	瀬棚村	太櫓村	釣懸村	貝取湖村	久遠村
金原町	川原町	若竹町	神惠内村	興志内村	湯別村	政泊村	大磯町	六條町	瀬棚村	太櫓村	釣懸村
龍徳町	高砂町	勝納町	赤石村	赤石村	樽岸村	樽岸村	矢追町	岩崎町	梅花都村	古櫓太村	赤石村
若松町	土場町	潮見臺町	珊内町	珊内町	泊村	泊村	開進町	開進町	中歌村	良瑠石村	藥師村
開運町	芝居町	新富町	新富町	新富町	新地町	新地町	信香裏町	信香裏町	新榮町	島歌村	島歌村

岩内郡		渡島町		小樽郡		小樽郡		小樽郡		小樽郡	
御銚内町	岩内郡	歌葉郡	磯谷郡	島牧郡	高島郡	高島郡	高島郡	高島郡	高島郡	高島郡	高島郡
直轄	郡役所	潮路村	島古丹村	永豊村	黒松内村	直轄	直轄	直轄	直轄	直轄	直轄
幌似村	堀江町	御銚内町	作開村	潮路村	横澗村	本目村	永豊村	黒松内村	手宮裏町	奥澤村	港町
野東村	三島町	應臺町	有戸村	有戸村	島古丹村	輕白村	千走村	南濱町	南濱町	南濱町	南濱町
敷島内村	梨野舞納村	稻穂崎町	種前村	種前村	能津登村	能津登村	江泥邊村	北濱町	北濱町	色内町	住初町
前田村	小澤村	橘町	美谷村	美谷村	尻別村	尻別村	原歌村	高島村	高島村	手宮町	相生町
	老古美町	吹上町	熱鄂村	熱鄂村			歌島村	祝津村	祝津村	祝津村	祝津村

西南二條 西五丁目									
千歳郡	濱益郡	厚田郡	石狩郡			札幌郡			
千歳村	茂生村	厚田村	當別村	親船町	江別村	豐平村	山鼻村	下手稻村	上手稻村
千歳村	群別村	川下村	厚田村	聚富村	當別村	花畔村	横町	本町	江別村
蘭越村	實田村	小谷村	望來村	生振村	船場町	辨天町	對雁村	白石村	圓山村
烏棚舞村	柏木村	別狩村	嶺泊村	樽川村	親船町	新町	(石狩郡)	上白石村	山口村
長都村	尻苗村	安瀬村	古潭村	若生町	濱町	濱町	篠津村	平岸村	月塞村
漁村	茂生村	濃盡村	押琴村	八幡町	仲町				

量徳町									
		積丹郡	美園郡	古平郡	余市郡		忍路郡		
琴似村	札幌村	野塚村	小泊村	濱町	仁木村	濱中町	忍路村	朝里村	堀株村
琴似村	札幌村	余別村	野塚村	船淵村	群來村	濱町	仁木村	大川町	琴平町
發寒村	苗穂村	來岸村	日司村	小泊村	沖村	港町	大江村	沖村	山白町
	丘珠村	神岬村	入舸村	厚苦村	澤江村	入船町	山道村	黑川村	富澤町
	雁來村		出岬村	幌武意村	歌桑村	丸山町		山田村	中町
	篠路村		西河村	婦美村		新地町		番部村	梅川町
								張碓村	錢函村
								蘭島村	
								熊碓村	茅沼村
								朝里村	發足村
								鹽谷村	堀株村
								(小樽郡)	堀株村

繭生町	得撫郡	新知郡	占守郡	國後郡	色丹郡	紗那郡	振別郡	擇捉郡	藥取郡
		和田村	別海村	標津村	泊村	斜古丹村	直郡役轄所	留別村	藥取村
油根邊村	新知郡	(根室郡)	(野付郡)	(根室郡)	(標津郡)	泊村	紗那村	(紗那郡)	藥取村
婦羅理村	占守郡	和田村	別海村	標津村	忠類村	東湧村	有萌村	留別村	乙今牛村
尚舞村	(占守郡)	(花咲郡)	平糸村	伊茶仁村	薫別村	留夜別村	別飛村	(振別郡)	
(得撫郡)	...	昆布盛村	野付村	(野付郡)	植別村	米戸賀村		振別村	
...	...	落石村		茶志骨村	崎無異村	秋刈別村		老門村	

阿寒郡	川上郡	厚岸郡	根室郡	花咲郡	野付郡	標津郡	目梨郡
舌辛村	熊牛村	灣月町	霧多布村	太田村	直轄	郡役所	直轄
舌辛村	熊牛村	灣月町	霧多布村	太田村	花咲郡	野付郡	目梨郡
徹別村	塘路村	松葉町	濱中村	太田村	花咲郡	野付郡	目梨郡
蘇牛村	弟子屈村	梅香町	後靜村	太田村	花咲郡	野付郡	目梨郡
飽別村	屈斜路村	若竹町	琵琶瀬村	太田村	花咲郡	野付郡	目梨郡
虹別村	奔渡村	末廣村	散布村	太田村	花咲郡	野付郡	目梨郡
	奔渡村	末廣村	散布村	太田村	花咲郡	野付郡	目梨郡

○分任事項

- 明治二十年五月十日北海道廳令第五十一號
左ニ掲クル條件ハ特ニ郡區長ニ分任ス
- 一 賑恤規則ニ據リ窮民救助ノ事
但規則第八條第九條第十一條第十二條ハ此限ニアラス
 - 二 三子出生及棄子養育料給與ノ事
 - 三 逃亡死亡絶家ノ財産處分ノ事
 - 四 成規アル戸籍上處分ノ事
 - 五 士族民籍へ編入願許否ノ事
 - 六 改名願許否ノ事
 - 七 戸籍上誤謬訂正ノ事
 - 八 戸籍脱漏ノ者就籍ノ事
 - 九 氏子替届受理ノ事
 - 十 社寺境内官有地ノ枯木倒木處分ノ事
但官國幣社ハ此限ニアラス
 - 十一 寺院住職進退届受理ノ事
 - 十二 教務所說教所取設願許否及其移轉廢合届受理ノ事

- 十三 祠官祠堂進退願許否ノ事
- 十四 佛像持出開帳願許否ノ事
- 十五 賣藥請賣行商願許否ノ事
- 十六 町村立私立學校並病院監督ノ事(二十六年四月廳令第九號ヲ以テ改正)
- 十七 町村立學校病院職員除服ノ事
- 十八 町村立學校病院職員歸省養痾募參其他旅行願許否ノ事
- 十九 捕魚採藻ノ爲メ河海面及沼湖貸與ノ事(二十一年四月廳令第二十八號ヲ以テ改正)
- 二十 (全上ヲ以テ删除)
- 二十一 (二十二年十月廳令第五十七號ヲ以テ删除)
- 二十二 動物疫疾植物虫害豫防ノ事
- 二十三 船燈信號器監査ノ事
- 二十四 (二十五年十二月廳令第五十號ヲ以テ删除)
- 二十五 (二十四年廳令第三十七號ヲ以テ删除)
- 二十六 水車營業願許否ノ事(二十六年十月廳令第三十六號ヲ以テ但書删除)
- 二十七 (二十三年九月廳令第五十九號ヲ以テ删除)
- 二十八 (二十四年四月廳令第十五號ヲ以テ地理課租稅課派出所ヲ設置シ開所ノ日ヨリ删除)
- 二十九 (二十一年十二月廳令第八十一號ヲ以テ删除)

- 三十 (二十四年四月總令第十五號ヲ以テ地理課租稅課派出所ヲ設置シ開所ノ日ヨリ刪除)
- 三十一 (二十三年九月總令第五十九號ヲ以テ刪除)
- 三十二 (二十一年三月總令第十七號ヲ以テ林務課員派出所ヲ設置シ開所ノ日ヨリ分任ヲ解ク第三十三乃至第三十七皆同シ)
- 三十三
- 三十四
- 三十五
- 三十六
- 三十七
- 三十八 電線道路田畑水利ニ障礙アル官有樹木ヲ伐採スル事 (二十一年四月總令第二十八號ヲ以テ改正シ二十年十一月總令第三十四號ヲ以テ「樹木」ノ下(森林地内ヲ除ク)括弧及七字ヲ刪除ス)
- 三十九 西洋形登簿船假免狀下付ノ事
- 四十 船舶積量測定ノ事
- 四十一 里程及國郡村界標木建設ノ事
- 四十二 三等郵便局長及郵便受取所取扱人撰擧ノ事
- 四十三 (二十一年四月總令第二十八號ヲ以テ刪除)
- 四十四 (全上ヲ以テ刪除)
- 四十五 渡船破損等ノ節金拾五圓以下修繕ノ事

- 四十六 橋梁渡船流失等ノ節一時假橋又ハ渡船ヲ設クル事
- 四十七 濟貧恤窮及區町村費支辨ニ係ル諸費ノ内へ金穀財產(土地ヲ除ク)寄付願ノ事 (二十一年四月總令第二十四號及二十二年十一月總令第五十三號ヲ以テシテ「地方費」ノ三字ヲ刪除ス)
- 四十八 地方費ヲ要セサル道路堤防橋梁修繕及下水新設願許否ノ事
但道路橋梁堤防從來ノ形狀等ヲ變更スルモノハ此限ニアラス
- 四十九 橋梁ヲ要セサル架橋願許否ノ事
但國縣道ニ係ルモノハ此限ニアラス
- 五十 道路橋梁堤防及官有建物ノ原形ヲ變更セサル定額内修繕ノ事
但札幌外九郡役所管轄内ノ道路橋梁堤防等ハ此限ニアラス (二十一年十二月總令第八十一號及二十六年四月總令第十一號ヲ以テ改正)
- 五十一 往還並木ノ枯損木倒木處分ノ事
- 五十二 豫算内ヲ以テ郡區役所戸長役場修繕ノ事
- 五十三 道路掃除方法ノ事
- 五十四 準備米管守ノ事
但札幌區ハ此限ニアラス
- 五十五 官貸金ニ對スル抵當物件ニ登記ヲ請フ事
- 五十六 (二十六年十二月總令第三百五十四號ニ依リ消滅)
- 五十七

- 五十八 官有建物保管ノ事
- 五十九 官舎貸與及宿代徴收ノ事
但札幌區及特ニ主管ノ定アルモノハ此限ニアラス
但札幌區及特ニ主管ノ定アルモノハ此限ニアラス
- 六十 (二十三年七月法律第五十一號執達吏規則第三條)
二項及全年二月大藏省第十三號訓令ニ依リ消滅
- 六十一 郡區役所戸長役場ノ不用物品賣却ノ事
- 六十二 煙草及牛馬賣買營業願許否ノ事
- 六十三 酒造及營煙營業願許否ノ事
- 六十四 自家用料酒製造免許鑑札下付ノ事
- 六十五 (二十四年四月總令第十五號ヲ以テ地理課租稅課派出所ヲ
設置シ開所ノ日ヨリ副除第六十六乃至第七十一皆同シ)
- 六十六
- 六十七
- 六十八
- 六十九
- 七十
- 七十一 (二十一年四月總令第
二十八號ヲ以テ副除)

- 七十三 (二十四年四月總令第十五號ヲ以テ地理課
租稅課派出所ヲ設置シ開所ノ日ヨリ副除)
- 七十四 船鑑札下付及免稅船烙印ノ事
- 七十五 印紙類賣捌人定員以內許否ノ事
- 七十六 印紙類賣下代金延納願許否ノ事
- 七十七 海産干場ニ連續スル海濱河岸及湖沼ニ沿フ官有地使用願許否ノ事(二十一年四月總令第
二十八號ヲ以テ追加)
- 七十八 (二十四年四月總令第十五號ヲ以テ地理課
租稅課派出所ヲ設置シ開所ノ日ヨリ副除)
- 七十九 區町村立小學校長訓導ノ進退具狀ノ事(二十四年十二月總令第
四十九號ヲ以テ追加)
- 八十 區町村立小學校訓導進退ノ事(同上)
- 八十一 仕拂命令委任アル諸費ノ内ハ物品及勞力ノ寄附願ヲ成規ニヨリ許否ノ事(二十四年十二月總
令第五十三號ヲ以
テ追加)
- 八十二 官林監護ノ事(二十五年十一月總令第三十四號ヲ以
テ追加第八十三乃至第八十八皆同シ)
- 八十三 官有森林原野ノ立木一廉金五拾圓未滿拂下願許否ノ事
- 八十四 官有森林原野ノ副產物一廉金五拾圓未滿拂下願許否ノ事
- 八十五 官有森林原野ノ枯損木盜誤伐木及官收一廉金五拾圓未滿拂下處分ノ事
- 八十六 官有森林原野ノ土石一廉金五拾圓未滿掘取願許否ノ事
- 八十七 林產物拂下ニ附帶セル官林地貸下願許否ノ事
- 八十八 森林諸收入調定ノ事